

大学向け
クラウドソリューションカタログ2025

発行：AXIESクラウド部会

「大学向けクラウドソリューションカタログ 2025」の発行に寄せて

大学 ICT 推進協議会 クラウド部会

主査 渡邊 英伸（広島大学）

本年度も「大学向けクラウドソリューションカタログ」を発行できる運びとなりました。日頃より大学 ICT 推進協議会クラウド部会の活動にご参加・ご協力いただいている皆様に、心より御礼申し上げます。

大学では、教育・研究・業務の各分野でデジタル化が進み、「学術 DX」の実現が求められています。文部科学省の「大学・高専教育高度化プラン」や「デジタル人材育成方針」でも示されているように、ICT は単なるツールではなく、大学経営・教育・研究の変革を支える基盤です。中でもクラウドは、柔軟なアクセスやスケーラビリティ、サービス連携のしやすさから、分野横断的な取り組みを支える中核的存在となっています。

さらに近年は、生成 AI や AI エージェントの登場により、教育支援、FAQ 対応、研究データ検索、業務自動化など、多くの場面でクラウドと AI の融合が進んでいます。こうした背景を踏まえ、2025 年度版カタログでは「全学 DX を加速するクラウド AI ソリューション」をテーマに、AI とクラウドの連携が生む価値を探ります。

本カタログは、各企業が提供するソリューションを比較可能な形で紹介し、大学でのクラウド活用に資する情報を提供することを目的としています。また、特集記事では、導入事例や技術トレンドも紹介しています。クラウドの導入を検討中の方にも、既に活用されている方にも、幅広く参考となることを願っております。

以上

大学向けクラウドソリューションカタログ 2025 目次

「大学向けクラウドソリューションカタログ 2025」の発行に寄せて／

大学 ICT 推進協議会 クラウド部会 主査 渡邊 英伸	01
------------------------------------	----

特集：大学 DX を加速するクラウド AI ソリューション	06
--	-----------

1. 教育支援系ソリューション

(1) 英語学習システム「ATR CALL BRIX」／株式会社内田洋行	19
(2) 画面モニタリングシステム RealCAST（リアルキャスト）／株式会社内田洋行	21

2. 研究支援系ソリューション

(1) Cloud Volumes ONTAP／ネットアップ合同会社	25
(2) Autonomous Ransomware Protection + Cloud Insights Storage Workload Security による多層防御 ／ネットアップ合同会社	27
(3) FlexPod Datacenter for AI／ネットアップ合同会社	29
(4) NetApp Keystone for Storage as a Service (STaaS) ／ネットアップ合同会社	31
(5) codemari クラウドサービス／株式会社内田洋行	33

3. 事務支援系ソリューション

(1) TWX-21 MRO 集中購買サービス／株式会社日立製作所	37
(2) RoomSense クラウドサービス／株式会社内田洋行	39

4. 情報基盤系ソリューション

(1) さくらの VPS／さくらインターネット株式会社	43
(2) さくらのクラウド／さくらインターネット株式会社	45
(3) さくらの専用サーバ PHY（ファイ）／さくらインターネット株式会社	47
(4) 高火力 PHY／さくらインターネット株式会社	49
(5) 高火力 DOK／さくらインターネット株式会社	51
(6) 高火力 VRT／さくらインターネット株式会社	53
(7) SINET 接続サービス／さくらインターネット株式会社	55
(8) Hitachi EverFlex 仮想化基盤／株式会社日立製作所	57
(9) クライアントサービス 日立のデータセンター／株式会社日立製作所	59
(10) フェデレーテッドクラウド管理サービス／株式会社日立製作所	62
(11) 生成 AI 対応サーバアウトソーシングサービス／株式会社日立システムズ	64
(12) 日立 データセンターサービス／株式会社日立システムズ	66

(13) リモートアクセスシステム DoMobile／株式会社日立ソリューションズクリエイト	68
(14) AI スパコンクラウド (GPUSOROBAN) ／株式会社ハイレゾ	70
(15) GPUSOROBAN 計算クラスター B200／株式会社ハイレゾ	72
(16) 高速コンピューティング (GPUSOROBAN) ／株式会社ハイレゾ	74
 5. その他ソリューション	
(1) IT 資産管理／セキュリティ管理 ASSETBASE／株式会社内田洋行	78
(2) ソフトウェア配布提供システム Download Station／株式会社内田洋行	80
(3) ウチダの Office 学割 U365／株式会社内田洋行	82
(4) ウチダのパソコン学割 U365／株式会社内田洋行	84
(5) パピルスメイト証明書学外発行サービス／株式会社内田洋行	86
 6. 大学向けクラウドソリューション比較表	90
 7. 大学におけるクラウド導入事例	
(1) 桜美林大学／さくらインターネット株式会社	98
(2) 流通経済大学／さくらインターネット株式会社	100
(3) 九州大学／さくらインターネット株式会社	102
 8. クラウドプロバイダ紹介	
(1) さくらインターネット株式会社	106
(2) 株式会社ハイレゾ	108
企業別索引	111
大学 ICT 推進協議会クラウド部会の歩み	113
大学 ICT 推進協議会クラウド部会 ご入会のご案内	116

特集

大学 DX を加速するクラウド AI ソリューション

クラウド AI ソリューションは大学 DX において、様々な分野で期待されています。例としては、例としては

- ・クラウドと AI を組み合わせた運用最適化（AIOps、AutoRemediation など）
- ・学内 FAQ 支援、データ検索支援などの AI チャット／エージェント事例
- ・AI エージェントによる ID／認可／セキュリティポリシー管理
- ・教育・研究・業務領域での RAG 構成やクラウド連携アーキテクチャ
- ・自律的なクラウドガバナンス・監査・AI 透明性確保への取り組み
- ・GPU クラウド基盤や、エッジ AI 連携などの技術的チャレンジ

と様々ございますが、その中から 3 社より寄稿いただきました。

ネットアップ合同会社

AI 活用の成否を決めるハイブリッド マルチ クラウド データ プラットフォーム
～AI 時代の大学 DX における新しい視点～

株式会社ハイレゾ

GPUSOROBAN 新シリーズ「NVIDIA B200 搭載マルチノード型ハイエンド GPU クラスタ」専有プラン

さくらインターネット株式会社

安全で信頼できる国産 AI プラットフォーム「さくらの AI」

テーマ	大学 DX を加速するクラウド AI ソリューション
タイトル	AI 活用の成否を決めるハイブリッド マルチ クラウド データ プラットフォーム ～AI 時代の大学 DX における新しい視点～
著者	ネットアップ合同会社 Chief Technology Evangelist 神原 豊彦

概要：

AI の進化により大学 DX は教育・研究・運営の全分野で加速し、個別最適化や業務効率化を支える中核技術となっています。クラウドサービスの普及で AI 活用は容易になりましたが、真の価値を引き出すには大学固有のデータとの連携が不可欠です。現状は縦割り組織によるデータサイロが障壁となり、AI プロジェクトの多くが試験段階で停滞しています。課題解決には、分散環境で透過的な管理を可能にするデータプラットフォームや、限られた人員で高度なセキュリティを維持する仕組みが必要です。さらに、オンプレミスとクラウドを跨ぐデータアクセス技術も重要です。この寄稿では、AI 時代のデータ プラットフォームに搭載される新技術によってこれらの課題がどのように解決されるのかをご紹介します。

AI 時代の大学 DX

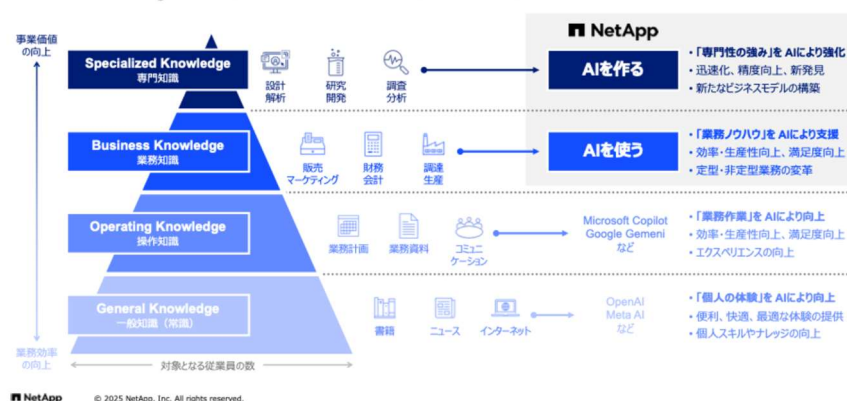
人工知能（AI）の進化は目覚ましく、AI アプリケーションの開発と利用の両面で技術的なハードルが下がることで、普及の裾野が広がると同時に現実世界での適応能力の高さを増しています。従来より大学 DX を推進されている皆様においても、教育・研究・運営といった全ての分野でのデジタル化を加速するキー・テクノロジーとして期待されていることかと思えます。教育分野における個別最適化と個別支援、研究分野における新たな支援ツール、運営分野における業務効率の向上など、デジタル化の様々な施策において AI が中核技術としての位置にあります。加えて、基礎技術としての裾野が広がると同時に、クラウド ビジネス モデルを通じた AI 技術のサービス提供も加速度的に増加し、大学での技術活用の容易さの追い風になっているかと思えます。

しかしながら、AI を現実世界で役立てていくためには、自らのデータと組み合わせて利用することが必須となります。図 1 は、NetApp で様々なお客様と AI 技術活用の方向性を議論する際に利用しているディスカッション ペーパーの一部になります。大学における戦略検討にも有用だと思われるので、参考までにご紹介したいと思います。

図 1. 企業や組織における AI 技術活用の整理例

企業や組織における AI 技術活用の整理例

AI = Artificial Intelligence : 知能・知性 - 知識に基づいて 考察したり 判断する能力



図のピラミッドは、AI 技術の礎となる情報や知識を表しています。横軸は情報や知識を知る人間の数を表し、縦軸は AI 技術の価値を示しています。大規模言語モデルの技術開発が進んだ現在、巨大資本を有する多くの米

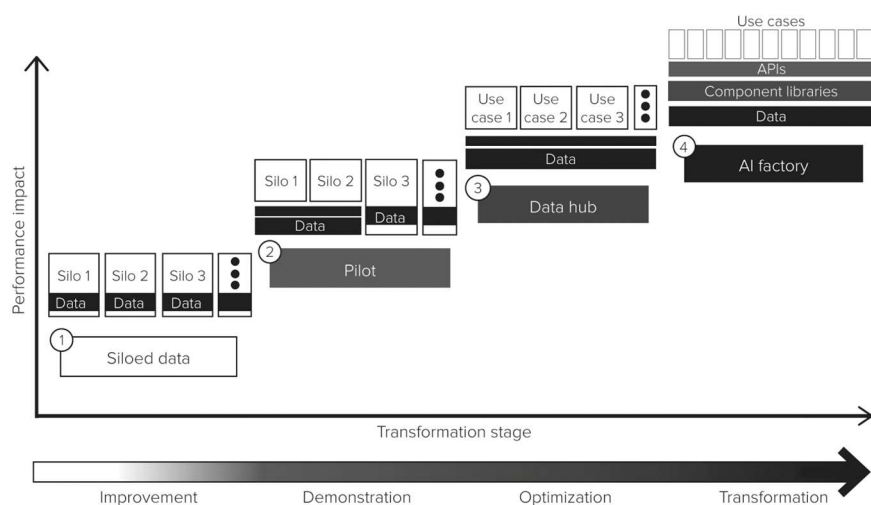
国企業組織が、多数の生成 AI モデルをクラウド サービスとして容易に利用できる形で提供しています。しかしながら、これらの AI サービスの有する情報や知識は、図の 2 つの下層に位置する情報と言えます。

どのような組織においても、社会における固有価値と言える情報や知識（図の上層の 2 つ）が存在し、その殆どがプライベートなデータとして各々の組織の中で生まれ、組織の成長や進化と共に常に変化していくものです。これらの情報や知識に基づいた AI アプリケーションを実現することが、真の AI 活用、AI 時代のデジタル化が実現できるもの、と考えています。

AI 技術活用へのステップと課題

では、どのようにして現状から目指すべき AI 時代のデジタル化へと移行するのか。この問いのヒントをハーバード大学の経営学者 Marco Iansiti 氏と Karim R. Lakhani 氏が書籍「Competing in the Age of AI^{*1}」にまとめています。抜粋してご紹介したいと思います。

図 2. Four stages of digital operating model transformation^{*1}



どのような組織においても、現状は、縦割りの組織や予算に合わせて、多くの IT システムとデータがサイロ型で独立した状況（図 2. ①）にあります。次に、AI 技術を評価し組織内で活用するためのトライアル プロジェクトが行われます（図 2. ②）。書籍の中では、この段階を「Pilot」と呼んでいます。この段階までの進捗は比較的容易です。なぜならば、縦割りの組織や予算といった従来の枠組みの中で、新しいサイロが生まれる、という構図をとるからです。この段階で AI により利用されるデータも、組織の一部のデータに留まります。

高い評価を受けた AI プロジェクトは、より高い価値を得られるように、より広範なデータを必要とします。そのためには、組織を横断的に跨るデータへのアクセスが必要となり、この段階を「Data hub」と呼んでいます（図 2. ③）。

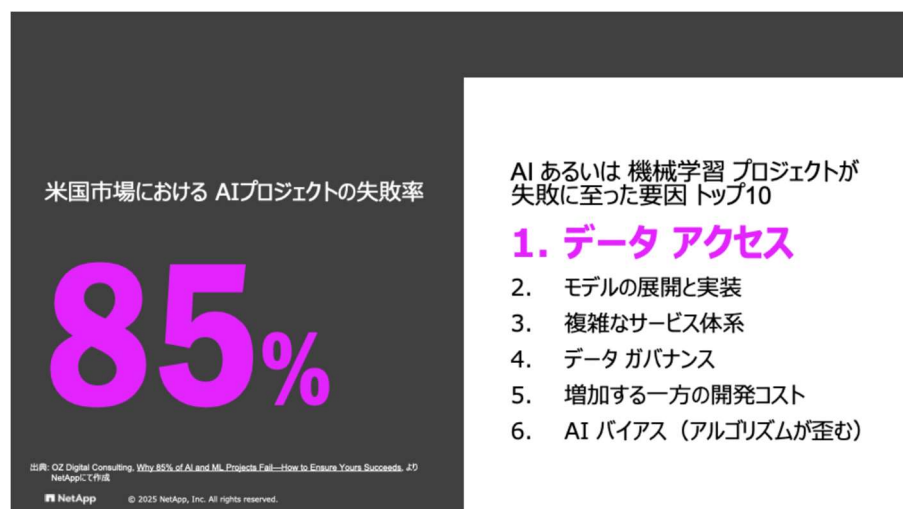
AI 技術が組織の保有する広範な情報や知識にアクセスができるようになると、多くのユースケースで AI モデルがその真価を発揮するようになります。その際、AI はあたかも「あたりまえのようにバックエンドで稼働するもの」となり、API を通じて呼び出されるプログラム・ライブラリのような位置付けとして見えるようになります。この段階を「AI Factory」と呼んでいます（図 2. ④）。

著者は、この 4 つの段階の中央、「Data hub」へと進む段階に、困難が潜んでいると説いています。どのような組織でも、横断的なプロジェクトを実現する苦労は大変なものです。しかしながら、必須の段階でもあることは、誰もが理解するところだと思います。

また、現実のシステムでは、オンプレミスとパブリック クラウドを跨った形で、多数のシステムが保持するデータが分散配置され、多様で複雑なサイロを形成しています。セキュリティやコンプライアンスといったデータガバナンスの要求も年を追うごとに高度化している一方で、これを維持運用する人材の不足が解消される目処は得られていません。

このような中で、米国 IT 市場では、AI や機械学習プロジェクトの 85%が「Pilot」段階から先に進むことができず、本番サービスとして日の目を見ないまま終了してしまっています※2。また、失敗の理由を問うと、「十分なデータ アクセスが得られなかった」という回答がトップに位置しています。

図 3. 米国市場における AI プロジェクトの失敗率と要因



AI 活用の成否を決めるデータ プラットフォーム

多くの場合において、組織横断的な IT プロジェクトの助けの一つとなるのが、テクノロジーの共通認識、と言えます。趣旨や目的などを明文化して伝達することや、組織を動かすリーダーシップも、もちろん重要です。しかしながら、多くの人々が「具体的には、このように行えば良い」という具現化したイメージを示して共通理解を促進することができるのが、テクノロジーの大きな力と言えます。

今、NetApp も含めた IT 業界が全体として、このような AI 時代の新たなデータ プラットフォームの在り方を人々に示すべく、新しいテクノロジーの具現化に挑んでいます。ここでは、従来とは異なる AI 時代に即した形で、どのようなデータ プラットフォーム テクノロジーが求められているのか、大学でのシステムを例にいくつかご紹介したいと思います。

データの地理的、ネットワーク的な分散状態の中で、透過的な管理を実現するテクノロジー

大学では、学部や研究室、事務局など、組織毎に異なるストレージやクラウド サービスの利用がなされているのが、一般的です。また、大学の地理的な拠点多く存在し、海外拠点を持つ大学も少なくありません。この背景には、予算や組織といった事情だけではなく、所有権や情報保護、データの発生場所といったデータ ガバナンスの観点の事情も含まれた最適化の結果とも言えます。これらを物理的に統合することは現実的ではありませんし、これまでの最適化を覆すことになります。

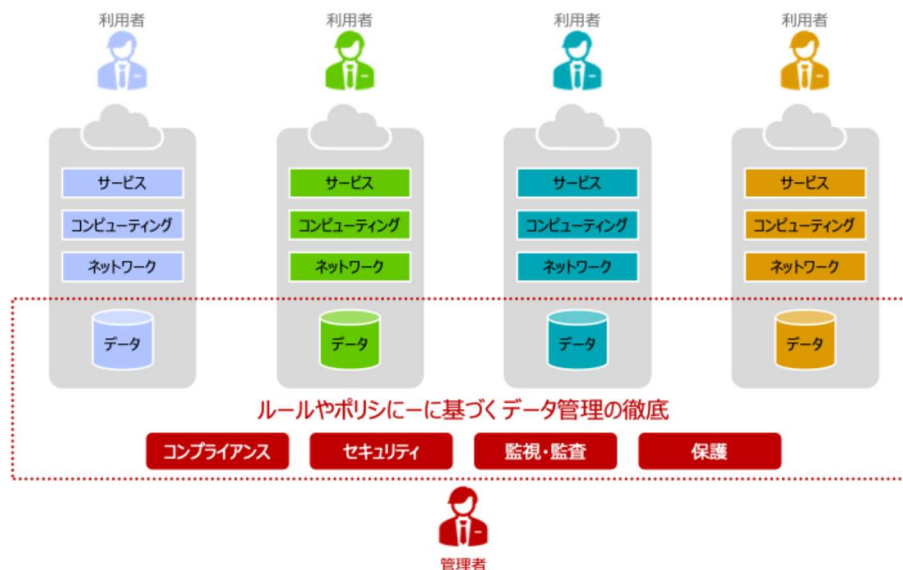
AI 時代を迎え、より膨大なデータを各組織が蓄積する必要性が強まります。そのため、これらのデータ管理の質や方法が、各組織の生産性や効率性の向上といった経済的な指標のみならず、社会的責任への姿勢や教育方針など、組織評価にも大きく影響を与えることになります。例えば、ある一つの研究室で、個人情報や機密情報を含む大量のセンシティブ データを扱っていた際に、これらが何らかの理由で外部に漏洩した場合、研究室の担当者だけがその責を問われるだけではなく、大学組織としてのデータ管理ポリシーなどを疑われることになるでしょう。

しかしながら、このような管理方法をハイブリッド マルチ クラウド環境の中で管理者がマニュアル操作で徹底していくことは困難さを伴います。各組織で利用されているクラウド サービスの利用者権限を誰かが一括して把握することなど、非現実的だからです。

そのため、求められているのは、分散保管された状態のまま「管理者からは透過的に管理することができる」テクノロジーです。データに含まれる情報の中身に触れることなく、データの保管場所を変更することなく、管理

者がデータの属性情報に基づいて管理統制ができる技術が必要です。

図 4. ハイブリッド マルチ クラウド環境の中で、データ レイヤーを透過的に管理する



限られた人的リソースで高度なセキュリティ運用を実現するインテリジェンス

デジタル化が進むにつれ、サイバー攻撃の脅威から防御することの重要性は増加しています。特に AI モデルの参照するデータが悪意を持って改竄されることは、AI モデルの信頼性にも関わる問題に発展します。ニューヨーク大学の医療向け LLM モデルの研究^{※3}では、僅か 0.001%の汚染データによりバックドアを含む脆弱性の実装や、人間に危害を加える回答を返すなどの結果を得ています。

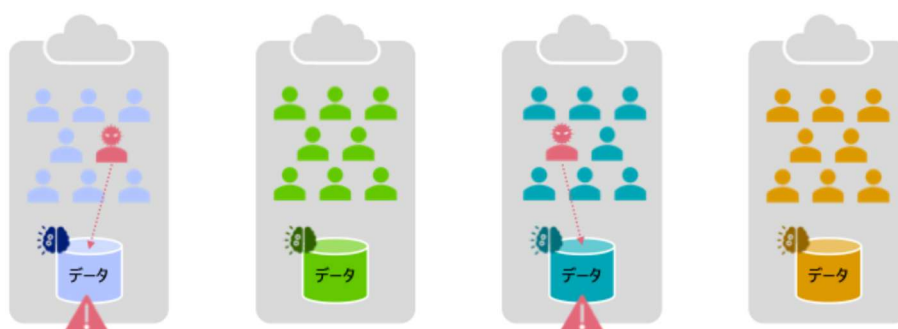
また、昨今のランサムウェアに代表される攻撃方法は、正規ユーザーの ID とパスワードを窃取することで、正規ユーザーになりすましてシステム内で活動を行います。クラウドのセキュリティは日々高度化していますが、クラウド サービスに登録された正規ユーザーに「なりすまされた」場合には、防御方法にも限界があります。

このような中で、大学の限られた人的リソースによる従来の運用方式では、AI 時代のセキュリティを維持することは、もはや現実的ではありません。

現在、ストレージ業界では、このような課題認識のもと、「Cyber Storage」や「Security Guidelines for Storage Infrastructure^{※4}」と呼ばれる新しいデータ ストレージのセキュリティの考え方が提唱され、その技術開発と製品への実装が進んでいます。一例としては、下図に示すようなデータ ストレージ自身が、サイバー攻撃を検出する AI エンジンを搭載し、ユーザーのデータ アクセス操作傾向などから異常操作を迅速に検知し、予め定められた防御動作を行う、などの機能が搭載されています。

AI 時代と共に、クラウド活用の新たな戦略が求められる現在、このような機能を保持したストレージ サービスの利用を検討することも重要な点になると思われます。

図 5. データ ストレージ自体が AI エンジンを搭載し、サイバー攻撃を自動的に検知する



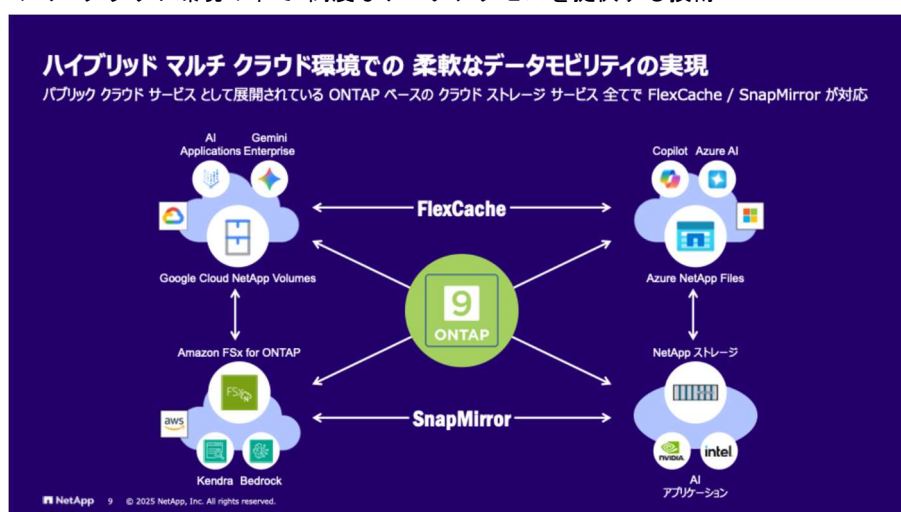
ハイブリッド マルチ クラウド環境での高度なデータ アクセス

クラウドで提供される AI サービスに自身のデータを組み合わせて利用することの価値は、前述した通りです。しかしながら、利用したい AI サービスが稼働するクラウドと同じ場所で、データの生成や蓄積が行われる訳ではありません。特に大学においては、様々な調査データや科学技術設備はオンプレミスに存在することが多く、AI サービスとの連携に課題が生じやすい環境にあるとも言えます。

短絡的には「AI サービスが稼働するクラウドにデータをコピーすれば良い」と考えられますが、現実的には、容量が大きかったり、データ更新が高頻度であったり、或いは保管場所に何らかの制約が課されているデータなどは、簡単にクラウドにアップロードすることが出来ません。そのため、データをコピーせずとも、データの蓄積場所に AI サービスを繋げるテクノロジーが必要となります。

NetApp では、このような課題認識の下で、代表的な AI サービスを提供する AWS、Microsoft、Google Cloud と戦略提携を行い、データ キャッシング技術や差分同期技術を応用し、AI サービスの利用者に向けた高度なデータアクセスを提供することに努めています。

図 6. ハイブリッド マルチ クラウド環境の中で 高度なデータアクセスを提供する技術



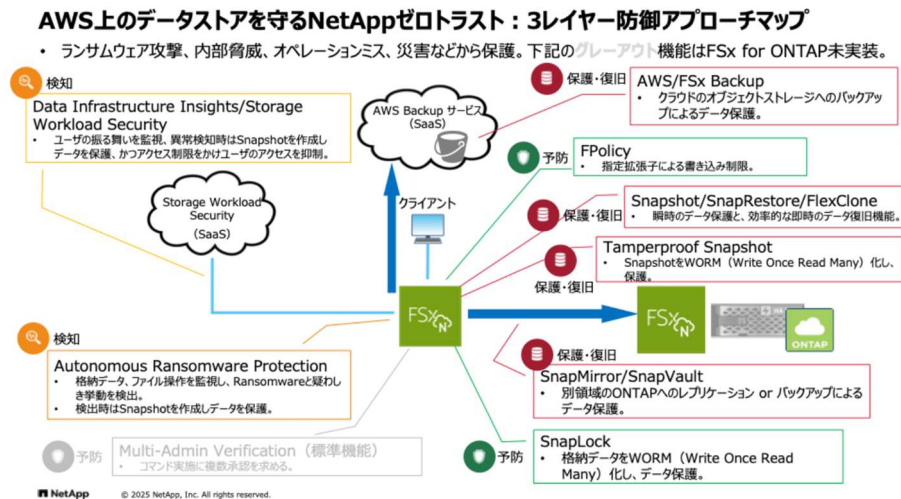
広島大学様との実証実験

昨年、広島大学様と上記のような課題認識のもと、大学に蓄積されている価値ある研究データをクラウドで提供されている生成 AI サービスと結びつけ、安全に活用するための次世代型ハイブリッド環境の在り方に関する実証実験を行いました。

この実証実験では、データの可搬性、セキュリティ、権限管理を従来通りに維持しつつ、生成 AI による教育と研究活動支援を実現できるデータ プラットフォーム アーキテクチャを構築し、現実的な運用可能性を評価しています。

具体的なシステム アーキテクチャや、利用者の懸念を払拭できる機能性を示すことができたことは、今後、多くの大学関係者様の賛同を得られる一つのきっかけとできたのではないかと弊社では考えております。

図 7. 広島大学 x AWS x NetApp による ハイブリッド クラウド 生成 AI 環境



まとめ

AI も普及期に入り、大学 DX を大きく加速させる中核技術として認識されているかと思います。一方で、自身の組織でより AI 技術の価値を引き出すためには、情報や知識が含まれるデータと結びつけることが必須です。

そして、大学や研究機関に限らず、企業や政府機関も含めた多くの組織が、この方法論を模索し、組織の構造やリーダーシップなどの議論と合わせて、技術実装方法を求めている時期にあると、考えています。テクノロジーの魅力の一つは、人々に将来の価値を具現化したイメージとして伝え、行動や様式を変えるきっかけとすることがあると信じています。

AI の進化と共に、データ プラットフォームの進化も続いています。この寄稿をきっかけとして、皆様の検討の一助となれば幸いです。

注釈、引用について

※1 出典：Competing in the Age of AI: Strategy and Leadership When Algorithms and Networks Run the World, Marco Iansiti (Author), Karim R. Lakhani (Author), Harvard Business Review Press. 2020/01/07

※2 出典：OZ Digital Consulting, Why 85% of AI and ML Projects Fail—How to Ensure Yours Succeeds, <https://followoz.com/resources/blog/why-85-of-ai-and-ml-projects-fail-how-to-ensure-yours-succeeds/>, 2024/02/16

※3 出典：Medical large language models are vulnerable to data-poisoning attacks, Daniel Alexander Albert 他, Nature Medicine, 2025/01/08, <https://www.nature.com/articles/s41591-024-03445-1>

※4 出典：Security Guidelines for Storage Infrastructure, Ramaswamy Chandramouli (Author), Doron Pinhas(Author), NIST Special Publication 800-209, <https://nvlpubs.nist.gov/nistpubs/SpecialPublications/NIST.SP.800-209.pdf>

<https://www.netapp.com/ja/>

お問い合わせ先：ネットアップ合同会社 神原 Toyohiko.Kambara at netapp.com

GPUSOROBAN 新シリーズ「NVIDIA B200 搭載マルチノード型ハイエンド GPU クラスタ」専有プラン

GPU クラウドサービス「GPUSOROBAN」を展開する株式会社ハイレゾ（本社：東京都新宿区、代表取締役：志倉喜幸、以下当社）は、10月7日に発表した2つの新たなGPUクラウドサービスのうち「NVIDIA B200 搭載マルチノード型ハイエンド GPU クラスタ」について、本日、その一つの提供形態である専有プランの提供を開始したことをお知らせいたします。



マルチノード型ハイエンド GPU クラスタ

「NVIDIA 最新 GPU B200 搭載マルチノード型ハイエンド GPU クラスタ」は、ハイエンド GPU サーバーを複数台接続し、大規模な計算力を提供できるように構成した GPU クラウドサービス(GPUaaS)です。当社がこれまで貸し出せる計算力の上限はサーバー単位に依存していましたが、ノード間をつなぐ高速なネットワークを備えたクラスタ構成にすることで、より高負荷かつ大規模な並列計算を可能とし、LLMをはじめとする生成 AI の研究開発など、より幅広いニーズに応じた環境を提供します。また、Slurm ベースのジョブ投下型計算クラスタとしての提供により計算資源の利用効率を最大化し、計算処理にかかる時間や費用の最適化を実現します。

本日よりこの新サービスについて専有プランの提供を開始いたします。

これにより、いち早く最新鋭のハイエンド GPU である B200 およびマルチノード型クラスタモデルへの需要に応え、GPU 利用の選択肢を広げられることを期待しております。

なお、本サービスは専有利用に加え、ポイント購入により 1 分単位で利用できるポイント利用制を導入予定です。ポイントは、ご購入から 1 年間有効で、商用利用も可能です。

ポイント利用制については改めてリリースのご案内をする予定です。

プロダクトに関する個別の問い合わせ・予約等については下記にお問い合わせください。

サービス詳細・予約受付等についてのお問い合わせ

株式会社ハイレゾ GPU 事業本部 In-gpu-sales at highreso.co.jp

GPUSOROBAN について

「GPUSOROBAN」は、画像生成 AI や LLM（大規模言語モデル）等の膨大な計算処理を高速化する GPU クラウドサービスです。データセンターの建設コストや運転コストを抑えることで、NVIDIA の高性能な GPU サーバーを低コストで提供しています。GPUSOROBAN は累計 2,000 件を超える利用実績があり、IT 業界から製造業、建設業、大学研究機関まで幅広く利用されています。

株式会社ハイレゾについて

ハイレゾは、2019 年より石川県志賀町にて GPU データセンターを運営し、GPU クラウドサービス「GPUSOROBAN」を提供しています。

2024 年には香川県に中四国地方初となる「AI 開発用 GPU 専用データセンター」を高松市に開設。2025 年 8 月には、佐賀県玄海町の廃校を活用した GPU データセンターを新規開設。2026 年には中四国地方 2 拠点目となる GPU データセンターを香川県綾川町に開設予定。これらの地方拠点を通じて、地方創生と生成 AI の発展を推進しています。

2022 年 6 月 NVIDIA「Best CSP Partner of the Year」受賞

2024 年 4 月 経済産業省による「クラウドプログラム」供給確保計画に認定

会社概要

会社名 株式会社ハイレゾ

本店 佐賀県東松浦郡玄海町諸浦 106-1

東京本社 東京都新宿区市谷田町 3-24-1

代表者 代表取締役 志倉 喜幸

事業内容 GPU 専用データセンターの運営、GPU クラウドサービス GPUSOROBAN の提供

コーポレートサイト : <https://highreso.jp/>

GPUSOROBAN : <https://soroban.highreso.jp/>

サービスに関するお問い合わせ先 : In-gpu-sales at highreso.co.jp

リリースに関するお問い合わせ先 : press at highreso.co.jp

さくらインターネット株式会社

デジタルインフラサービスを提供するさくらインターネット株式会社（本社：大阪府大阪市、代表取締役社長：田中 邦裕、以下「さくらインターネット」）は、**安全で信頼できる国産 AI プラットフォーム「さくらの AI」** の提供を開始しました。

生成 AI の活用は多様な分野に広がっている中、利用環境の整備やセキュリティ確保などの面で、依然として課題が残っています。本サービスは、こうした課題に対し、さくらインターネットが運営する日本国内のデータセンターで整備された専有 GPU 環境による高いセキュリティ性と、明朗なコスト設計、さらに業務アプリケーションの開発および導入支援を行うサポート体制を備えることで、企業や自治体が生成 AI を日常の業務へ取り入れやすい環境を提供します。

今後もさくらインターネットは、「さくらの AI」を中心に、国内における生成 AI 関連技術の発展や新たなユースケースの創出を促進し、持続可能な生成 AI 市場の成長に寄与してまいります。



さくらインターネットが提供する、安心の国内基盤AIサービス

さくらのAI

- ✓ **安心のセキュリティ**で、社内データを安全に活用し業務効率を向上
- ✓ 法規制対応で、**重要データも安心運用**
- ✓ **AI市場を国内**で循環させ、雇用と産業を強化

© SAKURA internet Inc.

図説：さくらのAIのアーキテクチャ

この図は、さくらのAIのサービス構成を示しています。中心には「生成AI向けクラウドサービス「基力」」があり、その周囲には「AIエンジン」「AIアプリケーション」「AIデータ」「AIインフラ」が配置されています。さらに、外部には「AI市場」が示されています。

いま、求められる「安心・安全な国内基盤」

日本の未来を創るために必要な要素

01 安心・安全な利用環境

- ・ 国内法規制や業界基準に準拠したAI環境
- ・ 情報漏えいリスクを最小化し、金融・医療・自治体など高セキュリティ領域でも安心して活用
- ・ 信頼性の高いデータ管理で、部内展開から全社導入へスムーズに拡大



02 経済安全保障の確立

- ・ 海外依存から脱却し、資金の海外流出を抑制
- ・ デジタル貿易赤字の縮小に貢献し、国内経済への投資循環を実現
- ・ 国家レベルでデータ主権を確立し、政策や産業基盤を支える



03 国内産業の成長循環

- ・ 国内のクラウドやAIベンダー、大学、自治体、企業が連携し、持続可能なエコシステムを築く
- ・ 新しい産業分野での雇用創出やスタートアップの支援に貢献
- ・ AIの価値を国内で循環させ、日本発のイノベーションを国際競争力に結びつける



© SAKURA internet Inc.

さくらのAIの5つの価値

私たちが目指すのは、誰もが安心して生成AIを活用できる世界です。

そのために「さくらのAI」では、信頼性・公平性・簡単さなど5つの価値を軸にサービスを設計しています。



信頼

信頼性と安全性が最優先。
データの保護とプラットフォーム
の安定運用を保証。



計算資源

豊富で高性能なGPUを幅広い
ユーザーへ。計算リソースの利用
を民主化します。



公正な料金

透明性と公平性を重視した明瞭な
料金体系で、負担なく生成AIを利
用できる環境を実現



連携

国内外の企業や技術者を集結。
パートナーシップの力を最大限に
活かします。



簡易性

初心者から専門家まで、すべての
ユーザーが直感的に操作できる体
験を提供します。

© SAKURA internet Inc.

さくらのAI サービスラインアップ

01 さくらのAI Engine

エンジン

サービス概要
生成AIアプリケーションの開発に最適な「API基盤」を提供します。高品質なモデルをAPI経由で利用でき、柔軟な構成でアプリやサービスに組み込むことができます。

こんな人におすすめ

- AIやモデル構成を理解しているエンジニアの方
- 海外APIサービスを活用し、自社アプリに組み込んでいる方
- API連携で生成AIアプリをスムーズに開発したい方

おすすめポイント

- 複数の生成AIモデルを自由に選択可能
- 無料プラン & OpenAI API互換で手軽に試せる（Playground対応）
- 共有型での提供で、コストを抑えて効率利用

02 さくらのAI ソリューション

サービス概要
GPUクラウド × 基盤モデル × 業務アプリをパッケージで提供する、国内完結型の「生成AI業務支援サービス」です。開発および導入支援も用意しており、専門チームがモデル選定・構築・検証を一貫サポートします。

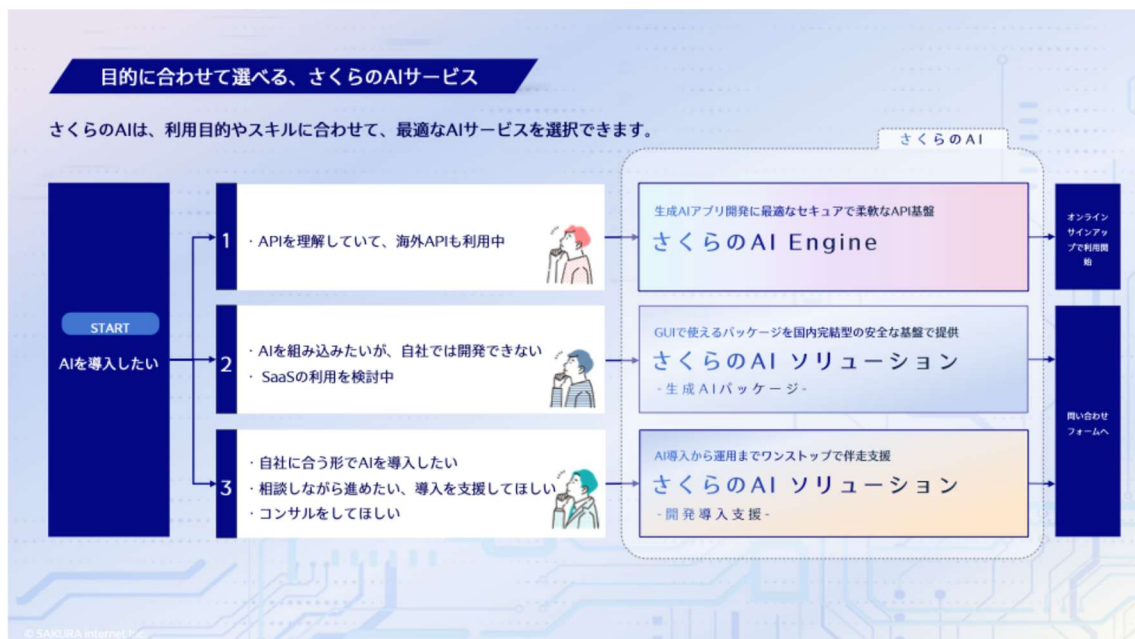
こんな人におすすめ

- AIを自分で構築するのは難しいが、業務に活用したい方
- 自社開発までは難しいが、AIを組み込みたい企業
- SaaS型のAIサービス利用を検討している方

おすすめポイント

- GPUベースで、専門知識がなくても直感的に利用可能
- App代も月額固定で、コスト管理がしやすい。
- 専有環境と閉域網接続による、高いセキュリティを実現

© SAKURA Internet Inc.



<https://www.sakura.ad.jp/>

お問い合わせ先：さくらインターネット株式会社 AI事業推進室 神野 t-kamino at sakura.ad.jp

1. 教育支援系ソリューション

製品・サービス名称	英語学習システム「ATR CALL BRIX」
提供企業名	株式会社内田洋行
紹介サイト URL	https://www.uchida.co.jp/education/solution/atrcall-brix/high-education/

■製品サービスの特長

音声を使ったトレーニングで、

インプットからアウトプットへ

ATR CALL BRIXは、

日本人の苦手意識に徹底的に寄り添う

eラーニング教材です。

私たちの思考は音声に支えられています。「話す」ときだけでなく、「考える」ときや「読む」とき、「書く」ときも頭の中では音声が発生しているのです。ですから、正しい発音を身に付け、単語の聞き分けができるようになると、読んだり書いたりするときも、頭の中で正しい音が再生されるようになります。

「ATR CALL BRIX」は、このような脳の仕組みに基づき、高校までで培ってきたインプット中心の英語力をアウトプットにつなげるために、音声を学習の中心に据えています。音声を活用した訓練を適切な順番で繰り返し行うことで、「読む」「聞く」「話す」「書く」の4技能をバランスよく向上できるように設計されています。



主なコースコンテンツ

✓	TOEIC®L&R テスト対策コース
✓	TOEFL®対策 実践問題演習コース (Section2 対策用文法問題付き)
✓	TOEFL®対策 必須単語 5000 語マスターコース
✓	英検対策コース (準1 級～5 級)
✓	理工系学生のための英語力強化コース C0CET3300 対応
✓	科学技術英単語コース
✓	リメディアルコース

製品・サービス名称	ATR CALL BRIX		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	非公開		
費用	※トライアルの有無、課金体系、従量制課金の上限設定、割引プラン等 選定ご担当者様向けにトライアル ID のご提供が可能です。(標準 2 週間) 【ID】1 人 1 年 10,000 円 (税抜) ～ 【初期設定費用】		
利用条件	サイトライセンス適用の場合、ID 発行が可能なのは在学中の学生および教職員のみ。 入学前教育やオープンキャンパスなど、在学生以外が利用する場合は要相談。		
支払方法	年次請求、前払、振込		
販売代理店	指定の代理店はありません		
■契約			
申込み方法	発注後に所定の申込フォームをお渡しします	利用開始までの期間	最短 1 週間
約款の有無	有・無 ()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外 ()	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法 海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無 (SLA 内容:)		
実績稼働率	有・無・その他 ()	目標稼働率	有・無・その他 ()
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ()	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	平日 9:00-17:00	QA 対応時間帯	平日 9:00-17:00
コンタクト方法	電話・メール・その他 ()	対応インシデント数	上限なし
計画停止の頻度	年 1 回程度、長期休暇期間	サービス停止の通知	緊急時以外は 1 か月前
ログの開示	有・無 (※条件)	第三者認証取得状況	※ISMS、P マーク等
問合せ先	企業名: 株式会社内田洋行		お問い合わせフォームからご連絡ください

製品・サービス名称	画面モニタリングシステム RealCAST（リアルキャスト）
提供企業名	株式会社内田洋行
紹介サイト URL	https://www.uchida.co.jp/education/solution/realcast/

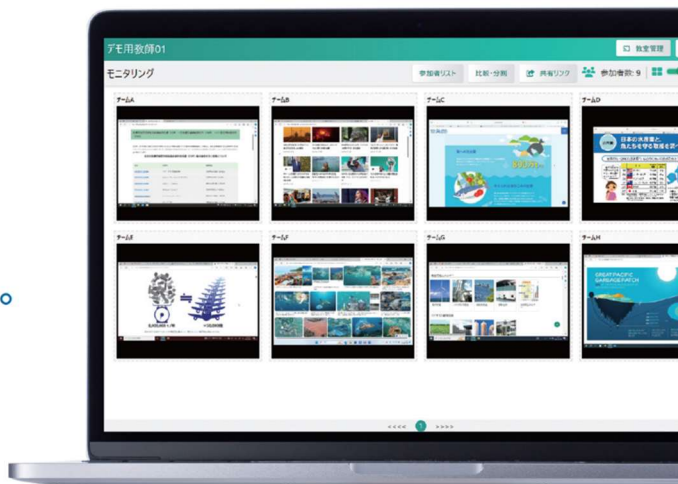
■製品サービスの特長

マルチ OS 対応クラウド型画面モニタリングシステム



RealCAST

学習者の端末の画面を一覧で
モニタリングできるクラウド型システム。
クラス全員の学習の様子を
把握しながら授業を
進行できます。



point▶1 1人1台端末を使用した 対面授業に

学習者の学習状況を把握でき、1人1台
1アカウント運用やBYOD端末での授業を
サポートします。

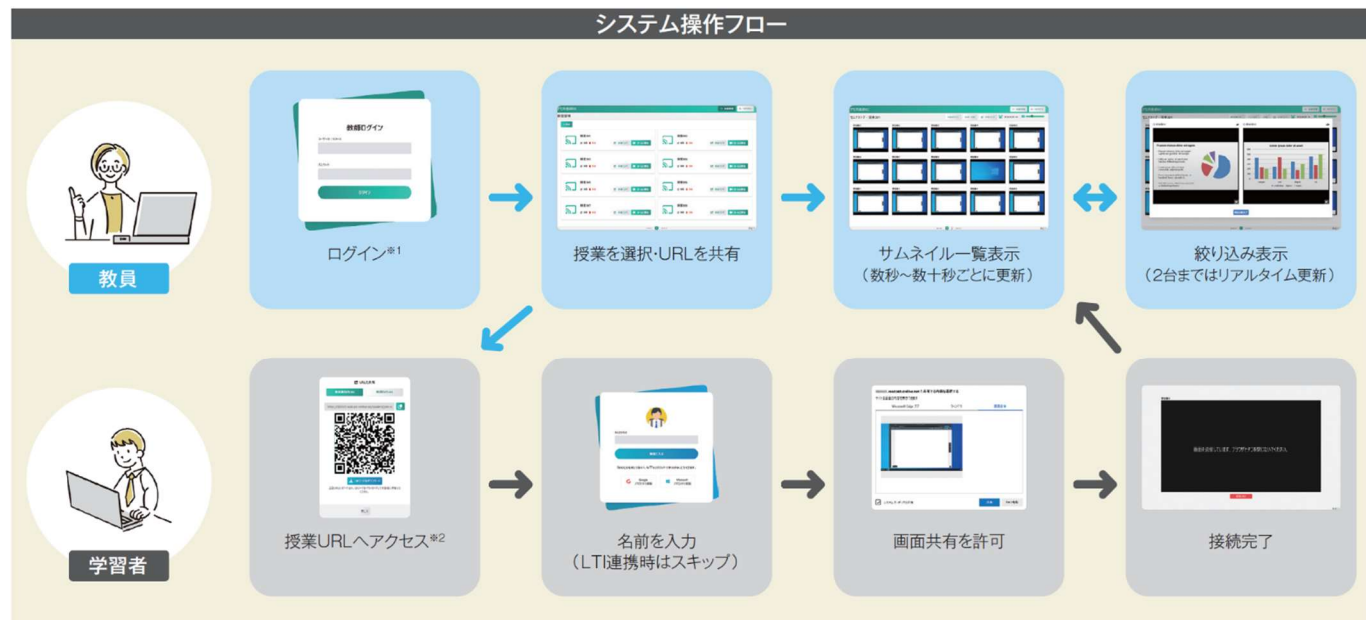


point▶2 オンライン/ハイブリッド型の 授業に

Zoom、Teams等のWeb会議システムや、学習e
ポータル「L-Gate」、Moodle等のLMSと組み合わせ
て補完的に活用できます。



システム操作フロー



※1 設定でOpenID Connectも使用可能。 ※2 iPadでは専用アプリで読取。

LTI 1.3 Core / OneRoster 1.2対応 ※対応予定

LTI 1.3 Core対応のLMSや学習eポータルと連携すると、連携先のLMSやポ
ータルの学習者画面からRealCASTの授業URLにリンクでき、学習者による氏名
入力も省略できます。
教員ユーザーの登録は、OneRoster 1.2規格準拠のCSVデータでインポート
することができます。

※相手先システムの仕様によっては連携やインポートが行えない可能性もあります。

本システムを使用した授業で第三者の著作物を表示・送受信する場合、当該著作物の権利者に公衆送信の許諾を得るか、または授業目的公衆送信補償金制
度に基づく一般社団法人授業目的公衆送信補償金等管理協会（SARTRAS）への登録・申請と補償金の支払を行ってください。

OpenID Connect対応

学習者がMicrosoft 365またはGoogle Workspaceをお使いの場合は、
それらのアカウントの氏名を自動取得し、入力を省略できます。



製品・サービス名称	RealCAST		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他（ ）	・パブリック ・プライベート ・その他（ ）	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（ ） 大学数（非公開）校：利用大学名（ ）		
費用	年額利用料金制：校種、ユーザ数等に応じお見積をご提示いたします。 トライアル（評価利用）についてはお問い合わせください。		
利用条件	【クラウドの場合】最低ユーザ数：50名、最低利用期間：1年		
支払方法	年次請求、前払、振込、円建		
販売代理店	無、有（代理店名：内田洋行の販売代理店に準ずる ）		
■契約			
申込み方法	注文書・その他（ ）	利用開始までの期間	応相談（1～2か月程度）
約款の有無	有・無（ ）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（ ）
データ保存場所	国内・海外（ ）	データ削除規定の有無	有・無・その他（ ）
準拠法	日本国法・海外法規（ ）	管轄裁判所	国内・海外（ ）
■信頼性			
SLA	有・無（SLA内容： ）		
実績稼働率	有・無・その他（ ）	目標稼働率	有・無・その他（ ）
ストレージ	多重化有・無・その他（ ）	バックアップ	有・無・その他（ ）
データ暗号化	有・無・その他（ ）	暗号化通信	有・無・その他（ ）
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx年xx月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx年xx月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（ ）	API 公開	有・無・その他（ ）
■保守・運用			
障害対応時間帯	平日 9：00-17：00	QA 対応時間帯	平日 9：00-17：00
コンタクト方法	電話・メール・その他（ ）	対応インシデント数	規定なし
計画停止の頻度	必要に応じ実施	サービス停止の通知	適宜通知
ログの開示	有・無（※条件 ）	第三者認証取得状況	P マーク
問合せ先	企業名：株式会社内田洋行 部署名：ICT&プロダクツ デベロップメント事業部 ICT プロダクト企画部 担当者：大橋 一貴		電話番号：03-5634-6209 FAX 番号：03-5634-6831 Mail： realcast-gr@groups.uchida.co.jp

2. 研究支援系ソリューション

製品・サービス名称	Cloud Volumes ONTAP
提供企業名	ネットアップ合同会社
紹介サイト URL	https://www.netapp.com/ja/ontap-cloud/

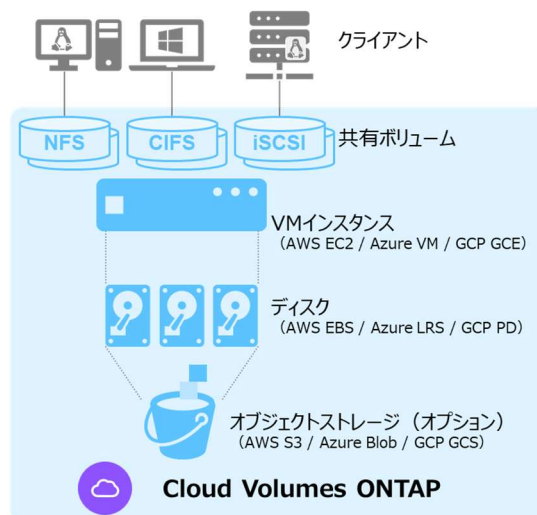
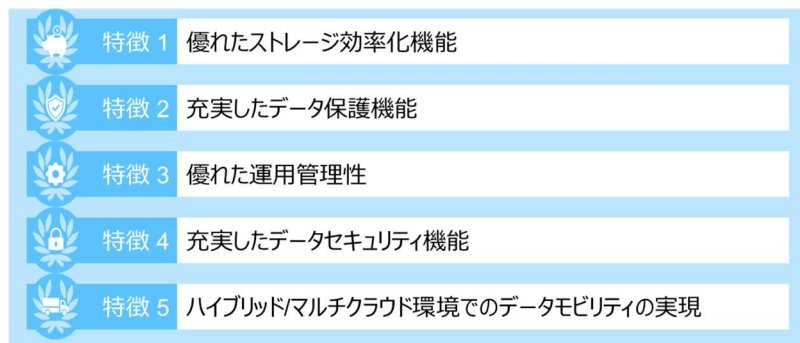
■製品サービスの特長

◆Cloud Volumes ONTAP を選ぶ理由

Cloud Volumes ONTAP は、ファイルとブロックのワークロードに対応した高度なデータ管理を実現する Software-Defined Storage サービスです。Cloud Volumes ONTAP を利用すると、クラウド ストレージ コストの最適化およびアプリケーションのパフォーマンスの向上と同時に、データ保護、セキュリティ、コンプライアンスを強化できます。

◆Cloud Volumes ONTAP の特長

お客様のクラウド ストレージで高度なデータ管理機能を利用できます。ONTAP は、SMB、NFS、iSCSI、S3 をサポートしているため、アプリケーション環境に NAS、SAN、オブジェクトストレージをプロビジョニングすることが可能です。またパフォーマンスへの影響ゼロの NetApp Snapshot コピーを作成し、バックアップとリカバリ用のデータのポイントインタイムコピーをほぼ瞬時に作成できます。ストレージリソースを余分に消費することも、アプリケーションのパフォーマンスに影響が生じることもありません。さらにオプションとして、使用頻度の低いデータを低コストのオブジェクトストレージに自動的に階層化できるため、ストレージコストの削減することが可能です。環境に応じて、AWS、Google CloudPlatform、Microsoft Azure から好きなクラウドをご利用いただけます。



◆Cloud Volumes ONTAP の導入

- ・各クラウド事業者から購入する時間単位の従量課金制 (Pay-As-You-Go)
- ・Keystone によるサブスクリプションベースのサービス選択も可能
- ・Cloud Volumes ONTAP の導入は数分で完了
- ・30 日間無償トライアル、各クラウド事業者から直接入手可能

製品・サービス名称	Cloud Volumes ONTAP		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他（ ）	・パブリック ・プライベート ・その他（ ）	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（複数の企業様ご利用） 大学数（非公開）校：利用大学名（日本の教育機関では複数の国立大学様が利用中）		
費用	【Pay-As-You-Go】従量課金。ストレージの必要容量、可用性のオプションの選択により料金変動します。 【Keystone】サブスクリプションベースのサービス。詳細は弊社または、代理店へお問い合わせください。		
利用条件	【Pay-As-You-Go】最低利用期間は1時間です。 【Keystone】最低利用期間は12か月です。		
支払方法	【Pay-As-You-Go】各パブリッククラウド事業者の支払い条件に基づく。 【Keystone】代理店との個別契約		
販売代理店	有（代理店名：代理店一覧 https://www.netapp.com/ja/partners/partner-connect ）		
■契約			
申込み方法	注文書・その他（Web からサインアップ）	利用開始までの期間	数時間
約款の有無	有・無	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（ ）
データ保存場所	ご利用リージョン内	データ削除規定の有無	有・無・その他（ホワイトペーパーを開示 ）
準拠法	日本国法・海外法規（リージョンをご選択）	管轄裁判所	国内・海外（リージョンをご選択）
■信頼性			
SLA	有・無（SLA 内容：ご利用構成/パブリッククラウド事業者により変動）		
実績稼働率	有・無・その他（非公開）	目標稼働率	有・無・その他（非公開）
ストレージ	多重化有・無・その他（ ）	バックアップ	有・無・その他（ ）
データ暗号化	有・無・その他（ ）	暗号化通信	有・無・その他（ ）
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（ ）	API 公開	有・無・その他（ ）
■保守・運用			
障害対応時間帯	24H/365D	QA 対応時間帯	24H / 5D(月～金)
コンタクト方法	電話・メール・その他（ ）	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	クラウド事業者依存	サービス停止の通知	クラウド事業者依存
ログの開示	有・無（※条件 ）	第三者認証取得状況	ISO9001,14001 など
問合せ先	企業名：ネットアップ合同会社 部署名：戦略アライアンス本部 担当者：脇 昌弘	電話番号：03-6870-7400 FAX 番号：03-6870-7401 Mail： masahiro.waki@netapp.com	

製品・サービス名称	NetApp : Autonomous Ransomware Protection with Artificial Intelligence(ARP/AI) + Data Infrastructure Insights Storage Workload Security(DII SWS) による多層防御
提供企業名	ネットアップ合同会社
紹介サイト URL	https://www.netapp.com/ja/cyber-resilience/ransomware-protection/ https://www.netapp.com/ja/data-infrastructure-insights/

■製品サービスの特長

◆Autonomous Ransomware Protection with Artificial Intelligence(ARP/AI) によるエントロピー解析

ストレージ OS「ONTAP」に AI 駆動型ランサムウェア検出機能を実装し、検知と対応を行う、次世代のランサムウェア対策ソリューションです。

・ランサムウェアの検知

- データのエントロピー(複雑性)の傾向を把握 (ファイル・ブロック対応)

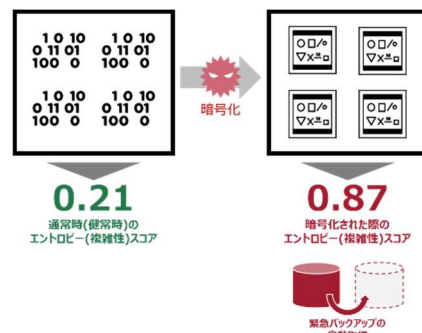
・ランサムウェアへの感染検出後の迅速な対応

- ほぼリアルタイムに感染を検出し、被害を最小限に抑えるための緊急バックアップを自動

取得

・インターネットに接続できない環境でも利用可能

- ストレージ OS 自身に機能が組み込まれているためインターネット接続不要



◆Data Infrastructure Insights Storage Workload Security (DII SWS) による振る舞い検知

データアクセスを振る舞い検知ベースのアーキテクチャで監視する、

SaaS 型のランサムウェア対策ソリューションです。

・ランサムウェアの検知

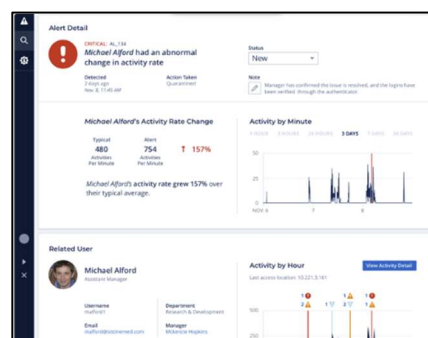
- Deep Learning により悪意のあるデータアクセスを検出

・異常検出時はポリシーに従いアクションを自動実行

- ストレージ OS「ONTAP」と連動してしたスナップショットの自動取得
- 異常が検出されたユーザーのアクセスを強制的に遮断

・ランサムウェア感染以外の不正アクセスも検知

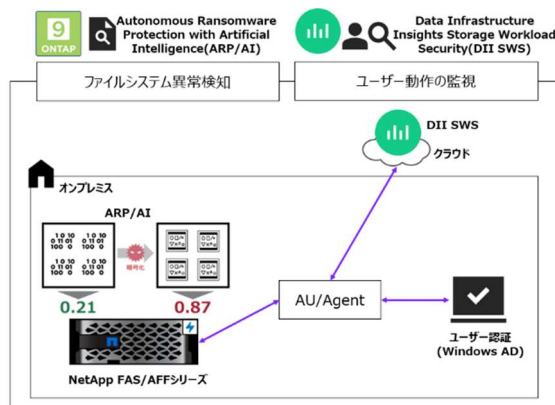
- データの持ち出し等、ランサムウェア以外の不正アクセスも検知可能



◆ARP/AI + DII SWS による多層防御構成例

ARP/AI と DII SWS でストレージ内の同一領域を監視することにより、ファイルのエントロピー解析/振る舞い検知の多層防御で外部からの攻撃を検知し、復旧用のスナップショットを自動で取得します。

各機能を単体で利用するよりも検知の精度を向上させ、より堅牢にデータを保護可能です。



製品・サービス名称	NetApp :Autonomous Ransomware Protection with Artificial Intelligence(ARP/AI) + Data Infrastructure Insights Storage Workload Security(DII SWS)による多層防御		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名 () 大学数（非公開）校：利用大学名（芝浦工業大学様）		
費用	ストレージの機種/必要容量/オプションの選択により料金変動致します。詳細は弊社または、代理店へお問い合わせください。		
利用条件	【ARP/AI】 ストレージ OS ライセンス 「ONTAP One」 に含まれます 【DII SWS】 最低利用期間 12 か月からの利用契約となります		
支払方法	代理店との個別契約		
販売代理店	有（代理店名：代理店一覧 https://www.netapp.com/ja/partners/partner-connect ）		
■契約			
申込み方法	注文書	利用開始までの期間	3 か月(目安)
約款の有無	有・無	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	非公開	データ削除規定の有無	有・無・その他（非公開）
準拠法	日本国法・海外法規（機器設置先に依存）	管轄裁判所	国内・海外（器設置先に依存）
■信頼性			
SLA	有・無（DII の SLA 内容詳細： https://www.netapp.com/how-to-buy/sales-terms-and-conditions/terms-with-customers/general-terms/services-terms/cloud-services-service-specific-terms/cloud-insights/ ）		
実績稼働率	有・無・その他（非公開）	目標稼働率	有・無・その他 () 99.99% (DII)
ストレージ	多重化有・無・その他（非公開）	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ()	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	代理店との契約に依存	QA 対応時間帯	代理店との契約に依存
コンタクト方法	電話・メール・その他 ()	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	無	サービス停止の通知	販売終了から半年前に通知
ログの開示	有・無（※条件 ()	第三者認証取得状況	ISO 14001 等
問合せ先	企業名：ネットアップ合同会社 部署名：戦略アライアンス本部 担当者：脇 昌弘		電話番号：03-6870-7400 FAX 番号：03-6870-7401 Mail： masahiro.waki@netapp.com

製品・サービス名称	FlexPod Datacenter for AI
提供企業名	ネットアップ合同会社
紹介サイト URL	https://www.netapp.com/ja/flexpod/ https://www.netapp.com/ja/media/11925-sb-flexpod-datacenter-ai.pdf

■製品サービスの特長

◆FlexPod Datacenter for AI でさらに多くのデータを分析

AI プロジェクトが研究段階から実運用段階へ移行するにつれて、インフラの制約や課題が増大します。

FlexPod AI 導入によりデータライフサイクル全体で適切なパフォーマンスを提供します。

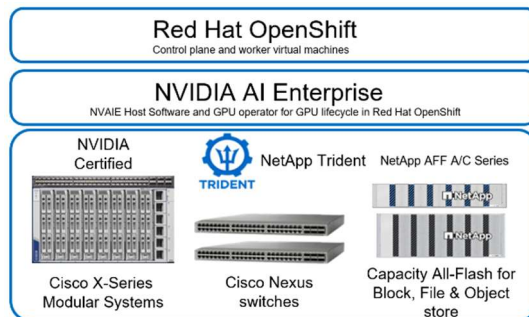


◆FlexPod Datacenter for AI が選ばれる理由

- AI / ML への取り組みを導入しやすい検証済みの構成で導入可能
- 20PB 以上に拡張可能なグローバル ネームスペースにより大容量の学習データセットを ONTAP の FlexGroup でサポート
- 重複排除と圧縮の手法で、データ ストレージの容量要件を最大 10 分の 1 に低減
- 開発、テスト、トレーニング、推論の各環境をサポート

◆FlexPod Datacenter for AI ソリューション

FlexPod Datacenter for AI ソリューションは、分析ワークロードに最適な統合インフラです。広く普及している FlexPod Datacenter プラットフォームを基盤に、NVIDIA GPU を搭載した Cisco UCS ブレード サーバまたはラックサーバ、Cisco Nexus シリーズ スイッチ、NetApp ONTAP 搭載の NetApp AFF オールフラッシュ ストレージ アレイで構成されたソリューションです。



■ Cisco UCS X-Series M7 / C-Series M7

グラフィック処理ユニット（GPU）、高速インターコネクト テクノロジ、高速ネットワークが統合されたこのサーバは、スピーディーなタスク処理を実現する、目的に即した妥協のない製品です。

X-Series では、Cisco UCS X-Fabric を経由して接続された Cisco UCS X440p PCIe ノードに、最大 16 台までの格納された NVIDIA GPU を搭載可能です。

■ NetApp ONTAP :

ネットアップ ストレージ システムに搭載されている ONTAP ソフトウェアにより、分散したデータ ソースからシームレスなデータ レイクを簡単に構築できます。複数の I/O ストリームを同時にサポートする、このデータ レイクを使用すれば、オールフラッシュ アレイからトレーニング環境へデータを高速かつ低レイテンシでストリーミングできます。トレーニングが完了したら、生成された推論モデルをリポジトリにすばやく移して推論テストと仮定検証を実施することで、Cisco UCS サーバの超高速 GPU アクセラレーションにより、すぐに結果が得られます。

FlexPod Datacenter for AI ソリューションには、AI と ML のワークロードとデータベースを強力に支える機能がすべて備わっています。この拡張性に優れたアーキテクチャを導入すれば、組み込みの先進テクノロジーと統合管理アプローチを活かして、多くのメリットをもたらすことができます。ソリューションは Kubeflow Pipelines と統合しているので、プライベートとパブリックの複数のクラウド プラットフォームで連携し、人工知能機能を幅広く利用することが可能です。

製品・サービス名称	FlexPod Datacenter AI		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他（ ）	・パブリック ・プライベート ・その他（ ）	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（ ） 大学数（非公開）校：利用大学名（ ）		
費用	代理店にてお見積り致します 弊社または、代理店へお問い合わせください。		
利用条件	弊社または、代理店へお問い合わせください。		
支払方法	弊社または、代理店へお問い合わせください。		
販売代理店	有（代理店名：代理店一覧 https://www.netapp.com/ja/partners/partner-connect ）		
■契約			
申込み方法	注文書	利用開始までの期間	数日～
約款の有無	有・無	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（ ）
データ保存場所	非公開	データ削除規定の有無	有・無・その他（ホワイトペーパーを開示）
準拠法	日本国法・海外法規（リージョンをご選択）	管轄裁判所	国内・海外（リージョンをご選択）
■信頼性			
SLA	有・無（ ）		
実績稼働率	有・無・その他（ ）	目標稼働率	有・無・その他（ ）
ストレージ	多重化有・無・その他（非公開）	バックアップ	有・無・その他（ ）
データ暗号化	有・無・その他（機能により可能）	暗号化通信	有・無・その他（ ）
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（ ）	API 公開	有・無・その他（ ）
■保守・運用			
障害対応時間帯	24H/ 365D	QA 対応時間帯	9:00～17:00 / 5D(月～金)
コンタクト方法	電話・メール・その他（Web）	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	未定	サービス停止の通知	有
ログの開示	有・無（※条件 ）	第三者認証取得状況	ISO/IEC27001,ISO/IEC27017
問合せ先	企業名：ネットアップ合同会社 部署名：戦略アライアンス本部 担当者：脇 昌弘		電話番号：03-6870-7400 FAX 番号：03-6870-7401 Mail： masahiro.waki@netapp.com

製品・サービス名称	NetApp Keystone for Storage as a Service (STaaS)
提供企業名	ネットアップ合同会社
紹介サイト URL	https://www.netapp.com/ja/keystone/

■製品サービスの特長

◆オンプレミスでの柔軟性を備えたサブスクリプションサービス

NetApp Keystone はパブリッククラウドで提供されているデータストレージサービスをプライベート環境で「サービス」として提供するネットアップのストレージサービスです。

◆NetApp Keystone for STaaS の特長

- ・ご利用用途にあったサービスレベルをご選択いただくだけで、要件を満たすストレージ機材を NetApp が提供します。
- ・サポートメンテナンスはもちろん、煩わしい OS や FW の更新計画も NetApp が提案、更新します。
- ・らデータをオンプレミスで保管することで、コンプライアンス、パフォーマンス、セキュリティの適切な管理が可能になります。
- ・ハイブリッドマルチクラウド環境でのデータ共有の実現も可能です。

1 つのサブスクリプションで一元的な管理



AWS

Google Cloud

Microsoft Azure

オンプレミス ストレージ サービス



クラウド ストレージ サービス

※Keystone 契約にはオンプレ利用が必須

契約期間：1 年, 2 年, 3 年, 4 年*, 5 年*

契約の 20%までの超過容量を

月額支払い：四半期毎にオンプレミスの支出を最大 25%クラウド

1 年毎の前払い：一年毎に前年の 25%まで契約容量削減可

*クラウドサービスが含まれる場合は不可。



IT の運用を簡易化

ハードウェアのライフサイクルを管理する複雑な作業から解放され、使用状況に応じてコストを適正化



柔軟性

要件に応じてサービスの消費、支払い、アクティブ化を柔軟に調整



クラウドのメリットをオンプレミスで管理

単一のコンソールから、複数のクラウド間で簡単にストレージを拡張



パフォーマンスと保護レベルの予測性が向上

クラウドデータサービスをいつ、どこで、どのように使用するかを選択できるため、データ保護に関する不安を解消

<選択プラン> ファイル、ブロック、オブジェクトから選べるストレージ サービス レベル

パフォーマンス サービスレベル	EXTREME	PREMIUM	STANDARD	VALUE
負荷タイプ	Mission Critical 分析・データベース	T1 workloads VDI、ソフト開発環境	General purpose ファイル共有、Webサーバ	冗長化ストレージ バックアップ
File / Unified	✓	✓	✓	✓
Block	✓	✓		
Object			✓	✓
最小契約容量	File/Block - 50 TiB	File/Block - 50 TiB	File - 100 TiB Object - 500TiB	File - 100 TiB Object - 500 TiB
増量可能単位	25 TiB	25 TiB	25 TiB	File - 25 TiB Object - 100 TiB

PROTOCOLS Unified - FC, iSCSI, NVMe/FC, NVMe/TCP, NFS, NFSv4/RDMA, SMB, S3* • Block only - NVMe/TCP, NVMe/FC, FC, iSCSI • Object - S3

製品・サービス名称	NetApp Keystone for Storage as a Service (STaaS)		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数 (非公開) 社 : 利用企業名 () 大学数 (非公開) 校 : 利用大学名 ()		
費用	トライアル: 無 / 課金体系: サービスレベルと契約容量に応じた固定金額+超過容量分(契約容量の 20%)の従量課金 / 容量、契約年数に応じた割引価格設定		
利用条件	【オンプレサービス】最低利用期間 12 か月 / 最低利用量 25TiB (Extreme, Premium, Performance) 【クラウドサービス】最低利用期間 12 か月 / 最低利用量 4 TiB		
支払方法	オンプレサービスのみの場合: 月次/年次(前払)請求 支払方法: 契約販売店による オンプレ+クラウドサービスの場合: 月次請求 支払方法: 契約販売店による		
販売代理店	有 (代理店名: 代理店一覧 https://www.netapp.com/ja/partners/partner-connect)		
■契約			
申込み方法	注文書・その他 ()	利用開始までの期間	2 か月程度
約款の有無	有・無 ()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	ご利用リージョン内	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無 (SLA 内容:)		
実績稼働率	有・無・その他 ()	目標稼働率	有・無・その他 ()
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ()	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	24H/365D	QA 対応時間帯	24H / 5D(月～金)
コンタクト方法	電話・メール・WEB フォーム	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	オンプレなし クラウド事業者による	サービス停止の通知	オンプレなし クラウド事業者による
ログの開示	有・無 (※条件)	第三者認証取得状況	ISO9001,14001 など
問合せ先	企業名: ネットアップ合同会社 部署名: 戦略アライアンス本部 担当者: 渡邊靖博	電話番号: 03-6870-7400 FAX 番号: 03-6870-7401 Mail: yasu.watanabe@netapp.com	

製品・サービス名称	codemari クラウドサービス
提供企業名	株式会社内田洋行
紹介サイト URL	https://www.uchida.co.jp/codemari/

■製品サービスの特長

複雑なAV機器を「タブレット端末」や声で、楽々操作。

スクリーンやプロジェクター、照明やスピーカーなど、さまざまな機器が装備された空間では、複数の機器を扱うための知識が必要です。その複数の機器を、「タブレット端末」や声で操作するためのWEBアプリケーションソフトがcodemari(コデマリ)です。タブレット端末が1台あれば機器操作が苦手な人も、タブレット端末を使ってドラッグ&ドロップで直感的に操作できたり、声で指示するだけで簡単に操作できます。



▼codemari の特長

かんたん設定



ワンタッチであらかじめ設定された状態に機器や照明などの準備が整います。部屋の利用方法が変わるときにも活躍するプリセット機能です。

ダッシュボード



さまざまな機器の「今」の状態を確認できるダッシュボード画面から、**迷わず** 設定したい機器を操作できます。

機器コントロール



プロジェクター投影やディスプレイ表示する映像の切替えや、プロジェクターの映像ミュートや音量調整などの操作を**まとめて**行えます。

LMS とも連携可能に



LMS 等と学習ツールを連携する国際技術標準である LTI1.3 に対応しました。先生が自分の端末で使っている LMS から、**すぐに操作**できます。

▼主な操作



①**ダッシュボード**
全ての機器の状態を確認と機器毎の個別の操作もできます。



②**照明設定**
照明のON/OFF、照度の調節を行います。あらかじめ設定した状態を指定して一括で変更することもできます。



③**サウンド設定**
スピーカーの音源切替、音量のUP/DOWNやミュートを行います。



④**映像設定**
プロジェクターで投影したりディスプレイに表示する映像を指定して切り替えます。

柔軟な画面構成が可能

お客様の導入機器や使い方に合わせて、画面内のアイコンや文言などの設定変更が行えます。
※機器の変更・追加については、事前にお問い合わせください。



⑤**スクリーン制御**
スクリーンのプリセット操作、昇降を行います。



⑥**カメラ操作**
カメラのプリセット操作やパン・チルト・ズームの微調整を行います。



⑦**空調設定**
空調の設定を行います。
部屋の温湿度、CO₂濃度の状況も把握できます。



⑧**収録システム制御**
収録システムのレイアウトの切替、収録の開始・停止を行います。

▼運用・管理を支援する機能



授業時間に合わせて自動で機器のON/OFFができます。
授業時間に合わせて自動で機器を立ち上げることができ、余分な時間が削減されます。教室毎の終了時刻に合わせ、機器の電源OFFが行え、つけっぱなしによる動作不良を防げます。



全体状況の把握を簡単に
部屋の一覧で稼動状態を一目で確認でき、一覧から各部屋の操作画面へ遷移し、遠隔サポートも容易に行えます。



運用実績に基づいた改善検討
操作履歴を帳票やグラフや状態遷移図で確認でき、期間で区切って導入後のICT機器の利用状況を評価できます。全体的な傾向や部屋間の比較を行うことで、相対的に評価でき、使われていない部屋のICT機器の利用を促したり、他の部屋に移設する等、将来の改善方法を検討することができます。

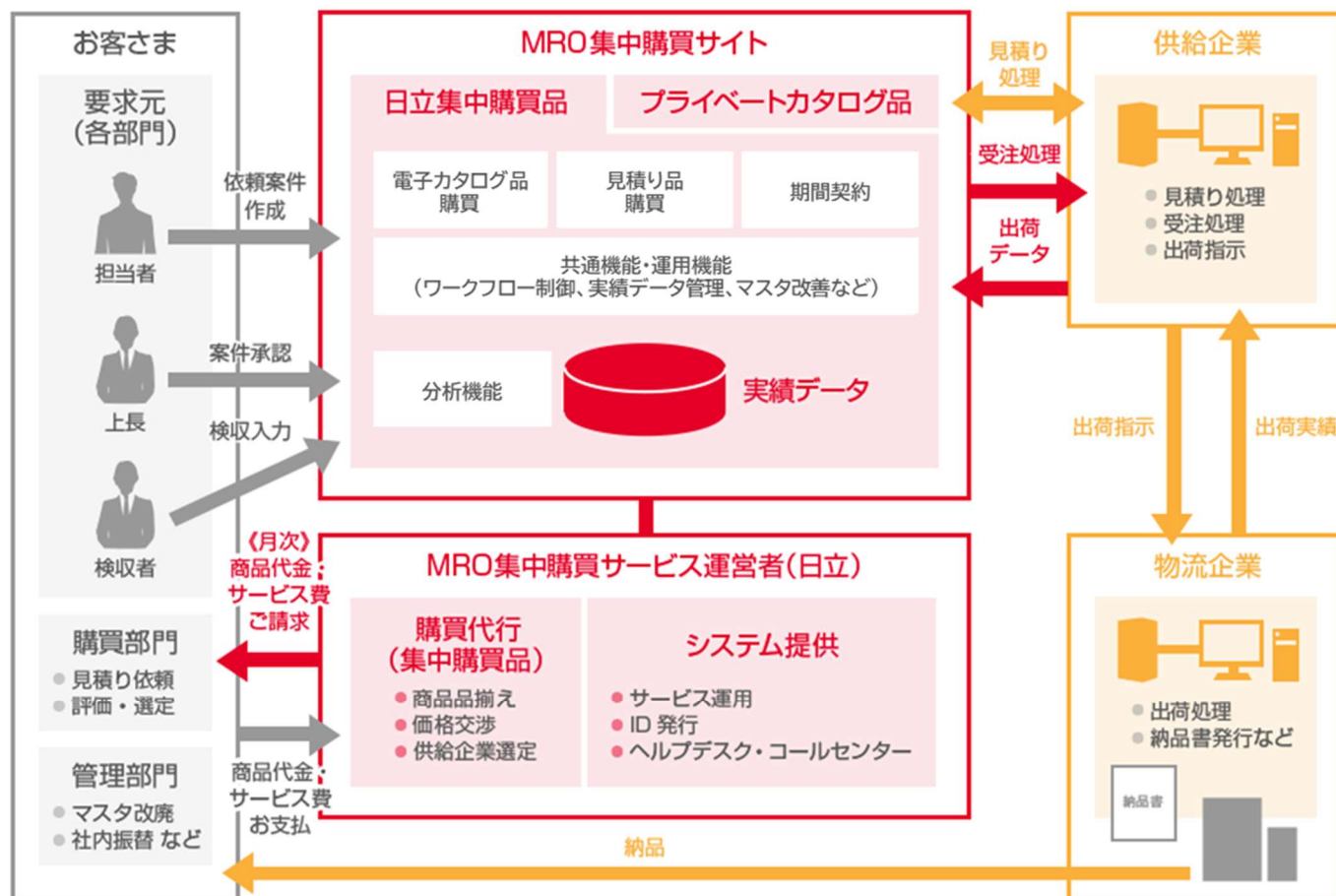


製品・サービス名称	codemari クラウドサービス		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他（ ）	・パブリック・プライベート ・その他（ ）	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（ ） 大学数（非公開）校：利用大学名（ ）		
費用	導入時の初期設定費用、毎月の利用料（定額）が発生します。		
利用条件	【クラウドの場合】最低ユーザ数、最低利用期間の設定はございません。		
支払方法	月次／年次請求、前払		
販売代理店	有（代理店名： ）		
■契約			
申込み方法	注文書・その他（ ）	利用開始までの期間	注文後 2 か月程度
約款の有無	有・無（ ）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（ ）
データ保存場所	国内・海外（ ）	データ削除規定の有無	有・無・その他（ ）
準拠法	日本国法・海外法規（ ）	管轄裁判所	国内・海外（ ）
■信頼性			
SLA	有・無（SLA 内容： ）		
実績稼働率	有・無・その他（非公開 ）	目標稼働率	有・無・その他（非公開 ）
ストレージ	多重化有・無・その他（ ）	バックアップ	有・無・その他（ ）
データ暗号化	有・無・その他（ ）	暗号化通信	有・無・その他（ ）
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（ ）	API 公開	有・無・その他（ ）
■保守・運用			
障害対応時間帯	平日 9：00-17：00	QA 対応時間帯	平日 9：00-17：00
コンタクト方法	電話・メール・その他（ ）	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	必要に応じ実施	サービス停止の通知	1 週間以上前にご連絡
ログの開示	有・無（※条件 ）	第三者認証取得状況	P マーク
問合せ先	企業名：株式会社内田洋行 部署名：ICT&プロダクツ デベロッップメント事業部 ICT プロダクト企画部 担当者・太田 裕士	電話番号：03-5634-6209 FAX 番号：03-5634-6831 Mail： ootahiroshi@uchida.co.jp	

3. 事務支援系ソリューション

製品・サービス名称	TWX-21 MRO 集中購買サービス
提供企業名	株式会社 日立製作所 マネージド&プラットフォームサービス事業部
紹介サイト URL	https://e-sourcing.twx-21.com/mall/index.html?link_id=twx_lid_110225_02

■製品サービスの特長



間接材の購買改革を支援するサービスです。

さまざまな大学/研究機関でのご利用が可能。以下の2タイプにより間接材購買全体の改革を支援いたします。

利用タイプ1：集中購買参加タイプ（購買代行型）

- ・簡単な Web 画面操作で、商品検索、注文作成、承認が可能。他システム(SAP など)との連携も可能です。
- ・これからご利用いただく大学/研究機関とこれまでご利用いただいている一般企業の購入量を集約し、日立が単価交渉、商品選定を行います。継続的な原価低減を実現し、支払いは MRO 集中購買サービスに統一します。

利用タイプ2：システム環境利用タイプ（プライベートカタログ型）

- ・大学/研究機関個別のカタログを掲載し、発注側、受注側の機能を含めた電子取引の環境をご提供します。
- ・多くの利用実績のあるシステム環境のみをご提供します。

製品・サービス名称	TWX-21 MRO 集中購買サービス		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数 (760) 社 : 利用企業名 (バンドー化学株式会社様、株式会社 IHI 様 他) 大学数 (非公開) 校 : 利用大学名 (北海道大学様)		
費用	初期費用 : 作業内容に応じて設定。ランニング費用 : データ件数、ユーザ ID 数などに応じて設定。		
利用条件	お客さまの関連業務により異なるため、個別対応になります。詳細は弊社営業までお問い合わせください。		
支払方法	月次・後払、支払方法 (振込)		
販売代理店	無・有 (代理店名 :)		
■契約			
申込み方法	注文書・その他 (弊社営業)	利用開始までの期間	2 ヶ月～
約款の有無	有・無 ()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外 ()	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無 (SLA 内容 :)		
実績稼働率	有・無・その他 (99.5%以上)	目標稼働率	有・無・その他 (非公表)
ストレージ	多重化有・無・その他 (RAID5)	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 (GUI 対応など)	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	弊社営業日 9:00～17:00	QA 対応時間帯	弊社営業日 9:00～12:00, 13:00～17:00
コンタクト方法	電話・メール・その他 ()	対応インシデント数	別途個別見積り
計画停止の頻度	1 回/月 (第 2 日曜日) 定期保守のため終日停止。メンテナンス・エンハンス・保守作業の停止は、サービスの稼働保証時間外 (平日 19:00～翌日 9:00、休日) に実施	サービス停止の通知	計画停止はサービスのホームページに記載、メンテナンス・エンハンス・保守作業による停止は事前に通知
ログの開示	有 (コンテンツ)	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク、QMS、EMS
問合せ先	企業名 : 株式会社 日立製作所 部署名 : 公共システム営業統括本部 第五営業本部 学術情報営業部 第 3 グループ 担当者 : 江盛、荒木	電話番号 : 03-5471-4507 FAX 番号 : 03-5471-4519 Mail : ICT-hitachi@ml.itg.hitachi.co.jp	

製品・サービス名称	RoomSense クラウドサービス
提供企業名	株式会社内田洋行
紹介サイト URL	https://office.uchida.co.jp/ict/roomsense/

■製品サービスの特長

RoomSense

グループワークや個人学習を行う席の空き状況やトイレの空き状況、食堂や休憩スペースの混雑状況等を可視化して利便性を向上するシステムです。

- その場で、直ぐに空いている場所や席を見つけられます。
- 離れた場所でも空いている場所を見つけられ、無駄な時間を削減できます。
- 利用履歴を活用し、効率的な施設運用ができます。

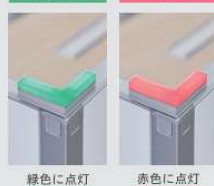


01 利用状況をセンサーが検知しLEDライトの表示で空きスペースが一目でわかる。

各ブースに設置したセンサーが、人の動きを検知することで、LEDライトの色を切り替えます。



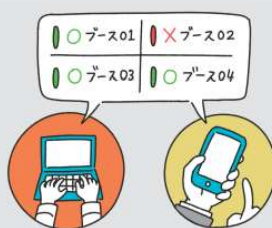
利用可能 利用中



◀LEDライトの色で、ブースの利用状況を瞬時に判断できます。

02 離れた場所からWebブラウザを使って、空いている席を簡単に探せる。

PCやスマホのWebブラウザで利用状況を閲覧できるので、離れた場所から利用可能な場所を探せます。

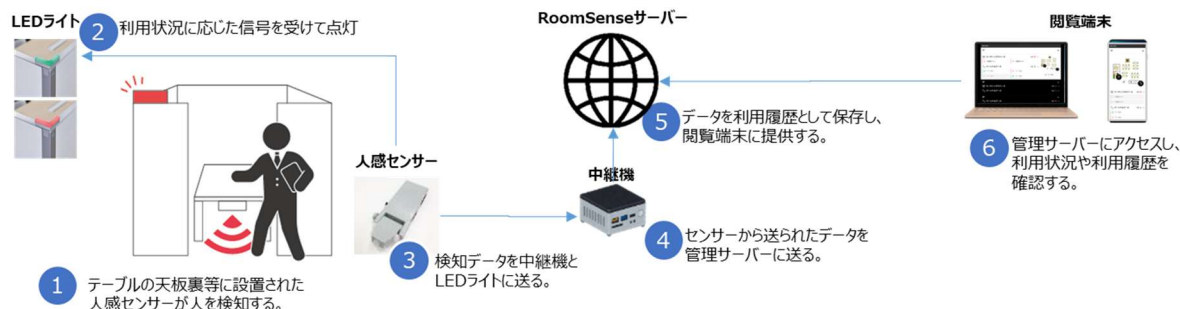


03 利用履歴の蓄積から、オープンスペースの稼働率が確認できる。

利用履歴をもとに、稼働率をグラフで確認したり、データをダウンロードして、活用することができます。



■仕組み



■利用シーン

ラーニング・commons



大学のラーニング・commonsなどに設置すれば、違う校舎やフロアにいてもスマホで空きスペースを確認することができます。

図書館自主学習室



図書館の自主学習席などの空きスペースを見つけることが難しい場所でも、スマホや表示端末で簡単に確認できます。

製品・サービス名称	RoomSense クラウドサービス		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他（ ）	・パブリック ・プライベート ・その他（ ）	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（ ） 大学数（非公開）校：利用大学名（ ）		
費用	導入時の初期設定費用、毎月の利用料（定額）が発生します。		
利用条件	【クラウドの場合】最低ユーザ数、最低利用期間の設定はございません。		
支払方法	※月次／年次請求、前払		
販売代理店	有（代理店名： ）		
■契約			
申込み方法	注文書・その他（ ）	利用開始までの期間	注文後 2 か月程度
約款の有無	有・無（ ）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（ ）
データ保存場所	国内・海外（ ）	データ削除規定の有無	有・無・その他（ ）
準拠法	日本国法・海外法規（ ）	管轄裁判所	国内・海外（ ）
■信頼性			
SLA	有・無（SLA 内容： ）		
実績稼働率	有・無・その他（非公開 ）	目標稼働率	有・無・その他（非公開 ）
ストレージ	多重化有・無・その他（ ）	バックアップ	有・無・その他（ ）
データ暗号化	有・無・その他（ ）	暗号化通信	有・無・その他（ ）
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（ ）	API 公開	有・無・その他（ ）
■保守・運用			
障害対応時間帯	平日：9:00-17:00	QA 対応時間帯	平日 9：00-17：00
コンタクト方法	電話・メール・その他（ ）	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	必要に応じて実施	サービス停止の通知	1 週間以上前にご連絡
ログの開示	有・無（※条件 ）	第三者認証取得状況	P マーク
問合せ先	企業名：株式会社内田洋行 部署名：ICT&プロダクツ デベロップメント事業部 ICT プロダクト企画部 担当者・太田 裕士	電話番号：03-5634-6209 FAX 番号：03-5634-6831 Mail： ootahiroshi@uchida.co.jp	

4 . 情報基盤系ソリューション

製品・サービス名称	さくらの VPS
提供企業名	さくらインターネット株式会社
紹介サイト URL	https://vps.sakura.ad.jp/

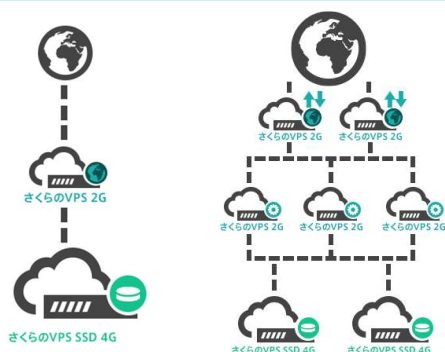
■製品サービスの特長

さくらの VPS が全面リニューアルしました！！

- ◎ 全プランで SSD を標準搭載しスループットが向上！
- ◎ 全プランで初期費用が無料に！
- ◎ 最大 2 倍のストレージ増量や月額料金の最大 50%値下げ！

ローカルネットワーク

台数無制限！複数台構成も低価格で構築できます



1 台からはじめて、サービス規模の拡張に合わせて複数台に！コントロールパネル上の簡単操作でスケールアウトが可能です。

セキュリティ向上

IP アドレスの拡張

各サーバは 3 つのネットワークインターフェースをもつため、グローバル、ローカルの 2 層ネットワークだけでなく、ローカル側を複数セグメント化した 3 層構成も可能。これにより大規模なシステムを VPS で実現できるようになります。

※最大 10 セグメントまで利用可能

ハイブリッド

全国 3 カ所に VPS の地理的な分散が可能です

さくらの VPS を、石狩(北海道)、東京地区、大阪地区の全国 3 カ所に分散配置し同一の L2 ネットワーク上で連携稼働させることが可能です。



ハイブリッド

異種サービスの連携運用が可能です

「さくらの VPS」と「さくらのクラウド」、「さくらの専用サーバ」、「ハウジング」を同一の L2 ネットワークで連携稼働させることが可能です。



製品・サービス名称		さくらの VPS	
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（事例は次の URL 参照 https://case.sakura.ad.jp/ ） 大学数（非公開）校		
費用	Linux 版：初期費用なし、月額費用 643 円（税込）～ Windows 版：初期費用なし、月額費用 1,320 円（税込）～		
利用条件	2 週間の無料ご試用が可能。ご利用拘束期間は 3 ヶ月間となります。		
支払方法	標準は前払い、お支払い方法は請求書払い、クレジットカードとなります。 ただし、お支払い時期や方法につきましては、営業部にてご相談を承ります。		
販売代理店	無、有 ()		
■契約			
申込み方法	注文書・その他（オンラインサインアップ）	利用開始までの期間	即時
約款の有無	有・無 ()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外 ()	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無（SLA 内容： ()		
実績稼働率	有・無・その他（非公開 ()	目標稼働率	有・無・その他（非公開 ()
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他（運用側にて取得）
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（コントロールパネル提供）	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	24 時間／365 日	QA 対応時間帯	当社営業日 10：00-18：00
コンタクト方法	電話・メール・その他 ()	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	必要に応じ実施	サービス停止の通知	1 週間以上前にご連絡
ログの開示	有・無（※条件 ()	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク等
問合せ先	企業名：さくらインターネット株式会社 部署名：営業部 担当者：	電話番号：03-5332-7071 FAX 番号：03-5332-7079 Mail： edu-ml@sakura.ad.jp	

製品・サービス名称	さくらのクラウド
提供企業名	さくらインターネット株式会社
紹介サイト URL	https://cloud.sakura.ad.jp/

■製品サービスの特長

実際にサーバやスイッチがあるような直感的操作が可能な IaaS 型クラウドです。

リージョン

東京

石狩

高性能

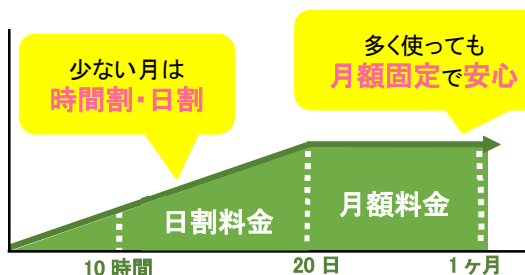
最 **128 コア**、**480GB** メモリまでの充実のスペック

低価格

初期費用無料、月額 **1,540 円** から始められます
月額 1,540 円～、1 日 77 円、1 時間 7 円 ※ディスク料金除く

わかりやすい料金体系

初期費用無料、データ転送量による従量課金なし！



時間割・日割・月額からもっとも安い料金が自動で適用されます。
事前に料金計算できるため予算確定、稟議処理も簡単です。

クラウドと異種サービスを接続できる

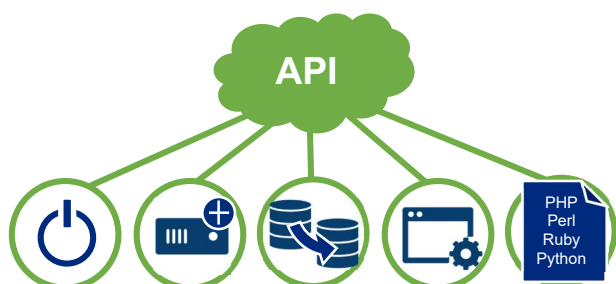
さくらのサービスメリットを最大化！



ローカルセグメントを同一ネットワークで接続し、複数サービスを自由に組み合わせたハイブリッド構成が人気です。
※詳しくはご相談下さい。

クラウド API で業務を効率化

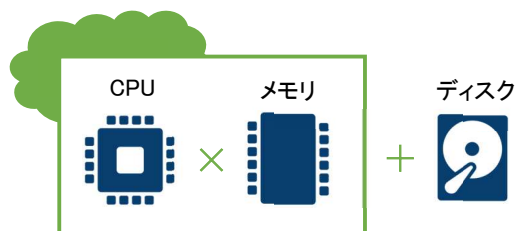
外部プログラムからサーバやインフラを操作！



サーバの作成から削除まで、クラウドの振る舞いのほとんど全てをプログラミングすることが可能です。

選べるプラン 95 種類

最大 20 コア × 224GB メモリの充実スペック！



CPU とメモリを自由に組み合わせてサーバを選択、コントロールパネルからすぐに作成できます。

標準提供機能

セットアップ済み提供 OS あり / インターネット接続回線は共有 100Mbps を無料でご提供 / 1 つの仮想サーバにつき、1 つのグローバル IP アドレスを付与 / コントロールパネルの提供 / 2 段階認証 / WAF の提供 (一部 OS) / マーケットプレイス

有償オプション

Windows Server / Red Hat® Enterprise Linux® Server / アーカイブ / データベースアプライアンス / バックアップ / ブリッジ接続 / スイッチ / ルータ+スイッチ (インターネット接続回線の集約・増速) / 追加 IP アドレス / ロードバランサ / VPC ルータ / GSLB (広域負荷分散) / DNS / オブジェクトストレージ / ハイブリッド接続 / SINET 接続 / AWS 接続 / 改ざん検知

製品・サービス名称	さくらのクラウド		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他（ ）	・パブリック ・プライベート ・その他（ ）	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（事例は次の URL 参照 https://case.sakura.ad.jp/ ） 大学数（非公開）校：利用大学名（国立情報学研究所、流通経済大学 他）		
費用	初期費用 0 円、ランニング費用：仮想サーバのタイプ、台数、オプションの有無により、時間割、日割、月額から最も安い料金で課金が発生します。		
利用条件	【クラウド】最低ユーザ数、最低利用期間の設定はございません。		
支払方法	標準は当月分を翌月 10 日請求、翌月末お支払い。お支払い方法は、クレジットカード払いとなります。ただし、お支払い時期や請求書払いへの変更につきましては、営業部にてご相談を承ります。		
販売代理店	無、有（ セールスパートナー一覧 さくらのパートナーネットワーク ）		
■契約			
申込み方法	注文書・その他（オンラインサインアップ）	利用開始までの期間	即時
約款の有無	有・無（ ）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（ ）
データ保存場所	国内・海外（ ）	データ削除規定の有無	有・無・その他（ ）
準拠法	日本国法・海外法規（ ）	管轄裁判所	国内・海外（ ）
■信頼性			
SLA	有・無（SLA 内容：月間のサーバ稼働率が、99.95%以上）		
実績稼働率	有・無・その他（非公開）	目標稼働率	有・無・その他（非公開）
ストレージ	多重化有・無・その他（ ）	バックアップ	有・無・その他（ ）
データ暗号化	有・無・その他（ ）	暗号化通信	有・無・その他（ ）
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（コントロールパネル提供）	API 公開	有・無・その他（ ）
■保守・運用			
障害対応時間帯	24 時間／365 日	QA 対応時間帯	当社営業日 10：00-18：00
コンタクト方法	電話・メール・その他（ ）	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	必要に応じ実施	サービス停止の通知	1 週間以上前にご連絡
ログの開示	有・無（※条件 ）	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク、PCIDSS
問合せ先	企業名：さくらインターネット株式会社 部署名：営業部 担当者：	電話番号：03-5332-7071 FAX 番号：03-5332-7079 Mail： edu-ml@sakura.ad.jp	

製品・サービス名称	さくらの専用サーバ PHY（ファイ）
提供企業名	さくらインターネット株式会社
紹介サイト URL	https://server.sakura.ad.jp/

■製品サービスの特長



自由度の高い物理専有 ホスティングサービス

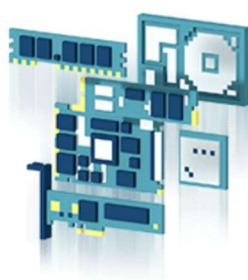
物理サーバをすぐに使えるさくらの専用サーバ PHYなら
お客様のビジネスを支える安心がそろっています

いま、さくらの専用サーバ PHYを選ぶ理由



クラウドサービスとの連携

ハイブリッド接続により、クラウドやハウジングサービスなどとの連携が可能です。



高速なCPUと大量の メモリ、ストレージを専有

最新の高スペックサーバーリソースを独占できます。



自由自在にスケール可能

サーバー1台の構成から、台数に上限なしでスケールアウト可能です。



サーバーを欲しいときに

サーバーを最速10分で提供可能です。
オプションサービスのオンライン申し込みも可能になりました。



万全の保守体制

自社社員による、24時間365日のオンサイト保守でハードウェアの障害も安心です。

製品・サービス名称		さくらの専用サーバ PHY	
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他（ ）	・パブリック ・プライベート ・その他（ ）	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（事例は次の URL 参照 https://case.sakura.ad.jp/ ） 大学数（非公開）校		
費用	8core/64GB メモリ・ハードウェア占有型で月額 35,200 円～（別途初期費用が必要）		
利用条件	最低利用期間は 3 ヶ月間です。		
支払方法	標準は前払い。お支払い方法は請求書払い、クレジットカードとなります。 ただし、お支払い時期や方法につきましては、営業部にてご相談を承ります。		
販売代理店	無、有（ ）		
■契約			
申込み方法	注文書・その他（Web）	利用開始までの期間	即時～数営業日
約款の有無	有・無（ ）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（ ）
データ保存場所	国内・海外（ ）	データ削除規定の有無	有・無・その他（ ）
準拠法	日本国法・海外法規（ ）	管 轄 裁 判 所	国内・海外（ ）
■信頼性			
SLA	有・無（SLA 内容：月間のネットワーク稼働率が 99.95% 以上を保証）		
実績稼働率	有・無・その他（非公開）	目標稼働率	有・無・その他（非公開）
ストレージ	多重化有・無・その他（ ）	バックアップ	有・無・その他（ ）
データ暗号化	有・無・その他（ ）	暗号化通信	有・無・その他（ ）
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（コントロールパネル提供）	API 公開	有・無・その他（ ）
■保守・運用			
障害対応時間帯	24 時間／365 日	QA 対応時間帯	当社営業日 10:00～18:00
コンタクト方法	電話・メール・その他（ ）	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	必要に応じ実施	サービス停止の通知	1 週間以上前にご連絡
ログの開示	有・無（※条件 ）	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク等
問合せ先	企業名：さくらインターネット株式会社 部署名：営業部 担当者：	電話番号：03-5332-7071 FAX 番号：03-5332-7079 Mail： edu-ml@sakura.ad.jp	

製品・サービス名称	高火力 PHY
提供企業名	さくらインターネット株式会社
紹介サイト URL	https://www.sakura.ad.jp/koukaryoku-phy/

■製品サービスの特長

AI開発に欠かせない圧倒的な性能をもつ **NVIDIAのGPU** を **8基搭載** した **ベアメタルサーバー** です。

従来のCPUでは対応が難しかった膨大なデータ処理や複雑な計算を高速かつ効率的に処理し、大規模言語モデル（LLM）、生成AI、機械学習や科学シミュレーションにおいて、高いパフォーマンスを発揮します。

01 NVIDIAの最新GPU「H100/H200/B200」が使える

02 大規模・長期間の専有利用で開発リソースを確保

03 データセンタースタッフが、24時間体制の監視・管理

04 初期費用なし！月額費用のみで利用可能



©SAKURA Internet Inc.

22

モデル		H100 8GPU	H200 8GPU
GPU		NVIDIA H100 SXM 80GB x8	NVIDIA H200 SXM 141GB x8
CPU		Intel Xeon Platinum 8480+ x2	Intel Xeon Platinum 8580+ x2
コア数 (1CPU当たり)		112 (56)	120 (60)
メモリ容量		2.0TB (64GB×32)	1.5TB (96GB×16)
ローカルディスク (NVMe SSD)	OS用	400GB x2 (RAID1構成)	400GB x2 (RAID1構成)
	非OS用	7.68TB x4	7.68TB x4
グローバル回線 ^{*1,2}		【標準】100Mbps 250Mbps (125Mbps × 2) 500Mbps (250Mbps × 2)	【標準】100Mbps (50Mbps × 2) 250Mbps (125Mbps × 2) 500Mbps (250Mbps × 2)
ローカル回線 ^{*1,2} (専用サーバPHY サービスネットワーク)		【標準】4Gbps (2Gbps × 2) 10Gbps (5Gbps × 2) 20Gbps (10Gbps × 2)	【標準】4Gbps (2Gbps × 2) 10Gbps (5Gbps × 2) 20Gbps (10Gbps × 2)
インターコネクト ^{*2,3} (広帯域ロスレスNW)		400Gbps × 4	400Gbps × 8
電源		冗長有り	冗長有り
OS		Ubuntu Server 24.04 LTS Ubuntu Server 22.04 LTS	Ubuntu Server 24.04 LTS Ubuntu Server 22.04 LTS

*1 グローバル回線およびローカル回線の増強はオプションになります

*2 帯域はベストエフォートになります

*3 インターコネクトは、ご利用開始日より3営業日以内に設定されます。設定が完了しましたら完了通知にてお知らせいたします

※B200の提供仕様は決まり次第更新いたします。

製品・サービス名称	高火力 PHY		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他（ ）	・パブリック ・プライベート ・その他（ ）	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（事例は次の URL 参照 https://case.sakura.ad.jp/ ） 大学数（非公開）校		
費用	別途お問い合わせください。		
利用条件	ノード単位		
支払方法	標準は前払い、お支払い方法は請求書払い、クレジットカードとなります。 ただし、お支払い時期や方法につきましては、営業部にてご相談を承ります。		
販売代理店	無、有（ ）		
■契約			
申込み方法	注文書・その他（オンラインサインアップ）	利用開始までの期間	即時
約款の有無	有・無（ ）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（ ）
データ保存場所	国内・海外（ ）	データ削除規定の有無	有・無・その他（ ）
準拠法	日本国法・海外法規（ ）	管轄裁判所	国内・海外（ ）
■信頼性			
SLA	有・無（ ）		
実績稼働率	有・無・その他（非公開）	目標稼働率	有・無・その他（非公開）
ストレージ	多重化有・無・その他（ ）	バックアップ	有・無・その他（ ）
データ暗号化	有・無・その他（ ）	暗号化通信	有・無・その他（ ）
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（コントロールパネル提供）	API 公開	有・無・その他（ ）
■保守・運用			
障害対応時間帯	24 時間／365 日	QA 対応時間帯	当社営業日 10：00-18：00
コンタクト方法	電話・メール・その他（ ）	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	必要に応じ実施	サービス停止の通知	1 週間以上前にご連絡
ログの開示	有・無（※条件）	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク等
問合せ先	企業名：さくらインターネット株式会社 部署名：営業部 担当者：	電話番号：03-5332-7071 FAX 番号：03-5332-7079 Mail： edu-ml@sakura.ad.jp	

製品・サービス名称	高火力 DOK
提供企業名	さくらインターネット株式会社
紹介サイト URL	https://www.sakura.ad.jp/koukaryoku-dok/

■製品サービスの特長

高火力 DOK

NVIDIAのGPUを使用して、お客さまが事前に用意した「Dockerイメージ」を、毎回同じ環境で実行ができる、コンテナ型GPUクラウドサービスです。
イメージ内に実行環境をパッケージングすることで、毎回の環境構築の手間をかけずにタスク実行ができます。
生成AIや機械学習の繰り返しの作業を自動化し、AIアプリケーションの開発・運用を効率化します。



NVIDIA H100をはじめとしたGPUを低価格で提供



初期費用なし！従量課金でコスト最適化を実現



面倒なインフラ管理不要で運用負荷軽減



高火力 DOKでできること

本サービスは 定型タスクの実行 に特化しています。

また、全ての操作はAPIを通じて行えるため、定型タスク自動化の基盤としてもご利用いただけます。

1 タスクの実行

コンテナイメージを1つのタスクとして作成および実行することができます。また、これまで実行したタスク情報を複製して新しいタスクを実行することもできるので、パラメーターを一部変更するときなどに便利です。

2 コンテナレジストリに置いたイメージの利用

コンテナイメージを格納したレジストリを指定し、イメージを利用できます。Open Container Initiativeに準拠しているコンテナイメージをご利用いただけます。

3 ログのストリーム表示

実行中のタスクのログをコントロールパネルから随時確認できます。進捗状況をリアルタイムに把握できるため、エラー発生時に従来よりも迅速な対応が可能です。

4 ノートブック

Dockerの知識がなくても、コントロールパネルからJupyterLabをワンクリックで起動可能！すぐにGPUを活用できます。

5 APIで作業効率化

APIを利用し、高火力 DOKのコントロールパネルを介さず、ユーザーが作成したプログラム等から操作を行うことができます。

6 外部からの接続

実行中のタスクにインターネットから接続できます。Jupyter NotebookやStable Diffusion Web UIなどの対話型アプリケーションも利用可能。
※ 使用できるプロトコルはHTTPSのみ（暗号化通信は弊社設備で終端し、コンテナへはHTTPで接続）

製品・サービス名称	高火力 DOK		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他（ ）	・パブリック ・プライベート ・その他（ ）	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（事例は次の URL 参照 https://case.sakura.ad.jp/ ） 大学数（非公開）校		
費用	初期費用 0 円、0.016 円/秒から		
利用条件	特になし		
支払方法	標準は当月分を翌月 10 日請求、翌月末お支払い。お支払い方法は、クレジットカード払いとなります。ただし、お支払い時期や請求書払いへの変更につきましては、営業部にてご相談を承ります。		
販売代理店	無、有（ ）		
■契約			
申込み方法	注文書・その他（オンラインサインアップ）	利用開始までの期間	即時
約款の有無	有・無（ ）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（ ）
データ保存場所	国内・海外（ ）	データ削除規定の有無	有・無・その他（ ）
準拠法	日本国法・海外法規（ ）	管轄裁判所	国内・海外（ ）
■信頼性			
SLA	有・無（ ）		
実績稼働率	有・無・その他（非公開）	目標稼働率	有・無・その他（非公開）
ストレージ	多重化有・無・その他（ ）	バックアップ	有・無・その他（ ）
データ暗号化	有・無・その他（ ）	暗号化通信	有・無・その他（ ）
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（コントロールパネル提供）	API 公開	有・無・その他（ ）
■保守・運用			
障害対応時間帯	24 時間／365 日	QA 対応時間帯	当社営業日 10：00-18：00
コンタクト方法	電話・メール・その他（ ）	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	必要に応じ実施	サービス停止の通知	1 週間以上前にご連絡
ログの開示	有・無（※条件）	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク等
問合せ先	企業名：さくらインターネット株式会社 部署名：営業部 担当者：	電話番号：03-5332-7071 FAX 番号：03-5332-7079 Mail： edu-ml@sakura.ad.jp	

2016.9.9 Ver.0.4

製品・サービス名称	高火力 VRT
提供企業名	さくらインターネット株式会社
紹介サイト URL	https://cloud.sakura.ad.jp/lp/vrt/

■製品サービスの特長

高火力 VRT

NVIDIA製の高性能GPUを搭載した **仮想マシン (VM)** を、クラウドならではの手軽さで利用できる **VM型GPUクラウドサービス**です。

生成AIの学習・推論に最適化されたVMを **時間単位** で利用でき、大規模な計算処理も **高速に実行** できます。

1

ハイパフォーマンスなGPUをVM（仮想マシン）で提供

2

初期費用不要で 990円 から利用可能

3

柔軟なシステム構築が可能



1

ハイパフォーマンスなNVIDIA H100をVM（仮想マシン）で提供

機械学習やディープラーニングといった大量の計算処理が求められるタスクや、リアルタイム性が求められるあらゆる分野のAIワークロードも高速に処理



2

初期費用不要で990円から利用可能

初期費用不要でNVIDIA H100（β版）を1時間990円からご利用いただけます。
処理内容に合わせて最適なプランを選択し、使いたいときに使いたい分だけの利用で無駄なコストを削減

【ただいま、リリース記念キャンペーン 実施中！ 500円 から利用可能！】



3

柔軟なシステム構築が可能

さくらのクラウドのサーバー、ストレージ、ネットワークと組み合わせることで柔軟な環境構築が可能。
開発期間を短縮



製品・サービス名称		高火力 VRT	
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他（ ）	・パブリック ・プライベート ・その他（ ）	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（事例は次の URL 参照 https://case.sakura.ad.jp/ ） 大学数（非公開）校		
費用	初期費用不要 990 円から		
利用条件	仮想マシン単位		
支払方法	標準は当月分を翌月 10 日請求、翌月末お支払い。お支払い方法は、クレジットカード払いとなります。ただし、お支払い時期や請求書払いへの変更につきましては、営業部にてご相談を承ります。		
販売代理店	無、有（ ）		
■契約			
申込み方法	注文書・その他（オンラインサインアップ）	利用開始までの期間	即時
約款の有無	有・無（ ）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（ ）
データ保存場所	国内・海外（ ）	データ削除規定の有無	有・無・その他（ ）
準拠法	日本国法・海外法規（ ）	管轄裁判所	国内・海外（ ）
■信頼性			
SLA	有・無（ ）		
実績稼働率	有・無・その他（非公開）	目標稼働率	有・無・その他（非公開）
ストレージ	多重化有・無・その他（ ）	バックアップ	有・無・その他（ ）
データ暗号化	有・無・その他（ ）	暗号化通信	有・無・その他（ ）
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（コントロールパネル提供）	API 公開	有・無・その他（ ）
■保守・運用			
障害対応時間帯	24 時間／365 日	QA 対応時間帯	当社営業日 10：00-18：00
コンタクト方法	電話・メール・その他（ ）	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	必要に応じ実施	サービス停止の通知	1 週間以上前にご連絡
ログの開示	有・無（※条件）	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク等
問合せ先	企業名：さくらインターネット株式会社 部署名：営業部 担当者：	電話番号：03-5332-7071 FAX 番号：03-5332-7079 Mail： edu-ml@sakura.ad.jp	

2016.9.9 Ver.0.4

製品・サービス名称	SINET 接続サービス
提供企業名	さくらインターネット株式会社
紹介サイト URL	https://www.sakura.ad.jp/education/solution/sinet.html

■製品サービスの特長

- 学術研究機関のキャンパスネットワークを、さくらインターネットのデータセンターまで拡張するサービスです。
- ネットワークは 10Gbps ベストエフォートで、全域が冗長化されています。
- すでに SINET 接続のある学術研究機関であれば、追加機器も必要なく、設定の投入だけでご利用になれます。
- さくらインターネットの全国拠点の複数サービスを組み合わせてご利用可能です。

SINET 接続サービスの特徴

■ SINET「クラウド接続」サービスに対応

国立情報学研究所が提供する SINET の「クラウド接続」サービスを利用して、SINET 経由で学術機関から当社の各種インフラサービスに接続可能です。

■ 10Gbps ベストエフォート回線で SINET に接続

広帯域ネットワークを共有し、ご利用頂けます。

■ 信頼性の高いネットワーク

SINET の NOC と当社データセンター間の通信経路は冗長化しています。

■ SINET 接続サービスとハイブリッド接続の併用

SINET と当社のハイブリッド基盤が接続されているので、以下の当社インフラサービスが利用可能です。

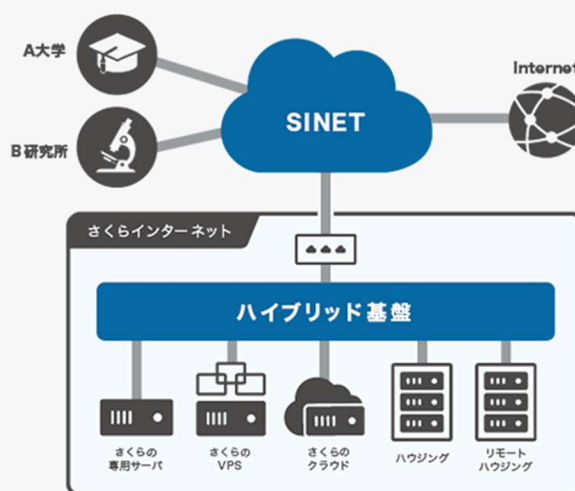
さくらの専用サーバ

ハウジング

さくらのクラウド

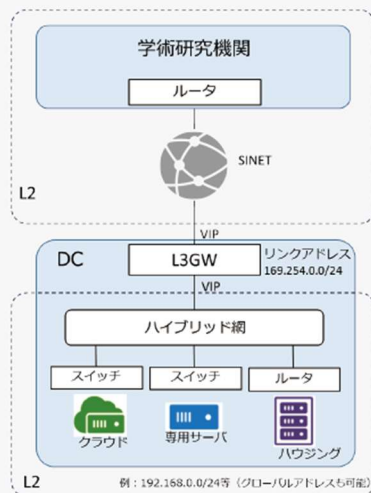
さくらの VPS

リモートハウジング



ご利用方法

SINET 接続サービスを利用して、当社サービス（クラウド、専用サーバ、ハウジング）をご利用頂く方法をご説明致します。



- ① SINET 接続サービスは、国立情報学研究所が提供する SINET の「クラウド接続」サービスを利用して、学術研究機関内の L2 ネットワークと当社データセンター内の L2 ネットワークを、L3 ゲートウェイで接続するサービスです。そのため、学術研究機関内の L2 ネットワークと当社データセンター内の L2 ネットワークは別セグメントとなります。
- ② ご利用頂くリンクアドレスは弊社からご連絡いたします。
- ③ 当社サービスにはプライベートアドレス、グローバルアドレスの何れかを使用することができます。但し、ご利用開始後の IP アドレス追加、IP アドレス変更、サブネットマスクの変更はできませんので、ご注意ください。
- ④ 当社サービスに使用されるお客様管理下の IP アドレスのうち、3 個を VIP 等の用途に弊社にお貸し戴きます。
- ⑤ お客様側ルータにて、当社サービス迄の経路情報をご登録戴きます。

※SINET100Gbps サービスを利用した別サービスもございますので、営業部までお問合せ下さい。

製品・サービス名称	SINET 接続サービス		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他（ ）	・パブリック ・プライベート ・その他（ ）	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（事例は次の URL 参照 https://case.sakura.ad.jp/ ） 大学数（非公開）校		
費用	初期費用なし、1 VPN 当たり月額 16,500 円(税込)		
利用条件	ご利用拘束期間は 3 ヶ月間となります。		
支払方法	当社の他のサービスと同時のご請求、お支払いとなります。 お支払い時期や請求書払いへの変更につきましては、営業部にてご相談を承ります。		
販売代理店	無、有（ ）		
■契約			
申込み方法	申込み書・その他（オンラインサインアップ）	利用開始までの期間	1 ヶ月程度
約款の有無	有・無（ ）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（ ）
データ保存場所	国内・海外（ ）	データ削除規定の有無	有・無・その他（ ）
準拠法	日本国法・海外法規（ ）	管轄裁判所	国内・海外（ ）
■信頼性			
SLA	有・無（SLA 内容： ）		
実績稼働率	有・無・その他（非公開 ）	目標稼働率	有・無・その他（非公開 ）
ストレージ	多重化有・無・その他（ ）	バックアップ	有・無・その他（Active & Standby）
データ暗号化	有・無・その他（ ）	暗号化通信	有・無・その他（ ）
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（コントロールパネル提供）	API 公開	有・無・その他（ ）
■保守・運用			
障害対応時間帯	24 時間／365 日	QA 対応時間帯	当社営業日 10：00-18：00
コンタクト方法	電話・メール・その他（ ）	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	必要に応じ実施	サービス停止の通知	1 週間以上前にご連絡
ログの開示	有・無（※条件 ）	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク等
問合せ先	企業名：さくらインターネット株式会社 部署名：営業部 担当者：	電話番号：03-5332-7071 FAX 番号：03-5332-7079 Mail： edu-ml@sakura.ad.jp	

2022.11.28 Ver.0.5

製品・サービス名称	Hitachi EverFlex 仮想化基盤
提供企業名	株式会社 日立製作所 マネージド&プラットフォームサービス事業部
紹介サイト URL	https://www.hitachi.co.jp/products/it/everflex/index.html

■製品サービスの特長

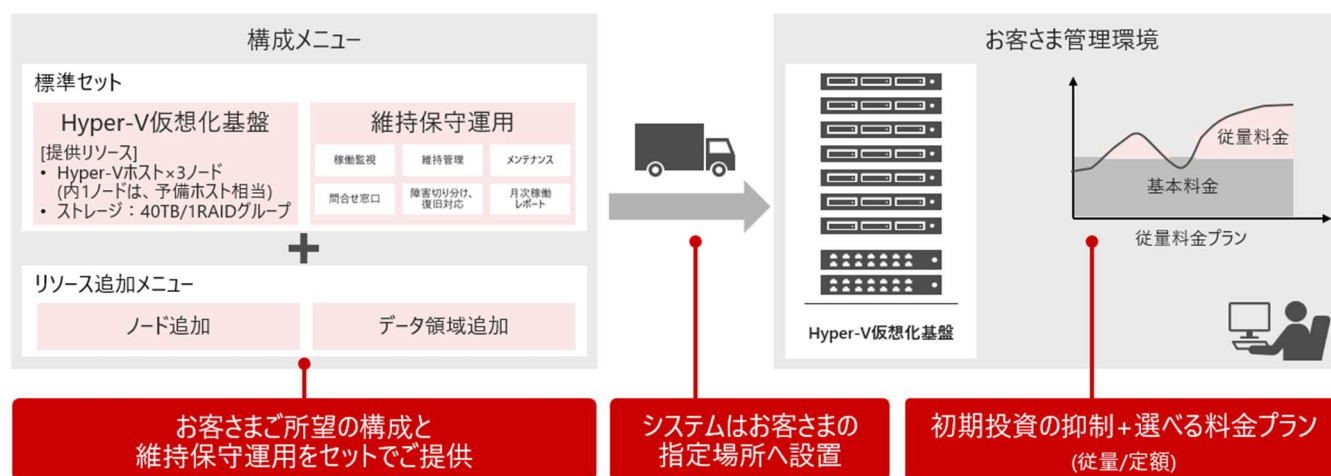
○ Hitachi EverFlex 仮想化基盤とは

Hitachi EverFlex(以下、EverFlex)は、as a Service 型の IT プラットフォームを提供するブランド名です。

EverFlex にて提供する「仮想化基盤」は、パブリッククラウドの利点(アジリティや柔軟性など)と

オンプレミスの利点(データ機密性や高信頼など)の両者良いところ取りを実現したサービスです。

- ・ 日立で設計/構築済みのHyper-V仮想化基盤と維持保守運用をセットで提供
- ・ システムはお客さまの指定場所へ設置し、パブリッククラウドでは提供できない「安心・安全」を確保
- ・ 初期投資を抑え、かつ「従量/定額」を選べる料金プランにより、コストに関する課題を解消

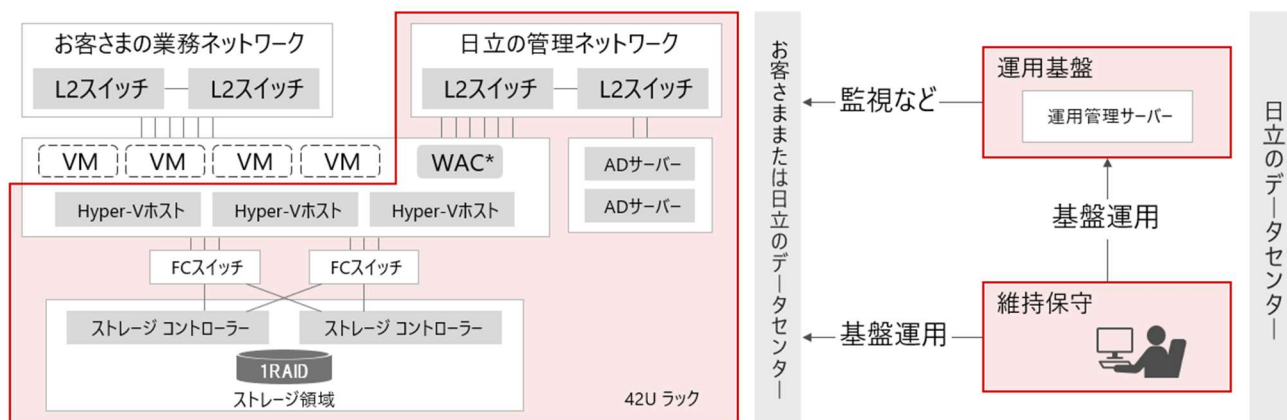


○ Hitachi EverFlex 仮想化基盤 標準構成

Hyper-V仮想化基盤と維持保守運用をセットにした標準セットとリソース追加メニューを用意。構成検討、見積もりなどにかかる時間や手間を削減し、仮想化基盤の導入が可能。

仮想化基盤 Hyper-V

□ : 標準セット対象範囲



* WAC(Windows Admin Center)により、VMの作成/削除/起動/停止などはお客さまで実施可能です。
また、ホストOSはWindows Server Datacenter Editionを搭載のため、VMのOSがWindows Serverの場合、ライセンスとサポートを含んでいます。

- ・ EverFlex は、Hitachi Vantara LLC の商標または登録商標です。
- ・ Windows 及び Hyper-V は、マイクロソフト グループの企業の商標です。
- ・ その他記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標です。

製品・サービス名称		Hitachi EverFlex 仮想化基盤	
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他（ ）	・パブリック・プライベート ・その他（ ）	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数（非公開）： 大学数（非公開）		
費用	費用としてランニング費用が発生します。 料金請求は月額です。従量料金プラン(基本料金＋従量料金)／定額料金プランが選択できます。		
利用条件	最低ユーザー数：1、利用期間：6年(72ヶ月) 利用期間は応相談。詳細は営業までお問い合わせ願います。		
支払方法	月次・後払、支払方法（振込）		
販売代理店	無、有（代理店名： ）		
■契約			
申込み方法	その他（弊社営業）	利用開始までの期間	2か月～
約款の有無	有・無（ ）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（契約書による）
データ保存場所	国内・海外（ ）	データ削除規定の有無	有・無・その他（ ）
準拠法	日本国法・海外法規（ ）	管轄裁判所	国内・海外（ ）
■信頼性			
SLA	有・無（SLA 内容： ）		
実績稼働率	提供対象外です。別途ご相談させていただきます。	目標稼働率	提供対象外です。別途ご相談させていただきます。
ストレージ	多重化有・無・その他（ ）	バックアップ	提供対象外です。別途ご相談させていただきます。
データ暗号化	有・無・その他（ ）	暗号化通信	提供対象外です。別途ご相談させていただきます。
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	提供対象外です。別途ご相談させていただきます。
管理ツール	有・無・その他（ ）	API 公開	有・無・その他（ ）
■保守・運用			
障害対応時間帯	受付時間：24 時間週 7 日 対応時間：営業日 9～17 時 (緊急障害時に限り 24 時間週 7 日)	QA 対応時間帯	問合せ受付：24 時間週 7 日 回答時間：営業日 9～17 時
コンタクト方法	電話・メール・その他（契約者ポータル）	対応インシデント数	QA 対応：5 回/月まで
計画停止の頻度	原則として計画停止無し	サービス停止の通知	個別調整
ログの開示	有・無（※条件 ）	第三者認証取得状況	P マーク、QMS、EMS
問合せ先	企業名：株式会社 日立製作所 部署名：公共システム営業統括本部 第五営業本部 学術情報営業部 第 3 グループ 担当者：江盛、荒木	電話番号：03-5471-4507 FAX 番号：03-5471-4519 Mail： ICT-hitachi@ml.itg.hitachi.co.jp	

製品・サービス名称	クライアントサービス 日立のデータセンター
提供企業名	株式会社 日立製作所
紹介サイト URL	https://www.hitachi.co.jp/products/it/harmonious/cloud/service/platform_client/index.html

■製品サービスの特長

Hitachi Cloud

クライアントサービス

HITACHI
Inspire the Next

高信頼・高品質で実績豊富な日立のデータセンタ上で仮想デスクトップ環境を提供！

お客さまの課題

1. 働き方改革への対応 柔軟な働き方を実現し、生産性や企業の魅力度を向上したい
2. セキュリティ対策 利便性を落とさずにセキュリティ対策をしたい
3. IT部門の負担軽減 構築/運用ノウハウがない、システム運用の負担を軽減したい

クライアントサービスの特徴



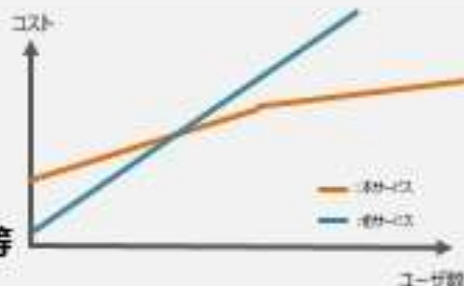
高品質・高信頼

- ・堅牢かつ高セキュリティな日立のデータセンタを活用
- ・高水準のセキュリティ要件に準拠
- ・常駐者による24時間365日監視 等



シンプルな価格体系

- ・ユーザ数に応じた月額課金
- ・シンプルかつ柔軟なメニュー体系
- ・ユーザ数や契約年数に応じた予約割引の適用 等



寄り添い型のサポート

- ・豊富な実績に基づくノウハウ
- ・お客様の個別の事情に寄り添った手厚いサポート
- ・問い合わせ/障害発生時の受付窓口を一本化 等

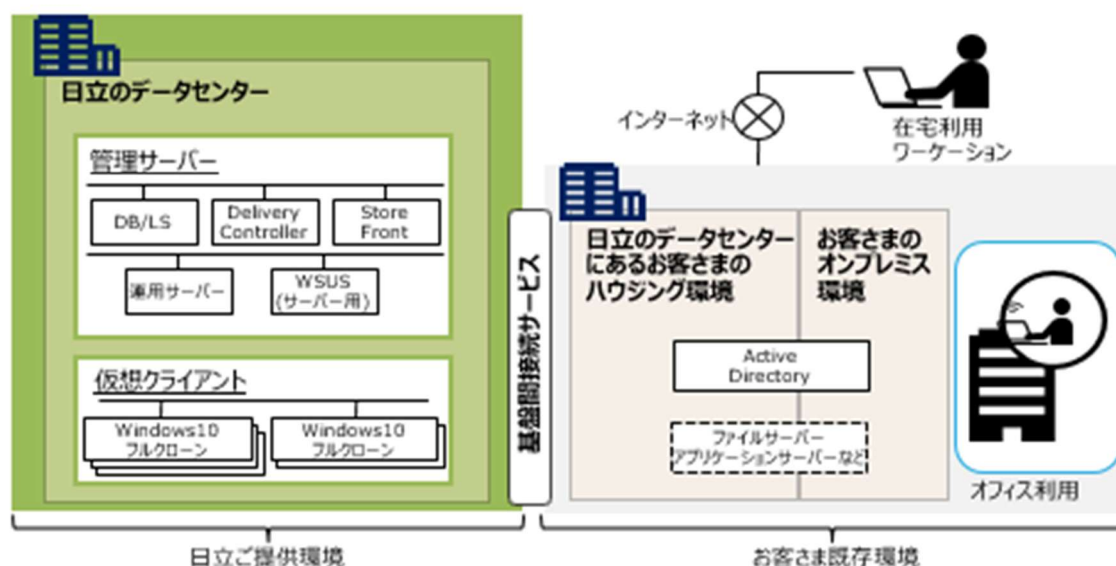


■ サービスメニュー

クライアントサービス(日立のデータセンター)

	サービス名	概要
基本メニュー	クライアント基本導入サービス	クライアントサービスの初期導入を行うサービスです。
	クライアント基本サービス	クライアントサービスを月額利用するために必要なサービスです。
オプションメニュー	クライアント追加導入/利用オプション	仮想デスクトップを追加・利用するオプションです。
	クライアント初期化オプション	仮想デスクトップを初期化するオプションです。
	クライアントカスタマイズ支援オプション	仮想デスクトップのスペックをカスタマイズするオプションです。
	クライアントテンプレート追加/変更/保存オプション	テンプレートを追加・変更・保存するオプションです。
	クライアントモデルチェンジ導入/利用オプション	利用中の仮想デスクトップをモデルチェンジするオプションです。
	クライアント接続管理サーバ冗長化オプション	管理サーバの冗長性を高めるために必要なオプションです。
	クライアント退避先確保導入/利用オプション	仮想デスクトップの冗長性を高めるために必要なオプションです。
	FWポリシー変更オプション	本サービスのFWポリシーを変更するために必要なオプションです。

■ 構成例・標準価格

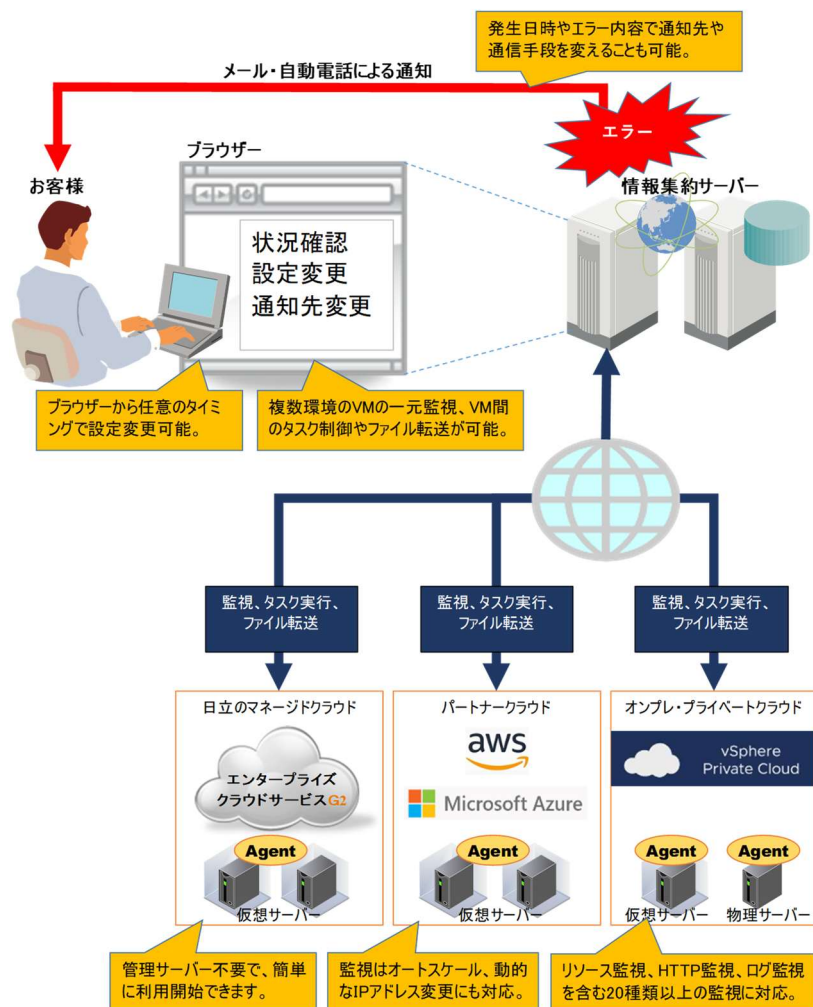


- ・当社は指定の標準構成、年間契約での仮想デスクトップの利用価格(税抜き)となります。その他、サービスを利用するためのインターネット接続費用や初期/運用費用は含まれておりません。
- ・価格は2022年8月時点の標準価格です。
- ・Active Directoryサーバはお客様にてご準備いただく前提となります。
- ・OSライセンスは含まれておりません。お客様にて自身でライセンス調達をいただく必要があります。
- ・エンドポイント検知はお客様がご準備となります。
- ・基幹情報連携サービスとお客様のハウジング環境を接続する費用はご標準価格に含まれておりません。

製品・サービス名称	クライアントサービス 日立のデータセンター		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他（ ）	・パブリック・プライベート ・その他（ ）	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他（用途不問）
■一般事項			
契約実績	法人数（10 ）社：利用企業名（S 社、Z 社、J 社、N 社、O 社、M 社、A 社など ） 大学数（ ）校：利用大学名（ ）		
費用	※課金は基本料金+仮想デスクトップのスペック別台数単価*台数 ※基本料金は台数レンジごとに定額。 ※スペック別台数単価は、ボリュームディスカウントで台数レンジが高いほど安価。 ※契約年数は、1 年、3 年、5 年。契約年数が長いほど安価。		
利用条件	最低ユーザ数は原則 500 台以上。		
支払方法	※月次請求、月末手配		
販売代理店	無、有（代理店名： ）		
■契約			
申込み方法	フロント業種 SE 経由で見積依頼	利用開始までの期間	ハードウェア調達期間に依存
約款の有無	有・無（ ）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（ ）
データ保存場所	国内・海外（ ）	データ削除規定の有無	有・無・その他（ ）
準拠法	日本国法・海外法規（ ）	管轄裁判所	国内・海外（ ）
■信頼性			
SLA	有・無（SLA 内容： ）		
実績稼働率	有（99.99%）・無・その他（ ）	目標稼働率	有（99.8%）・無・その他（ ）
ストレージ	多重化有・無・その他（ ）	バックアップ	有（お客様データはオプション）・無・その他
データ暗号化	有・無・その他（ ）	暗号化通信	有・無・その他（ ）
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（ ）	API 公開	有・無・その他（ ）
■保守・運用			
障害対応時間帯	24H/365D	QA 対応時間帯	平日 9：00-17：00
コンタクト方法	電話・メール・その他（ ）	対応インシデント数	規定なし
計画停止の頻度	3 回/年	サービス停止の通知	6 ヶ月前に通知
ログの開示	有・無（※条件 ）	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク
問合せ先	企業名：株式会社 日立製作所 部署名：公共システム営業統括本部 第五営業本部 学術情報営業部 第3グループ 担当者：江盛、荒木	電話番号：03-5471-4507 FAX 番号：03-5471-4519 Mail： ICT-hitachi@ml.itg.hitachi.co.jp	

製品・サービス名称	フェデレーテッドクラウド管理（監視・タスク実行・ファイル転送）サービス
提供企業名	株式会社 日立製作所 マネージド&プラットフォームサービス事業部
紹介サイト URL	https://www.hitachi.co.jp/products/it/harmonious/cloud/service/f-kanshi/index.html

■製品サービスの特長



- ・各種クラウド、オンプレミス環境のアラートや稼働統計、タスクの実行結果やファイル転送結果を 1 つの画面で確認可能
複数のクラウドが混在した環境の監視やタスク実行、ファイル転送を同一システムで管理し 1 つの画面で確認できるのでアラートを見逃しにくくなります。
- ・監視機能はリソース監視、HTTP 監視、ログ監視を含む 20 種類以上の監視に対応
リソース監視、HTTP 監視、ログ監視など、多種多様な監視に対応します。監視設定サイトからエラー判定条件、通知抑止条件、設定ファイルのダウンロード、メールアドレス登録、外部監視の設定などを行えます。
- ・オートスケールや動的な IP アドレス変更に対応した監視を簡単・迅速に開始可能
ネットワークもインターネット経由での管理のため、お客さま側でのマネージャーの準備や、専用線敷設は必要ありません。また、フェデレーテッドクラウド情報集約サーバーと対象サーバー間で発生する通信は HTTPS 通信のため、やり取りする管理情報は暗号化されています。

※サービスの改良などにより、予告なく記載されている仕様が変更になることがあります。

- ・vSphere は、米国およびその他の地域における VMware Inc. の登録商標または商標です。
- ・AWS は、Amazon Inc. の登録商標または商標です。
- ・Microsoft Azure は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・その他記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の登録商標または商標です。

製品・サービス名称		フェデレーテッドクラウド管理（監視・タスク実行・ファイル転送）サービス			
■分類					
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
製品サービス区分		クラウド区分			

製品・サービス名称	生成 AI 対応サーバーアウトソーシングサービス
提供企業名	株式会社日立システムズ マネージドサービス事業部
紹介サイト URL	なし

■製品サービスの特長

生成 AI の検証や業務へ適用していくうえでの IT インフラの課題

AlaaS(AI as a Service)、クラウド

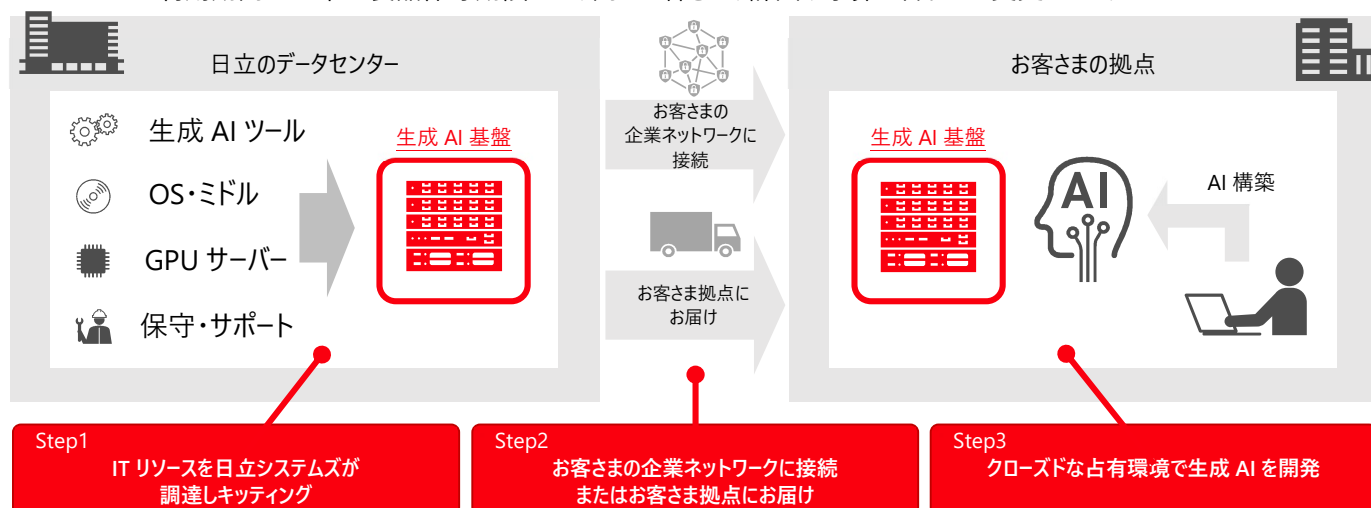
- 従量課金による費用変動/占有利用で高額課金
- データ主権やセキュリティの不安
- 業界/組織方針によるクラウド利用制限
- カスタマイズ性の低さやレイテンシの大きさ
- ベンダーロックイン、技術のブラックボックス化

オンプレミス

- 高額な IT 投資/研究開発予算の制約
- 高重量/高電力/高発熱な設置拠点
- 水冷等、特殊な生成 AI ハードウェアの維持・運用
- 進歩が著しい GPU の技術的な寿命
- 慢性的な人手不足、新技術習得の負担

生成 AI 対応サーバーアウトソーシングサービス

- ・ 占有利用可能な生成 AI 基盤（ハードウェア、ソフトウェア、保守、サポート）を提供します
- ・ 機器の稼働場所は日立のデータセンター、またはお客さまの拠点を選べます
- ・ 利用期間は 1 年～製品保守期限までの間でお客さまの計画や予算に合わせて変更できます



サービスのコンセプト

生成 AI 用基盤のモデル構成をご提供

- ✓ 日立グループ内の生成 AI 開発で使っているハードウェアや OS の構成をリファレンスモデルとして提供します
- ✓ GPU サーバーには最新の日立製 HA8000V、NVIDIA の GPU を提供可能です

届いた日から使えるターンキー型サービス

- ✓ 必要な OS、ツールは日立のデータセンターでインストールして、お客さまへ提供します
- ✓ セキュリティ上、ネットワークに制限がある環境でもすぐに生成 AI の開発を開始できます

利用期間を選べる月額固定料金制

- ✓ 利用期間は 1 年～製品保守期限の範囲で、お客さまの予算や開発計画に沿った支払いが可能です
- ✓ 月額固定料金なので、費用のむらがなく、予算が立てやすいサービスです

生成 AI の運用を支える多彩なサービス

- ✓ 日立のデータセンターに設置し、監視や運用等の各種サービスを利用できます
- ✓ コンサルティングや SI 等、生成 AI 導入を支援する日立グループの生成 AI 関連サービスと合わせて利用できます

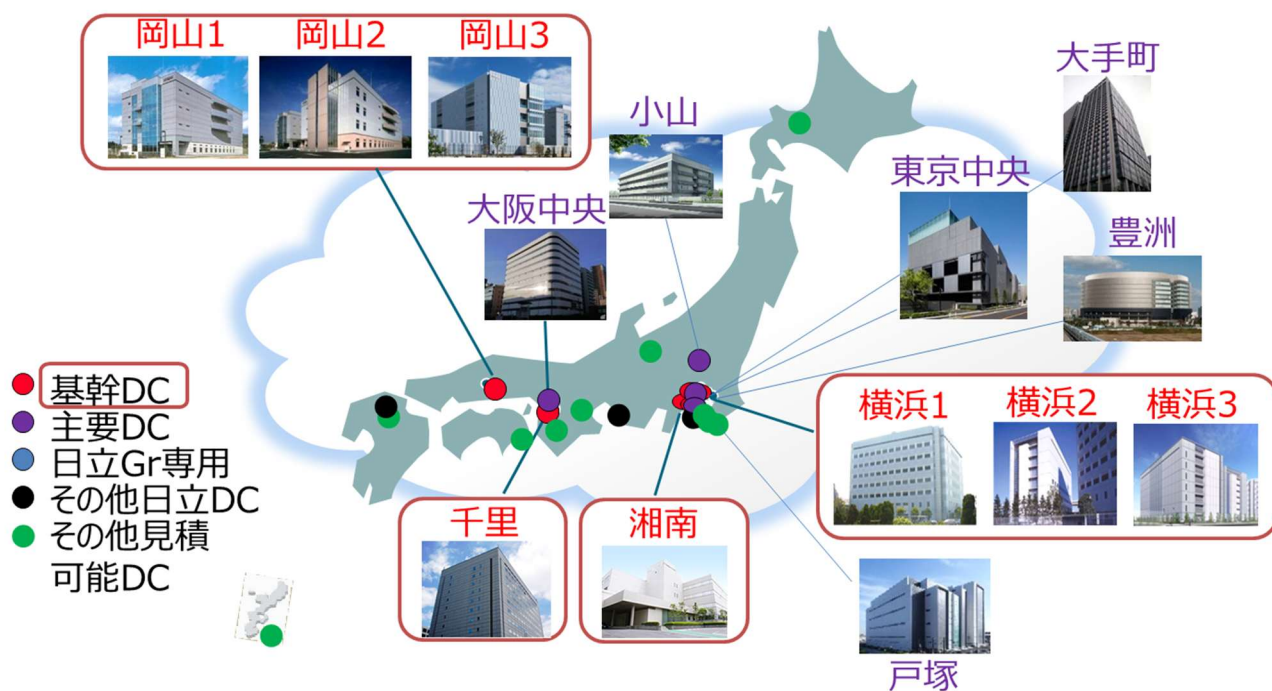
製品・サービス名称	生成 AI 対応サーバーアウトソーシングサービス		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他（ ）	・パブリック ・プライベート ・その他（ ）	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（ ） 大学数（非公開）校：利用大学名（ ）		
費用	※トライアルの有無、課金体系、従量制課金の上限設定、割引プラン等		
利用条件	最低ユーザ数：制限なし、利用期間：1 年～製品保守期限の間で調整可能		
支払方法	月次請求、後払、支払方法（振込）		
販売代理店	無、有（代理店名： ）		
■契約			
申込み方法	注文書・その他（ ）	利用開始までの期間	標準納期：受注後 4 か月
約款の有無	有・無（ ）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（ ）
データ保存場所	国内・海外（ ）	データ削除規定の有無	有・無・その他（ ）
準拠法	日本国法・海外法規（ ）	管轄裁判所	国内・海外（ ）
■信頼性			
SLA	有・無（SLA 内容： ）		
実績稼働率	有・無・その他（ ）	目標稼働率	有・無・その他（ ）
ストレージ	多重化有・無・その他（ ）	バックアップ	有・無・その他（ ）
データ暗号化	有・無・その他（ ）	暗号化通信	有・無・その他（ ）
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（ ）	API 公開	有・無・その他（ ）
■保守・運用			
障害対応時間帯	平日 8-19 時／24 時間	QA 対応時間帯	弊社営業日 9-17 時
コンタクト方法	電話・メール・その他（ ）	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	規定なし	サービス停止の通知	規定なし
ログの開示	有・無（ユーザ自身で取得）	第三者認証取得状況	なし
問合せ先	企業名：株式会社 日立製作所 部署名：公共システム営業統括本部 第五営業本部 学術情報営業部 第 3 グループ 担当者：江盛、荒木	電話番号：03-5471-4507 FAX 番号：03-5471-4519 Mail： ICT-hitachi@ml.itg.hitachi.co.jp	

製品・サービス名称	日立 データセンターサービス
提供企業名	株式会社日立システムズ マネージドサービス事業部
紹介サイト URL	https://www.hitachi-systems.com/solution/th/datacenter/

■製品サービスの特長

「横浜センタ」「岡山センタ」をはじめ、日本各地にデータセンターを展開。

堅牢な設備でお客様の IT 資産をお守りします。



特長 1

日立のデータセンターでは、地震、水害や火事などの災害、故障などのトラブルに対してさまざまな対策をしています。

特長 2

日立のデータセンターでは、お客さまのIT資産を守るため充実したセキュリティ対策をしています。

特長 3

日立の各種クラウドサービスや、パブリッククラウドとの接続サービスもご利用いただけます。

サービスの改良などにより、予告なく記載されている仕様が変更になることがあります。

製品・サービス名称	日立 データセンターサービス		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他（ ）	・パブリック ・プライベート ・その他（ハウジング ）	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数（非公開） 大学数（非公開）		
費用	初期費用とランニング費用が発生します。 詳細は営業までお問い合わせ願います。		
利用条件	ご利用条件はサービスによって異なります。 詳細は営業までお問い合わせ願います。		
支払方法	月次・後払、支払方法（振込）		
販売代理店	無、有（代理店名： ）		
■契約			
申込み方法	その他（弊社営業）	利用開始までの期間	別途調整
約款の有無	有・無（ ）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（ ）
データ保存場所	国内・海外（ ）	データ削除規定の有無	有・無・その他（ ）
準拠法	日本国法・海外法規（ ）	管轄裁判所	国内・海外（ ）
■信頼性			
SLA	有・無（SLA 内容： ）		
実績稼働率	有・無・その他（非公開）	目標稼働率	有・無・その他（ ）
ストレージ	多重化有・無・その他（ ）	バックアップ	有・無・その他（ ）
データ暗号化	有・無・その他（ ）	暗号化通信	有・無・その他（ ）
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（個別接続可能）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定（個別接続可能）
学認対応	対応・未対応・対応予定	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（ ）	API 公開	有・無・その他（ ）
■保守・運用			
障害対応時間帯	24H/365D	QA 対応時間帯	弊社営業日 9：00-17：00
コンタクト方法	電話・メール・その他（ ）	対応インシデント数	特に制限なし
計画停止の頻度	不定期	サービス停止の通知	1 ヶ月以上前に通知
ログの開示	有・無（ ）	第三者認証取得状況	ISMS、ITSMS、P マーク、 QMS、EMS、BCMS
問合せ先	企業名：株式会社 日立製作所 部署名：公共システム営業統括本部 第五営業本部 学術情報営業部 第3グループ 担当者：江盛、荒木	電話番号：03-5471-4507 FAX 番号：03-5471-4519 Mail： ICT-hitachi@ml.itg.hitachi.co.jp	

製品・サービス名称	リモートアクセス DoMobile
提供企業名	株式会社 日立ソリューションズ・クリエイト
紹介サイト URL	https://www.hitachi-solutions-create.co.jp/solution/domobile_asp/index.html

■製品サービスの特長



自宅や外出先からも！

オフィス内の
自席パソコンにアクセスして
リモートワークを実現

月々**1,800**円^{※1}から
試用(無料)お申込み受付中



導入実績^{※2}
6,500社
以上！

※1: 最低契約期間1年 ※2: 2023年9月末における「DoMobile」の導入企業社数

社内の自席パソコンにリモートアクセスできるから、
場所にとらわれないリモートワークが可能。企業の働き方改革実現を支援します！

「DoMobile」とは？

DoMobileは、オフィス内にある自席パソコンを社外から遠隔操作できる、リモートアクセスサービスです。パソコンからの接続はもちろん、タブレットやスマートフォンなどのスマートデバイスからもセキュアに接続可能。高いセキュリティ環境を実現することで、場所にとらわれず業務を実施できるため、在宅勤務や外出時の空き時間有効活用、ワークライフバランスの実現やBCP対策まで幅広く活用でき、企業の働き方改革実現の支援が可能です。



NEW 「DoMobile Ver.4」の新機能

DoMobile Ver.4では、二段階認証によるユーザー認証に対応してセキュリティ強化を実現するとともに、リモート会議システムを遠隔利用可能なリモートマイク機能を追加。さらに、導入時の初期設定作業の簡略化を実現する専用ビューアも新たにサポート。これにより、リモートワークにおける安心・安全なシステム環境と、利便性向上、導入時の負担軽減を実現し、リモートワーク導入をより強力に支援します。



製品・サービス名称	リモートアクセス DoMobile		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他（ ）	・パブリック ・プライベート ・その他（ ）	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数（7,046）社：利用企業名（ 非公開 ） 大学数（5）校：利用大学名（ 非公開 ）※2025 年 10 月現在実績		
費用	初期費用：企業登録料 12,000 円/企業、ユーザ登録料 1,200 円/アカウント 年額利用額：21,600 円/アカウント。詳細は弊社までお問い合わせ願います。		
利用条件	最低ユーザ数：1、最低利用期間：1 年（更新の 1 か月前までに弊社にご連絡いただきます。）		
支払方法	年次請求、支払方法（振込）		
販売代理店	無、有（代理店名：大塚商会等）		
■契約			
申込み方法	その他（弊社営業）	利用開始までの期間	5 営業日～
約款の有無	有・無（ ）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（ ）
データ保存場所	国内・海外（ ）	データ削除規定の有無	有・無・その他（非公開）
準拠法	日本国法・海外法規（ ）	管轄裁判所	国内・海外（ ）
■信頼性			
SLA	有・無（SLA 内容：基本的に 365 日、24 時間稼働とします。（但し、メンテナンス時は除きます。））		
実績稼働率	有・無・その他（非公開）	目標稼働率	有・無・その他（非公開）
ストレージ	多重化有・無・その他（非公開）	バックアップ	有・無・その他（ ） 午前 2:00～2:30 の時間帯にバックアップ処理を行います。（1 日 1 回）
データ暗号化	有・無・その他（非公開）	暗号化通信	有・無・その他（ ） SSL（最大 256bit）
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定（ただし、SSL-VPN による暗号化通信に対応）
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（ ）	API 公開	有・無・その他（ ）
■保守・運用			
障害対応時間帯	弊社営業日 9:00～17:00	QA 対応時間帯	弊社営業日 9:00～17:00
コンタクト方法	電話・メール・その他（ ）	対応インシデント数	非公開
計画停止の頻度	非公開	サービス停止の通知	最短 2 週間前までに、管理者宛てにメール通知およびサービスポータル画面で告知
ログの開示	有・無（※条件：アクセス履歴のみオプションで参照可）	第三者認証取得状況	ISO27001、ISO14001、ISO9001、プライバシーマーク
問合せ先	企業名：株式会社 日立ソリューションズ・クリエイト 部署名：営業統括本部 DX 営業推進本部 インサイドセールス部	WEB 問合せ： https://www.hitachi-solutions-create.co.jp/solution/domobile.asp/index.html	

製品・サービス名称	AI スパコンクラウド (GPUSOROBAN)
提供企業名	株式会社ハイレゾ
紹介サイト URL	https://soroban.highreso.jp/aispacon

■製品サービスの特長

国産 GPU クラウドが安くて簡単に使える！

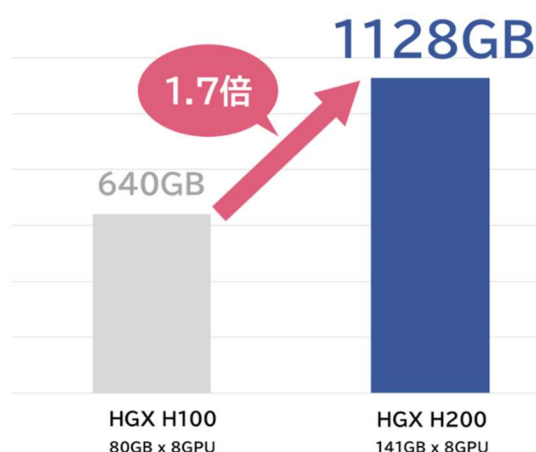
AI スパコンクラウドは NVIDIA H200 を搭載した GPU インスタンスが業界最安級で使える IaaS 型クラウドサービスです。LLM などの生成 AI の計算時間を短縮します。料金は AWS の H100 インスタンスと比較して 70% 以上安く設定しており、大幅なコストダウンが可能です。



大規模 LLM に対応！GPU メモリが 1.7 倍！

H200 は、H100 に比べて「1.7 倍の GPU メモリ」を搭載しているため、膨大なパラメータをもつ LLM モデルに対応可能です。また、LLM で重要視される「GPU メモリ帯域幅」も、H100 と比較して 1.4 倍に向上しています。これによりデータ転送がさらに高速化し、計算速度が向上しています。

サービス	GPUSOROBAN AIスパコンクラウド
プラン	HGX H200スタンドアロン
月額費用(税込み)	¥2,783,000
GPU	NVIDIA H200(SXM) x8枚
GPUメモリ	総計1128GB
vCPU	112コア
システムメモリ	2TB
ストレージ	30TB
GPUメモリ帯域幅	4.8TB/秒
演算性能 (FP16Tensorコア)	15.8PFLOPS
リージョン	日本



製品・サービス名称	AI スパコンクラウド (GPUSOROBAN)		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（事例は次の URL 参照 https://soroban.highreso.jp/case ） 大学数（非公開）校：利用大学名（東京理科大学、東洋大学 他 ）		
費用	初期費用 0 円。ランニング費用：月額費用は、台数・オプションの有無により異なります。		
利用条件	最低ユーザ数、最低利用期間の設定はございません。		
支払方法	標準は当月分を翌月末お支払い、お支払い方法は、請求書払いとなります。 ただし、お支払い時期や方法につきましては、営業部にてご相談承ります。		
販売代理店	無、有（代理店名：KDDI、豊田通商、パナソニックグループ、さくらインターネット、長瀬産業、住友電設、菱洋エレクトロ、NTTPC コミュニケーションズ、アルゴグラフィックス、フィックスターズ、KEL）		
■契約			
申込み方法	注文書・その他 ()	利用開始までの期間	5 営業日
約款の有無	有・無 ()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外 ()	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無（SLA 内容： ）		
実績稼働率	有・無・その他（非公開）	目標稼働率	有・無・その他（非公開）
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（コントロールパネル提供）	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	当社営業日 10：00-17：00	QA 対応時間帯	当社営業日 10：00-17：00
コンタクト方法	電話・メール・その他 ()	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	必要に応じ実施	サービス停止の通知	原則 2 週間前にご連絡
ログの開示	有・無（※条件）	第三者認証取得状況	ISMS（27001/27017）、 P マーク
問合せ先	企業名：株式会社ハイレゾ 部署名：GPU 事業本部 パートナー営業部 担当者：浦上 弾	電話番号：03-6775-7888 FAX 番号：－ Mail： ln-gpu-sales@highreso.co.jp	

製品・サービス名称	GPUSOROBAN 計算クラスター B200
提供企業名	株式会社ハイレゾ
紹介サイト URL	https://soroban.highreso.jp/multinode-cluster
■製品サービスの特長	

1分20円で始める GPUクラスターを柔軟に NVIDIA B200搭載

01

大規模クラスターを
1枚1分から手軽に



1分20円のジョブ実行時間に
応じた課金により、コストを
最小限に抑えられます。GPU
は1枚単位から指定でき、小
規模な検証から大規模なマル
チノード学習まで柔軟にスケ
ールできます。

02

学習速度3倍
NVIDIA B200



NVIDIA B200は、前世代の
H100と比べて学習速度3倍、
GPU間通信3倍、GPUメモリ
2倍以上の性能を備えます。
大規模なマルチノード学習
にかかる時間を大幅に短縮
します。

03

構築済みクラスターを
すぐに利用できる



ジョブスケジューラのSlurm
やSingularityコンテナ、
Lustreファイルシステム、
MPIなどのクラスター環境を構
築済み。面倒な設定不要
で、すぐにご利用いただけ
ます。

技術スタッフの
導入支援
研究開発に専念



専門技術スタッフが導入時の支援
から、運用開始までサポートしま
す。スムーズな立ち上げと迅速な
トラブル対応により、研究開発に
安心して専念できる環境を実現し
ます。

 HIGHRESO

製品・サービス名称	計算クラスター B200 (GPUSOROBAN)		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数 (非公開) 社 : 利用企業名 (事例は次の URL 参照 https://soroban.highreso.jp/case) 大学数 (非公開) 校 : 利用大学名 (東京理科大学、東洋大学 他)		
費用	初期費用 0 円 購入形態 : ポイント購入 (1pt=1 円) ポイント有効期間 : ポイント購入から 1 年間 (翌年度に繰り越し可能) GPU 料金 : 20pt [1 枚・分] (=20 円) ※ジョブ実行中のみポイント消費 ストレージ料金 : 700pt[1TB・日] (=700 円)		
利用条件	最低ユーザ数、最低利用期間の設定はございません。		
支払方法	お支払い方法は、クレジットカードまたは請求書払いに対応しています。 前払い制で、最低購入金額は 100,000 円となります。		
販売代理店	無、有		
■契約			
申込み方法	注文書・その他 ()	利用開始までの期間	最短 2 営業日
約款の有無	有・無 ()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外 ()	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無 (SLA 内容 :)		
実績稼働率	有・無・その他 (非公開)	目標稼働率	有・無・その他 (非公開)
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 (コントロールパネル提供)	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	当社営業日 10 : 00-17 : 00	QA 対応時間帯	当社営業日 10 : 00-17 : 00
コンタクト方法	電話・メール・その他 ()	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	必要に応じ実施	サービス停止の通知	原則 2 週間前にご連絡
ログの開示	有・無 (※条件)	第三者認証取得状況	ISMS (27001/27017)、 P マーク
問合せ先	企業名 : 株式会社ハイレゾ 部署名 : GPU 事業本部 パートナー営業部 担当者 : 浦上 弾	電話番号 : 03-6775-7888 FAX 番号 : ー Mail : ln-gpu-sales@highreso.co.jp	

2016.9.9 Ver.0.4

製品・サービス名称	高速コンピューティング（GPUSOROBAN）
提供企業名	株式会社ハイレゾ
紹介サイト URL	https://soroban.highreso.jp/

■製品サービスの特長



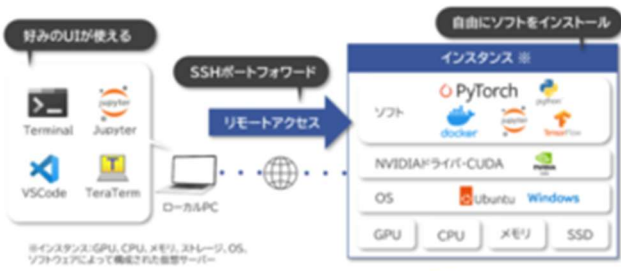
GPUSOROBAN

高速コンピューティング



1時間50円から使える！業界最安級GPUクラウド

高速コンピューティングは、1時間50円から使える業界最安級GPUクラウドサービスです。インターネット環境さえあれば、誰でも高性能なGPUをすぐに利用することができます。



※インスタンスはGPU、CPU、メモリ、ストレージ、OS、ソフトウェアによって構成された仮想サーバー

コスト最小化！必要なときに必要な分だけ



用途に応じてGPUインスタンスを選択できる！

オンプレは高額な初期投資が必要なうえ、導入後にGPUを変更することができないリスクがあります。一方、GPUクラウドでは用途に応じて最適なGPUインスタンスを選択できるため、最新の技術ニーズにも柔軟にキャッチアップできます。

インスタンス	s16-1-a	t80-1-a	t40-8-a	t80-8-a
特徴	NVIDIA A4000×1枚搭載 T4の2倍の演算性能、 Ubuntu OS	NVIDIA A100 80GB×1枚 大容量GPUメモリ80GB	NVIDIA A100 40GB×8枚 GPUメモリ総計320GB	NVIDIA A100 80GB×8枚 GPUメモリ総計640GB
従量課金	50円[1h・台]	398円[1h・台]	従量課金なし	従量課金なし
月額課金	33,000円[月・台]	243,631円[月・台]	1,320,184円[月・台]	1,985,940円[月・台]
GPU	NVIDIA A4000 ×1枚	NVIDIA A100 80GB ×1枚	NVIDIA A100 40GB ×8枚	NVIDIA A100 80GB ×8枚
GPU×メモリ	16GB	80GB	総計320GB	総計640GB
vCPU	11コア	20コア	254コア	254コア
メモリ	50GB	220GB	1TB	2TB
ストレージ	standard: 100GB	standard: 100GB 500GB, 1TB*	standard: 15TB*	standard: 15TB*
OS	Ubuntu*	Ubuntu*	Ubuntu*	Ubuntu*
演算性能 (FP32)	19.2TFLOPS	19.5TFLOPS	156TFLOPS	156TFLOPS
演算性能 (FP64)	-	9.7TFLOPS	77TFLOPS	77TFLOPS

※1)大容量ストレージプラン、OSの詳細はお問い合わせください。
※2)Tensorコア、スパース性能有効時

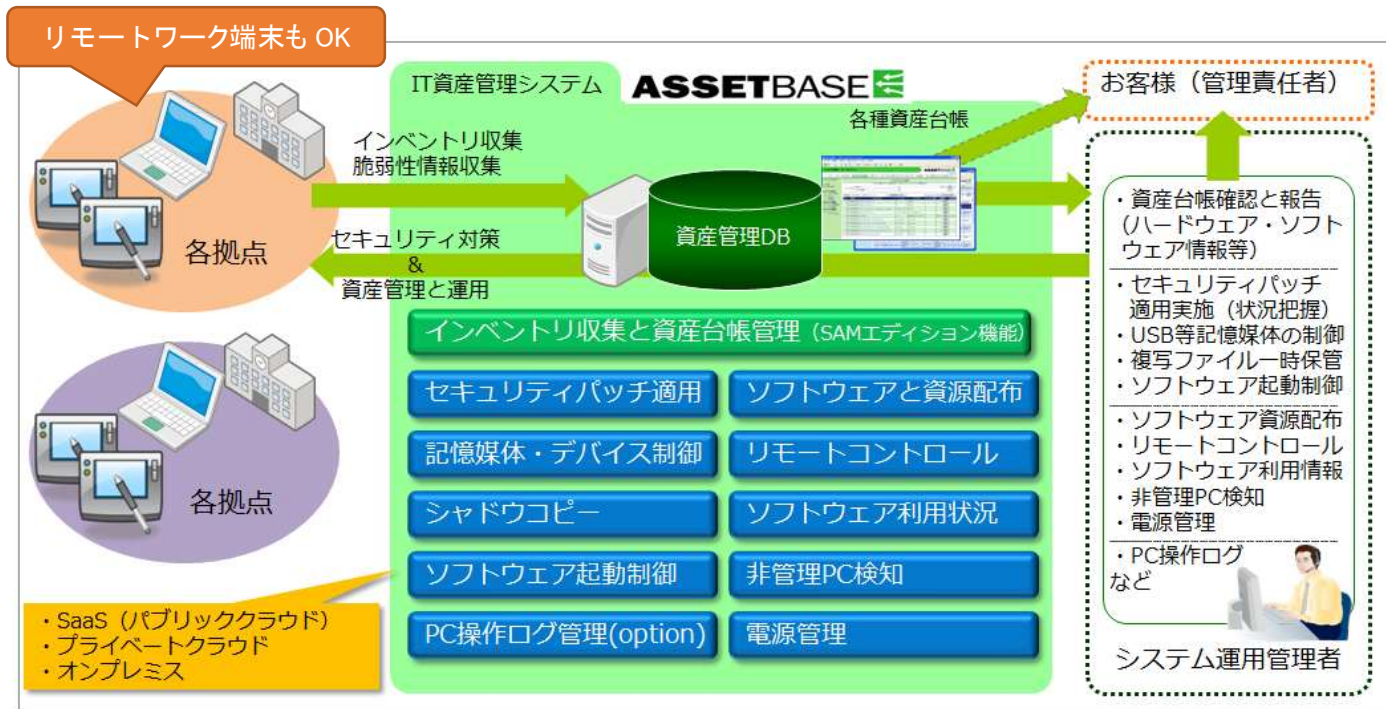
製品・サービス名称	高速コンピューティング（GPUSOROBAN）		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他（ ）	・パブリック・プライベート ・その他（ ）	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（事例は次の URL 参照 https://soroban.highreso.jp/case ） 大学数（非公開）校：利用大学名（東京理科大学、東洋大学 他 ）		
費用	初期費用 0 円、ランニング費用：仮想サーバーのタイプ、台数、オプションの有無により、時間割、日割、月額から最も安い料金で課金が発生します。		
利用条件	最低ユーザ数、最低利用期間の設定はございません。		
支払方法	標準は当月分を翌月末お支払い、お支払い方法は、請求書払いとなります。 ただし、お支払い時期や方法につきましては、営業部にてご相談承ります。		
販売代理店	無、有		
■契約			
申込み方法	注文書・その他（ ）	利用開始までの期間	5 営業日
約款の有無	有・無（ ）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（ ）
データ保存場所	国内・海外（ ）	データ削除規定の有無	有・無・その他（ ）
準拠法	日本国法・海外法規（ ）	管轄裁判所	国内・海外（ ）
■信頼性			
SLA	有・無（SLA 内容： ）		
実績稼働率	有・無・その他（非公開）	目標稼働率	有・無・その他（非公開）
ストレージ	多重化有・無・その他（ ）	バックアップ	有・無・その他（ ）
データ暗号化	有・無・その他（ ）	暗号化通信	有・無・その他（ ）
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（コントロールパネル提供）	API 公開	有・無・その他（ ）
■保守・運用			
障害対応時間帯	当社営業日 10：00-17：00	QA 対応時間帯	当社営業日 10：00-17：00
コンタクト方法	電話・メール・その他（ ）	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	必要に応じ実施	サービス停止の通知	原則 2 週間前にご連絡
ログの開示	有・無（※条件）	第三者認証取得状況	ISMS（27001/27017）、 P マーク
問合せ先	企業名：株式会社ハイレゾ 部署名：GPU 事業本部 パートナー営業部 担当者：浦上 弾	電話番号：03-6775-7888 FAX 番号：－ Mail： ln-gpu-sales@highreso.co.jp	

5. その他ソリューション

製品・サービス名称	IT 資産管理／セキュリティ管理 ASSETBASE
提供企業名	株式会社 内田洋行
紹介サイト URL	https://www.uchida.co.jp/assetbase/

■製品サービスの特長

セキュリティとコンプライアンスを強力に支援する IT 資産管理ソリューション



■ASSETBASE の概要 ～セキュリティ対策など組織内 PC 管理を支援～

大学や教育機関において、情報漏えいやマルウェア感染をはじめとするセキュリティ事故や、不適切なソフトウェア利用などが相次いでいます。セキュリティとコンプライアンスの両面で IT 資産管理の重要性が高まっていますが、昨今ではランサムウェア対策として OS やソフトウェア類のセキュリティアップデートが着目されています。

IT 資産管理ソリューション「ASSETBASE」は、学内の大量の PC やソフトウェアを「見える化」し、ソフトウェアとライセンスの管理、IT 資産管理、IT セキュリティ管理をご支援します。2004 年の SaaS 型クラウドサービスの提供開始以来、大学をはじめ多くのお客様にご活用いただいております。ASPIC（特定非営利活動法人 ASP・SaaS・クラウドコンソーシアム）アワード「ベストイノベーション賞」も受賞した実績あるサービスです。

■ASSETBASE の特長

1. 標的型攻撃やランサムウェア対策に有効な、OS・アプリのセキュリティパッチ適用管理
2. 運用管理を支援する「リモートコントロール」「ソフトウェア配布」「デバイス制御」等
3. ソフトウェアとライセンス管理を高精度で実現、ソフトウェア辞書装備
4. ウイルス対策状態や不適切アプリ検知などセキュリティレポートも充実
5. SaaS（クラウド）、プライベートクラウド、オンプレミスの選択が可能

製品・サービス名称		IT 資産管理／セキュリティ管理 ASSETBASE			
■分類					
製品サービス区分		クラウド区分	パブリッククラウド分類		利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他（ ）		・パブリック・プライベート ・その他（ ）	・ IaaS ・ PaaS ・ SaaS		・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他（IT 資産管理）
■一般事項					
契約実績	大学実績（ 約 70 ）校：利用大学名（国立高専機構、信州大学、関西大学、中部大学 等） 民間実績（ 約 50 ）社：利用企業名（非公開） 他、自治体、教育委員会（小中高等学校）、私立学校等				
費用	・ 初期費用：管理アカウント発行料 ・ ランニング費用：クライアントライセンス＋サーバーシステムライセンス ・ 課金単位：原則としてご利用法人単位の年間利用料 ※トライアル（評価版） ご利用可能				
利用条件	・ 最低ユーザ数：1 ライセンスより利用可能 ・ 最低利用期間：1 年間（年間利用料制）				
支払方法	請求サイクル：年次 支払方法：原則として前払、原則として振込支払（応相談）				
販売代理店	無、有（代理店名：内田洋行各販売代理店 ）				
■契約					
申込み方法	注文書・その他（当社営業経由にて利用申込み）		利用開始までの期間		5 営業日（SaaS 型の場合）
約款の有無	有・無（ ）		約款修正の可能性の有無		有・無・その他（ ）
データ保存場所		国内・海外（ ）	データ削除規定の有無		有・無・その他（ ）
準拠法	日本国法・海外法規（ ）		管轄裁判所	国内・海外（ ）	
■信頼性					
SLA	有・無（ご利用約款に基づく）				
実績稼働率	有・無・その他（2024 年実績：99.99%以上） ※サービス提供時間帯稼働率（計画停止除く）		目標稼働率	有・無・その他（99.9% ） ※サービス提供時間帯稼働率（計画停止除く）	
ストレージ	多重化有・無・その他（ ）		バックアップ	有・無・その他（ ）	
データ暗号化	有・無・その他（ ）		暗号化通信	有・無・その他（ ）	
■機能					
SINET 接続	対応については応相談		VPN 接続	対応・未対応・対応予定	
学認対応	対応については応相談		LDAP 連携	対応・未対応・対応予定	
管理ツール	有・無・その他（ ）		API 公開	有・無・その他（ ）	
■保守・運用					
障害対応時間帯		9:00～17:00	QA 対応時間帯		9:00～17:00
コンタクト方法		電話・メール・その他（ ）	対応インシデント数		無制限
計画停止の頻度		有（年に 2 回程度）	サービス停止の通知		2 週間前
ログの開示		有・無（※条件 ）	第三者認証取得状況		ISMS、P マーク
問合せ先	企業名：株式会社内田洋行 部署名：システムズエンジニアリング事業部 クラウドサービス推進センター 担当者：石塚 貴文 / 友坂 太一			電話番号：03-5634-6646 FAX 番号：03-3645-2337 Mail： abinfo@uchida.co.jp	

製品・サービス名称	ソフトウェア配布提供システム Download Station
提供企業名	株式会社 内田洋行
紹介サイト URL	https://www.uchida.co.jp/assetbase/download-station/

■製品サービスの特長

大学内で利用する様々なソフトウェアの安全・効率的な学内配布を支援！

ソフトウェア配布提供システム



Download Station

利用者にソフトウェアを配布する際、インストーラにセキュリティ対策を設定することで、安全に効率的にダウンロード利用させることができるシステムです。



POINT

1

ソフトウェア配布を安全・簡単に

利用者がいつでも簡単に必要なソフトウェアをダウンロード・インストールできます。ダウンロードしたインストーラは個別の開封パスワードが無いと開けませんので、不適切なコピー利用を防止できます。インストール予定数や利用期限も設定することが可能です。

POINT

2

トレーサビリティの確保

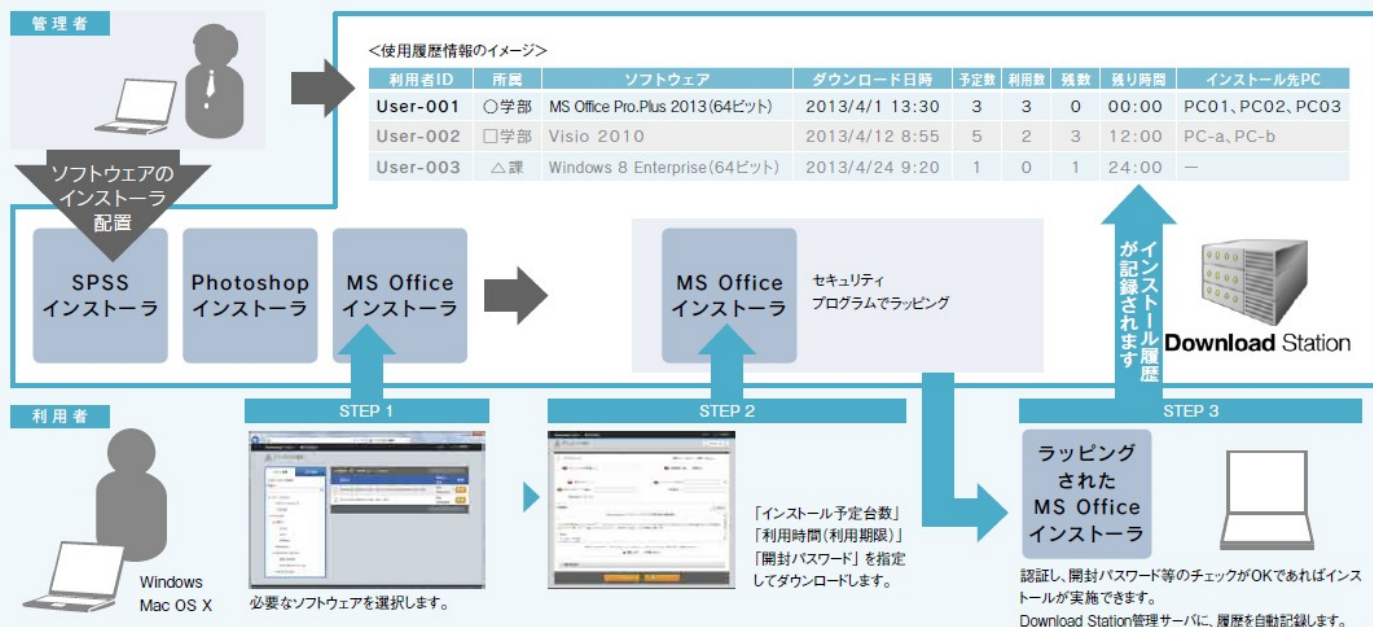
ダウンロード・インストールの履歴を記録「誰が、いつ、どのソフトウェアを、どこにどれだけ」ダウンロードして、どのPCにインストールしたのかの履歴の管理もします。

POINT

3

利用者・管理者の負担軽減

利用者は、画面から利用したいソフトウェアを選択しダウンロードします。インストール用メディア管理はメディアの貸出業務の軽減や、メディア紛失・流出リスクを防止することができます。



■Download Station の概要

「Download Station」は、Microsoft やウイルス対策ソフト、統計解析やグラフィックなど大学内で利用する様々なソフトウェアを、教職員・学生等の利用者に、安全に効率的に配布提供するシステムです。例えば以下の課題の解決を支援いたします。

- 【こんな課題を解決 1】 インストールメディアの流出リスク（不用意なコンプライアンス違反）を避けたい
- 【こんな課題を解決 2】 インストールメディアの貸し出し管理や、個体管理の業務負担を軽減したい
- 【こんな課題を解決 3】 キャンパスや拠点が多い場合、全てをカバーする配布運用の手間を軽減したい
- 【こんな課題を解決 4】 大学の研究室内の PC 等、大量の PC へのソフトウェア配布を効率的に行いたい
- 【こんな課題を解決 5】 実際に利用された数を把握し、ボリュームライセンス投資への効果を把握したい

Download Station は、ソフトウェアのインストーラをセキュリティプログラムでラッピング保護し、利用者が安全にダウンロード利用できるようにします。ダウンロードしたインストーラは、個別の開封パスワード制御されており、不適切なコピー利用を防止できます。また、インストール予定数や利用期限も制御することが可能です。

「誰が、いつ、どのソフトウェアを、どこにどれだけ」ダウンロードして、どの PC にインストールしたのかの履歴の管理も可能であり、利用統計と投資対効果測定などにお役立ていただけます。

製品・サービス名称		ソフトウェア配布提供システム Download Station			
■分類					
製品サービス区分		クラウド区分		パブリッククラウド分類	
・サービス ・その他（ ）		・パブリック ・プライベート ・その他（ ）		・IaaS ・PaaS ・SaaS	
・製品				・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他(ソフトウェアの配布管理)	
■一般事項					
契約実績		民間実績（ 非公開 ）社：利用企業名（非公開） 大学実績（ 非公開 ）校：利用大学名（九州大、香川大、早稲田大、法政大、同志社大、近畿大 等多数）			
費用		・初期費用：導入費用およびシステムライセンス ・ランニング費用：年間保守費用			
利用条件		・ライセンス形態：システム単位（買取） ・保守条件等：保守契約に基づく			
支払方法		請求サイクル：年次 支払方法：原則として振込支払（応相談）			
販売代理店		内田洋行各販売代理店			
■契約					
申込み方法		当社営業経由にて利用申し込み		利用開始までの期間 5 営業日（標準システム構築期間） ※別途環境構築が必要	
約款の有無		有		約款修正の可能性の有無 有	
データ保存場所		プライベートクラウドサーバー		データ削除規定の有無 削除運用は別途ご相談	
準拠法		プライベートクラウドサーバーによる		管轄裁判所 国内を想定	
■信頼性					
SLA		プライベートクラウド導入環境に基づく			
実績稼働率		プライベートクラウド導入環境に基づく （事例：99.9%以上 計画停止を除く）		目標稼働率 プライベートクラウド導入環境に基づく	
ストレージ		プライベートクラウド導入環境に基づく		バックアップ 有	
データ暗号化		無		暗号化通信 有	
■機能					
SINET 接続		対応については応相談		VPN 接続 対応	
学認対応		対応については応相談		LDAP 連携 対応	
管理ツール		有		API 公開 無	
■保守・運用					
障害対応時間帯		9:00～17:00		QA 対応時間帯 9:00～17:00	
コンタクト方法		電話・メール		対応インシデント数 無制限	
計画停止の頻度		導入環境に基づく		サービス停止の通知 利用顧客運用規定に基づく	
ログの開示		有		第三者認証取得状況 ISMS、P マーク	
問合せ先		企業名：株式会社内田洋行 部署名：システムズエンジニアリング事業部 			

製品・サービス名称	ウチダの Office 学割 U365
提供企業名	株式会社 内田洋行
紹介サイト URL	https://ec1.u365.jp/portal/office/

■製品サービスの特長

新しい学生サービス 学生向け Microsoft Office 学割

ワード エクセル パワポ

W X P N O A P ※ Access, Publisher は WindowsPCのみ

+ 各種クラウドサービス

パソコンも
スマホも
タブレットも
OK!

便利になって新登場!

うれしい特典がいっぱい!

パソコンだけでなく、タブレットやスマホでも使える Office! それぞれ5台ずつインストール可能。※1

OneDriveを始め、TeamsやOneNoteなど様々なクラウドサービスが利用可能! ※2

アプリは自動・無料でアップデート。いつでも最新版が使えます。

在学中なら、買い替えた新しいPCへ再インストールが可能!

AXIES 正会員大学の学生向けには
通常の学割価格よりさらにオトクになります!

AXIES サイトの「会員特典」をご確認ください (<https://axies.jp/admission/benefits/>)

■ウチダの Office 学割 U365 の概要

学生の必須のソフトウェア Microsoft Office を、特別プライスでご購入いただける新たな学生サービスです。

様々な特典も満載。大学様の費用負担等は一切ございません。AXIES 正会員大学であればさらにオトクになります!

1. フルスペックのOffice (Microsoft 365 Apps) OneDriveやTeamsも付いています
2. PC (Windows・macOS)・タブレット・スマホ各々5台 (最大15台) インストールOK
3. 大学の費用負担無し! 大学専用のECサイトを開設しクラウドで無償提供します

製品・サービス名称	ウチダの Office 学割 U365		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他（ソフトウェア販売）	・パブリック・プライベート ・その他（ ）	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他（学生サービス）
■一般事項			
契約実績	大学実績（ 約 200 超 ）校：利用大学名（日本全国多数） 民間実績（無：教育機関のみ）社：利用企業名 他、専門学校（約 100 校超）等		
費用	・初期費用：無し ・ランニング費用：無し		
利用条件	・最低ユーザ数：ゼロ ・最低利用期間：1 年間		
支払方法	請求サイクル：無し（希望する学生が Office を購入）		
販売代理店	無、有（ ）		
■契約			
申込み方法	注文書・その他（当社営業経由にて利用申込み）	利用開始までの期間	10 営業日程度
約款の有無	有・無（別途学生向けの利用約款あり ）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（ ）
データ保存場所	国内・海外（ ）	データ削除規定の有無	有・無・その他（ ）
準拠法	日本国法・海外法規（ ）	管轄裁判所	国内・海外（ ）
■信頼性			
SLA	有・無（24h365D）		
実績稼働率	有・無・その他（2024 年実績：99.99%以上） ※サービス提供時間帯稼働率（計画停止除く）	目標稼働率	有・無・その他（99.9%） ※サービス提供時間帯稼働率（計画停止除く）
ストレージ	多重化有・無・その他（ ）	バックアップ	有・無・その他（ ）
データ暗号化	有・無・その他（ ）	暗号化通信	有・無・その他（ ）
■機能			
SINET 接続	無	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	無	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（ ）	API 公開	有・無・その他（ ）
■保守・運用			
障害対応時間帯	10:00～16:00	QA 対応時間帯	10:00～16:00
コンタクト方法	電話・メール・その他（ ）	対応インシデント数	無制限
計画停止の頻度	有（年に 2 回程度）	サービス停止の通知	2 週間前
ログの開示	有・無（※条件 ）	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク
問合せ先	企業名：株式会社内田洋行 部署名：システムズエンジニアリング事業部 クラウドサービス推進センター 担当者：小川 武 / 山本 小晴		電話番号：03-5634-6646 FAX 番号：03-3645-2337 Mail： ml-u365axies@uchida.co.jp

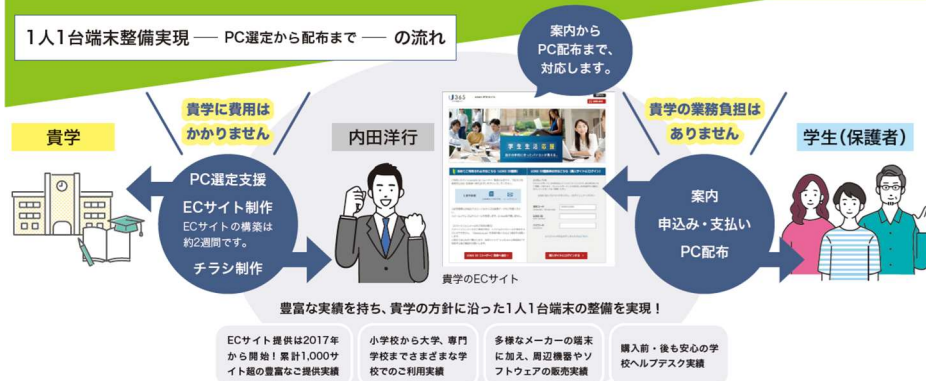
製品・サービス名称	ウチダのパソコン学割 U365
提供企業名	株式会社 内田洋行
紹介サイト URL	https://ec1.u365.jp/portal/ecservice/

■製品サービスの特長

貴学と一緒に実現する 学生個人PC導入整備

**U365ウチダ学割ストアでは貴学専用のECサイトをご提供し、
端末整備にかかるお悩みを解決します！**

1人1台端末整備実現 — PC選定から配布まで — の流れ



POINT 01

貴学の負担をゼロに

ECサイト上での支払い、各ご家庭に直接配送が可能です。貴学での代金回収や配布などの業務は発生しません。ECサイト制作における費用はかかりません。

POINT 02

多言語化対応

英語、中国語(簡体字)、韓国語に対応しております。9か国語のマニュアルもご用意しており、外国籍のご家庭の購入もサポートします。

POINT 03

柔軟なサイト構成

3OSなどメーカー問わずに端末、周辺機器の販売が可能です。転入生・編入生向けの再開設にも対応しております。

POINT 04

多様な決済方法

コンビニ支払い、クレジットカード支払いに加えて、PayPay、Pay-easy、ショッピングローンによるお支払いが可能です。分割支払いにも対応しており、ご家庭の負担を軽減します。

POINT 05

購入からその後まで ワンストップのサポート

ご家庭からのお問い合わせを受け付けるヘルプデスクつきで、購入時だけでなく、修理受付など困ったときも安心です。

POINT 06

安心の保守・保証

メーカー保証範囲外の画面割れ・盗難にも対応している保証もご用意しています。キittingも対応しており、お届け後からすぐにご使用できます。

U365ウチダ学割ストア購入限定！契約期間中の安心保証・保守をご用意しています。

メーカー保証範囲外の 画面割れ・盗難にも対応

自然故障のほか、偶発的な事故にも対応！

自然故障 製品の取扱説明書や注意書に従って正常に使用したにもかかわらず、本製品に生じた電氣的・機械的の事故で且つ、本製品の製造メーカーの保証規定にて保証対象となる故障。

物損保証 破損、水濡れ、火災、落下等の偶発的な事故に対応



自然故障も物損故障も 期間中、何度でも修理OK

4年保証の例

保証上限金額内での修理回数制限なし				
自然故障	1年目	2年目	3年目	4年目
物損保証	1年目	2年目	3年目	4年目

ヘルプデスクが、導入サポートからAfterフォローまでOne Stopで連携！

学生(保護者)から直接問い合わせができるヘルプデスクにご連絡ください。

スタッフがお問い合わせ内容を行います。

修理が必要な場合、故障した製品を引き取り回収に伺います。

後日お客様に、交換品をお送りいたします。



ご担当者様の声
購入前と購入後の問い合わせ窓口が1つなのが分かりやすかったです。

キittingサービス

貴学に合わせた専用キittingを施してお届け！

指定アプリをあらかじめインストールするので、配布後はすぐに利用を開始できます。



製品・サービス名称	ウチダのパソコン学割 U365		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他（学生向け PC 販売）	・パブリック・プライベート ・その他（ ）	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他（学生サービス）
■一般事項			
契約実績	大学実績（約 200 超）校：利用大学名（日本全国多数） 民間実績（無：教育機関のみ）社：利用企業名 他、専門学校（約 100 校超）等		
費用	・初期費用：無し ・ランニング費用：無し		
利用条件	・最低ユーザ数：ゼロ ・最低利用期間：1 年間		
支払方法	請求サイクル：無し（希望する学生が PC、オプション品を購入）		
販売代理店	無、有（ ）		
■契約			
申込み方法	注文書・その他（当社営業経由にて利用申込み）	利用開始までの期間	10 営業日程度
約款の有無	有・無（学生向けの利用約款あり）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（ ）
データ保存場所	国内・海外（ ）	データ削除規定の有無	有・無・その他（ ）
準拠法	日本国法・海外法規（ ）	管轄裁判所	国内・海外（ ）
■信頼性			
SLA	有・無（24h365D）		
実績稼働率	有・無・その他（2024 年実績：99.99%以上） ※サービス提供時間帯稼働率（計画停止除く）	目標稼働率	有・無・その他（99.9%） ※サービス提供時間帯稼働率（計画停止除く）
ストレージ	多重化有・無・その他（ ）	バックアップ	有・無・その他（ ）
データ暗号化	有・無・その他（ ）	暗号化通信	有・無・その他（ ）
■機能			
SINET 接続	無	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	無	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（ ）	API 公開	有・無・その他（ ）
■保守・運用			
障害対応時間帯	10:00～16:00	QA 対応時間帯	10:00～16:00
コンタクト方法	電話・メール・その他（ ）	対応インシデント数	無制限
計画停止の頻度	有（年に 1 回程度）	サービス停止の通知	2 週間前
ログの開示	有・無（※条件 ）	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク
問合せ先	企業名：株式会社内田洋行 部署名：システムズエンジニアリング事業部 クラウドサービス推進センター 担当者：小川 武 / 山本 小晴		電話番号：03-5634-6646 FAX 番号：03-3645-2337 Mail： ml-u365axies@uchida.co.jp

製品・サービス名称	パピルスメイト証明書学外発行サービス
提供企業名	株式会社 内田洋行
紹介サイト URL	https://www.uchida.co.jp/education/papyrusmate/

■製品サービスの特長

証明書は、「紙」でも、「デジタル」でも。



証明書発行に必要なデータをパピルスメイトサーバに登録することで、365 日全国のコンビニエンスストアでの証明書、あるいはデジタル化した証明書(PDF データ証明書)の発行が可能となるサービスです。キャンパスにある証明書発行機で証明書の発行を行うだけでなく、場所や時間を問わず、証明書の発行が可能です。クラウドサービスで手間なく運用でき、発行枚数が急増する年度末等の繁忙期においても有効であり、証明書発行業務の効率化・省人化をご支援します。

1 スマートフォンから簡単申し込み



証明書発行申し込みおよび決済はスマートフォンやPCからおこなうことができます。

申し込みから支払いまでWeb上で完結するので、キャンパスまで行かなくてもご利用いただけます。

2 お近くのコンビニで証明書を受け取り



「セブン-イレブン」「ファミリーマート」「ローソン」で各種証明書を受け取ることができます。

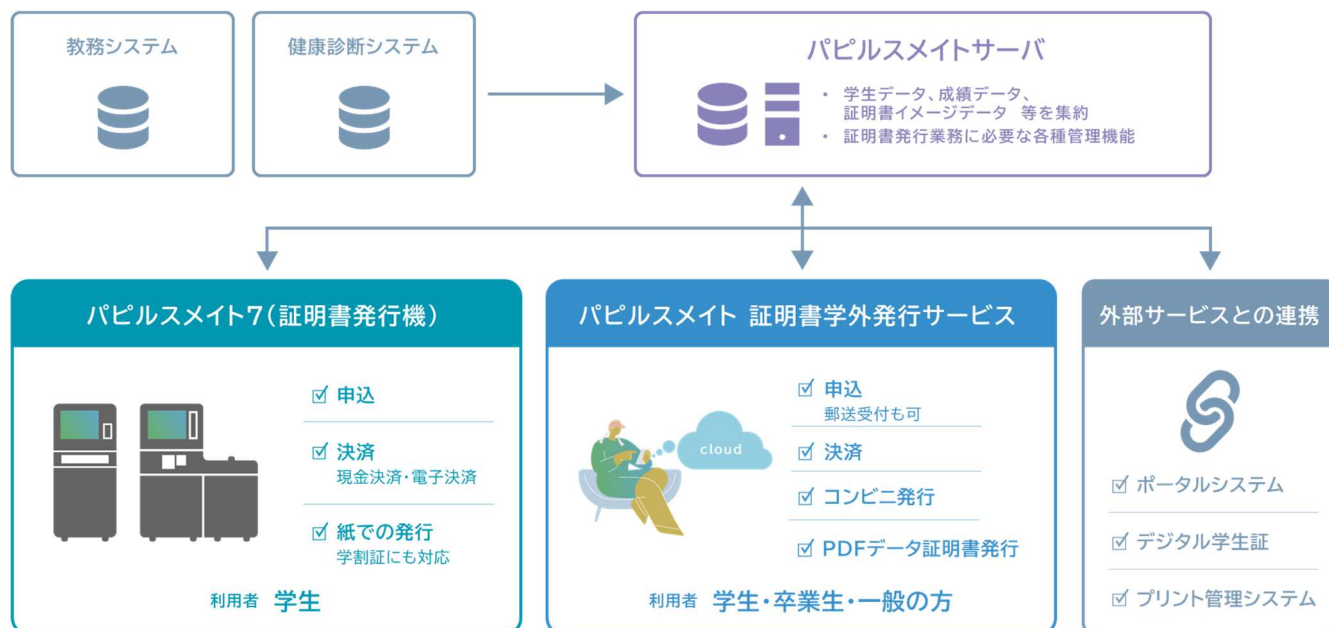
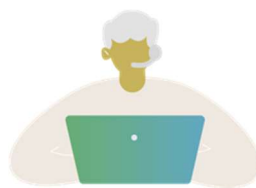
コンビニで受け取れるので時間を気にせず発行できます。

3 PDFデータで証明書を受け取り



PDFデータ証明書の発行にも対応しています。

発行されたPDFデータ証明書には、電子署名やタイムスタンプを付加し、内容の真正性や非改ざん性を担保します。



製品・サービス名称		パピルスメイト証明書学外発行サービス	
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他（ソフトウェア販売）	・パブリック・プライベート ・その他（ ）	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他（学生サービス）
■一般事項			
契約実績	法人数（ ）社：利用企業名（ ） 大学数（ 非開示 ）校：利用大学名（非開示 ）		
費用	・初期費用：個別見積 ・ランニング費用：個別見積		
利用条件	・最低ユーザ数：設定なし ・最低利用期間：1年間		
支払方法	請求サイクル：応談		
販売代理店	無、有（お問い合わせください）		
■契約			
申込み方法	注文書・その他（利用申込書）	利用開始までの期間	ご契約後 4～6 ヶ月程度
約款の有無	有・無（学生向けの利用約款はあり）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（ ）
データ保存場所	国内・海外（ ）	データ削除規定の有無	有・無・その他（ ）
準拠法	日本国法・海外法規（ ）	管轄裁判所	国内・海外（ ）
■信頼性			
SLA	有・無（24h365D。ただし、クラウド事業者および当社のサービスメンテナンス時を除く）		
実績稼働率	有・無・その他（非公開）	目標稼働率	有・無・その他（非公開）
ストレージ	多重化有・無・その他（ ）	バックアップ	有・無・その他（ ）
データ暗号化	有・無・その他（ ）	暗号化通信	有・無・その他（ ）
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（ ）	API 公開	有・無・その他（ ）
■保守・運用			
障害対応時間帯	9:00～17:30	QA 対応時間帯	9:00～23:00
コンタクト方法	電話・メール・その他（ ）	対応インシデント数	無制限
計画停止の頻度	有（年に数回程度）	サービス停止の通知	原則 2 週間前まで
ログの開示	有・無（※条件 ）	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク
問合せ先	企業名：株式会社内田洋行 部署名：ICT&プロダクツ デベロップメント事業部 ICT プロダクト企画部 担当者：河野・松永		電話番号：03-5634-6209 FAX 番号：03-5634-6831 Mail： ml-papyrus-ird@uchida.co.jp

6. 大学向けクラウドソリューション 比較表

○比較表に関するご注意事項

本比較表は、P.19 から P.88 までのカタログ記載データを取りまとめたものです。
そのため、カタログ記載のデータと比較表のデータが異なる場合、カタログ記載のデータが優先されます。また比較表は、比較しやすいようにデータの 1 部をグルーピングし抽象化していますので、その点をご了解ください。

比較表 1

カタログ 掲載情報		1. 教育支援系		2. 研究支援系		
		1. (1)	1. (2)	2. (1)	2. (2)	2. (3)
		19	21	25	27	29
製品・サービス名		英語学習システム 「ATR CALL BRIX」	画面モニタリングシ ステム RealCAST (リアルキャスト)	Cloud Volumes ONTAP	Autonomous Ransomware Protection + Cloud Insights Storage Workload Securityによる 多層防御	FlexPod Datacenter AI
提供企業名		内田洋行	内田洋行	ネットアップ	ネットアップ	ネットアップ
製品・サー ビス区分	サービス	○	○	○	—	—
	製品	—	—	—	○	○
	その他	—	—	—	—	—
クラウド 区分	パブリック	○	○	○	—	—
	プライベート	○	—	—	○	○
	その他	—	—	—	—	—
パブリック クラウド 区分	IaaS	—	—	○	○	○
	PaaS	—	—	—	—	—
	SaaS	○	○	—	—	—
利用用途 分類	教育支援	○	○	○	○	○
	研究支援	—	—	○	○	○
	事務支援	—	—	—	—	○
	情報インフラ	—	—	○	○	○
	その他	—	—	—	—	—
契約実績	民間	非公開	非公開	非公開	非公開	非公開
	大学	非公開	非公開	非公開	芝浦工業大学	非公開
契約	申込方法	申込書	注文書	注文書・Web	注文書	注文書
	利用開始までの時間	最短1週間	1~2か月程度	数時間	3か月	数日
	約款の有無	×	○	×	×	—
	契約修正の可能性	—	○	○	○	—
	データ保管場所	国内	国内	選択リージョンに依存	非公開	非公開
	データ削除規程	無	無	ホワイトペーパー開示	非公開	ホワイトペーパー開示
	準拠法	日本国法	日本国法	選択リージョンに依存	設置場所に依存	選択リージョンに依存
	管轄裁判所	国内	国内	選択リージョンに依存	設置場所に依存	選択リージョンに依存
信頼性	SLA	×	×	○	○	—
	実績稼働率	有	×	非公開	非公開	—
	目標稼働率	×	×	非公開	○	—
	ストレージ多重化	○	×	○	○	非公開
	バックアップ	○	×	○	○	○
	データ暗号化	○	×	○	○	機能により可能
	暗号化通信	○	○	○	○	○
機能	SINET接続	—	×	○	○	○
	VPN接続	—	×	○	○	○
	学認対応	○	×	×	×	○
	LDAP連携	○	×	○	○	○
	管理ツール	○	無	○	○	○
	API公開	×	×	○	○	○
保守運用	障害対応時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	24H×365D	代理店との契約に依存	24H×365D
	Q&A対応時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	24H/5D	代理店との契約に依存	9:00~17:00/5D
	コンタクト方法	電話・メール	電話・メール	電話・メール	電話・メール	Web
	対応インシデント数	無制限	規定なし	無制限	無制限	無制限
	計画停止の頻度	年1回	必要に応じて実施	クラウド事業者に依存	無	未定
	サービス停止の通知	1か月前	適宜通知	クラウド事業者に依存	販売終了から半年前	有
	ログの開示	無	無	○	○	—
	第三者認証取得状況	○	○	○	○	○

比較表 2

カタログ 掲載情報	掲載区分	2. 研究支援系		3. 事務支援系		4. 情報インフラ系
	項番	2. (4)	2. (5)	3. (1)	3. (2)	4. (1)
	掲載ページ	31	33	37	39	43
製品・サービス名		NetApp Keystone for Storage as a Service (STaaS)	codemariクラウド サービス	TWX-21 MRO 集中購買サービス	RoomSense クラウドサービス	さくらのVPS
提供企業名		ネットアップ	内田洋行	日立製作所	内田洋行	さくらインターネット
製品・サ ービス区分	サービス	○	○	○	○	○
	製品	—	—	—	—	—
	その他	—	—	—	—	—
クラウド 区分	パブリック	○	○	○	○	○
	プライベート	○	—	—	—	—
	その他	—	—	—	—	—
パブリック クラウド 区分	IaaS	○	—	—	—	○
	PaaS	—	○	—	○	—
	SaaS	—	—	○	—	—
利用用途 分類	教育支援	○	○	—	—	○
	研究支援	○	○	—	○	○
	事務支援	○	○	○	○	○
	情報インフラ	○	○	—	○	○
	その他	○	—	—	—	—
契約実績	民間	非公開	非公開	760社	非公開	非公開
	大学	非公開	非公開	北海道大学	非公開	非公開
契約	申込方法	注文書	注文書	営業問合せ	注文書	WEB
	利用開始までの時間	2か月程度	2か月程度	2か月～	2か月程度	即時
	約款の有無	○	○	○	○	○
	契約修正の可能性	○	○	×	○	○
	データ保管場所	ご利用リージョン内	国内	国内	国内	国内
	データ削除規程	○	○	×	○	○
	準拠法	日本国法	日本国法	日本国法	日本国法	日本国法
	管轄裁判所	国内	国内	国内	国内	国内
信頼性	SLA	×	×	×	×	×
	実績稼働率	×	非公開	○ (99.5%以上)	非公開	非公開
	目標稼働率	○	非公開	非公開	非公開	非公開
	ストレージ多重化	○	○	○	○	○
	バックアップ	○	○	○	○	○
	データ暗号化	○	○	×	○	×
	暗号化通信	○	○	○	○	○
機能	SINET接続	○	×	×	×	○
	VPN接続	○	×	×	×	×
	学認対応	×	×	×	×	×
	LDAP連携	○	×	×	×	×
	管理ツール	○	○	○	○	○
	API公開	○	×	×	×	○
保守運用	障害対応時間帯	24H×365D	平日営業時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	24H×365D
	Q&A対応時間帯	9:00~17:00/5D	平日営業時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯
	コンタクト方法	Web	電話・メール	電話・メール	電話・メール	電話・メール
	対応インシデント数	無制限	制限なし	別途個別見積	無制限	無制限
	計画停止の頻度	クラウド事業者による	必要に応じて実施	月1回	必要に応じて実施	不定期
	サービス停止の通知	クラウド事業者による	1週間以上前	事前通知有	1週間前	1週間前
	ログの開示	○	○	○ (コンテンツ)	○	×
	第三者認証取得状況	○	○	○	○	○

比較表 3

カタログ 掲載情報	掲載区分	4. 情報インフラ系				
	項番	4. (2)	4. (3)	4. (4)	4. (5)	4. (6)
	掲載ページ	45	47	49	51	53
製品・サービス名		さくらのクラウド	さくらの専用サーバ PHY (ファイ)	高火力 PHY	高火力 DOK	高火力 VRT
提供企業名		さくらインターネット	さくらインターネット	さくらインターネット	さくらインターネット	さくらインターネット
製品・サービス区分	サービス	○	○	○	○	○
	製品	—	—	—	—	—
	その他	—	—	—	—	—
クラウド区分	パブリック	○	○	○	○	○
	プライベート	—	—	—	—	—
	その他	—	—	—	—	—
パブリッククラウド区分	IaaS	○	○	○	○	○
	PaaS	—	—	—	—	—
	SaaS	—	—	—	—	—
利用用途分類	教育支援	○	○	○	○	○
	研究支援	○	○	○	○	○
	事務支援	○	○	○	○	○
	情報インフラ	○	○	○	○	○
	その他	—	—	—	—	—
契約実績	民間	非公開	非公開	非公開	非公開	非公開
	大学	国立情報学研究所等	非公開	非公開	非公開	非公開
契約	申込方法	WEB	WEB	WEB	WEB	WEB
	利用開始までの時間	即時	即時～数営業日	即時	即時	即時
	約款の有無	○	○	○	○	○
	契約修正の可能性	○	○	○	○	○
	データ保管場所	国内	国内	国内	国内	国内
	データ削除規程	○	○	○	○	○
	準拠法	日本国法	日本国法	日本国法	日本国法	日本国法
	管轄裁判所	国内	国内	国内	国内	国内
信頼性	SLA	○ (99.95%)	○ (99.95%)	○	○	○
	実績稼働率	非公開	非公開	非公開	非公開	非公開
	目標稼働率	非公開	非公開	非公開	非公開	非公開
	ストレージ多重化	○	○	○	○	○
	バックアップ	○	×	×	×	×
	データ暗号化	×	×	×	×	×
	暗号化通信	○	○	×	×	×
機能	SINET接続	○	○	○	○	○
	VPN接続	○	○	×	×	×
	学認対応	×	×	×	×	×
	LDAP連携	×	×	×	×	×
	管理ツール	○	○	○	○	○
	API公開	○	○	×	×	×
保守運用	障害対応時間帯	24H×365D	24H×365D	24H×365D	24H×365D	24H×365D
	Q&A対応時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯
	コンタクト方法	電話・メール	電話・メール	電話・メール	電話・メール	電話・メール
	対応インシデント数	無制限	無制限	無制限	無制限	無制限
	計画停止の頻度	不定期	不定期	不定期	不定期	不定期
	サービス停止の通知	1週間前	1週間前	1週間前	1週間前	1週間前
	ログの開示	×	×	×	×	×
	第三者認証取得状況	○	○	○	○	○

比較表 4

カタログ 掲載情報	掲載区分	4. 情報インフラ系				
	項番	4. (7)	4. (8)	4. (9)	4. (1 0)	4. (1 1)
	掲載ページ	55	57	59	62	64
製品・サービス名		SINET接続サービス	Hitachi EverFlex 仮想化基盤	クライアントサービス 日立のデータセンター	フェデレーテッドクラウド管理サービス クラウド	生成AI対応サーバー アウトソーシングサービス
提供企業名		さくらインターネット	日立製作所	日立製作所	日立製作所	日立システムズ
製品・サービス区分	サービス	○	○	○	○	○
	製品	—	—	—	—	—
	その他	—	—	—	—	—
クラウド区分	パブリック	○	—	—	—	—
	プライベート	—	○	○	—	○
	その他	—	—	—	○	—
パブリッククラウド区分	IaaS	—	○	—	—	—
	PaaS	—	—	○	○	—
	SaaS	—	—	—	—	—
利用用途分類	教育支援	○	○	○	○	○
	研究支援	○	○	○	○	○
	事務支援	○	○	○	○	○
	情報インフラ	○	○	○	○	○
	その他	○	○	○	○	○
契約実績	民間	非公開	非公開	10社	非公開	非公開
	大学	非公開	非公開	—	非公開	非公開
契約	申込方法	申込書	営業間合せ	フロント業者に依頼	営業間合せ	注文書
	利用開始までの時間	1か月程度	2か月～	HW調達期間に依存	最短5営業日	4か月
	約款の有無	○	×	○	契約書による	○
	契約修正の可能性	○	契約書による	○	その他	○
	データ保管場所	国内	国内	国内	非公開	国内
	データ削除規程	○	×	○	×	○
	準拠法	日本国法	日本国法	日本国法	日本国法	日本国法
	管轄裁判所	国内	国内	国内	国内	国内
信頼性	SLA	×	×	○	ご相談	×
	実績稼働率	非公開	ご相談	99.99%	ご相談	×
	目標稼働率	非公開	ご相談	99.8%	○(99.95%)	×
	ストレージ多重化	—	○	○	○	×
	バックアップ	○	ご相談	オプション	ご相談	×
	データ暗号化	×	×	○	○	×
	暗号化通信	○	ご相談	○	○	×
機能	SINET接続	○	×	×	×	×
	VPN接続	○	○	○	○	×
	学認対応	×	×	×	×	×
	LDAP連携	×	ご相談	○	×	×
	管理ツール	×	○	○	○	×
	API公開	×	×	×	×	×
保守運用	障害対応時間帯	24H×365D	平日営業時間帯	24H×365D	平日営業時間帯	平日8-19/24H
	Q&A対応時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯
	コンタクト方法	電話・メール	その他	電話・メール・その他	メール	電話・メール
	対応インシデント数	無制限	5回/月	無制限	ご相談	無制限
	計画停止の頻度	不定期	不定期	3回/年	月1回	規定なし
	サービス停止の通知	1週間前	個別調整	6か月前	1ヶ月前	規定なし
	ログの開示	×	×	×	×	○
	第三者認証取得状況	○	○	○	○	×

比較表 5

カタログ 掲載情報	掲載区分	4. 情報インフラ系				
	項番	4. (1 2)	4. (1 3)	4. (1 4)	4. (1 5)	4. (1 6)
	掲載ページ	66	68	70	72	74
製品・サービス名		日立 データセン ターサービス	リモートアクセスシ ステムDoMobile	AIスパコンクラウド (GPUSOROBAN)	GPUSOROBAN 計算クラスター B200	高速コンピューティ ング (GPUSOROBAN)
提供企業名		日立システムズ	日立ソリューションクリエイト	ハイレゾ	ハイレゾ	ハイレゾ
製品・サー ビス区分	サービス	○	○	○	○	○
	製品	—	—	—	—	—
	その他	—	—	—	—	—
クラウド 区分	パブリック	—	○	○	○	○
	プライベート	—	—	—	—	—
	その他	○	—	—	—	—
パブリック クラウド 区分	IaaS	—	—	○	○	○
	PaaS	—	—	—	—	—
	SaaS	—	○	—	—	—
利用用途 分類	教育支援	○	○	○	○	○
	研究支援	○	○	○	○	○
	事務支援	○	○	○	○	○
	情報インフラ	○	○	○	○	○
	その他	○	○	—	—	—
契約実績	民間	非公開	7,000社以上	非公開	非公開	非公開
	大学	非公開	5	東京理科大学等	東京理科大学等	東京理科大学等
契約	申込方法	営業問合せ	営業問合せ	注文書	注文書	注文書
	利用開始までの時間	ご相談	5営業日～	5営業日	2営業日～	5営業日
	約款の有無	○	○	○	○	○
	契約修正の可能性	○	○	○	○	○
	データ保管場所	国内	国内	国内	国内	国内
	データ削除規程	○	非公開	○	○	○
	準拠法	日本国法	日本国法	日本国法	日本国法	日本国法
	管轄裁判所	国内	国内	国内	国内	国内
信頼性	SLA	×	○	×	×	×
	実績稼働率	非公開	非公開	非公開	非公開	非公開
	目標稼働率	○	非公開	非公開	非公開	非公開
	ストレージ多重化	×	非公開	×	○	○
	バックアップ	×	○	×	×	×
	データ暗号化	×	非公開	×	×	×
	暗号化通信	×	○	○	○	○
機能	SINET接続	個別接続可能	×	×	×	×
	VPN接続	個別接続可能	×	×	×	×
	学認対応	×	×	×	×	×
	LDAP連携	×	○	×	×	×
	管理ツール	×	○	○	○	○
	API公開	×	×	×	×	×
保守運用	障害対応時間帯	24H/365D	平日営業時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯
	Q&A対応時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯
	コンタクト方法	電話・メール	メール	メール	メール	メール
	対応インシデント数	無制限	非公開	無制限	無制限	無制限
	計画停止の頻度	不定期	非公開	不定期	不定期	不定期
	サービス停止の通知	1ヶ月前	2週間前	2週間前	2週間前	2週間前
	ログの開示	×	○	×	×	×
	第三者認証取得状況	○	○	○	○	○

比較表 6

カタログ 掲載情報	掲載区分	5. その他				
	項番	5. (1)	5. (2)	5. (3)	5. (4)	5. (5)
	掲載ページ	78	80	82	84	86
製品・サービス名		IT資産管理／ セキュリティ管理 ASSETBASE	ソフトウェア 配布提供システム Download Station	ウチダのOffice 学割 U365	ウチダのパソコン 学割 U365	パピルスメイト証明 書学外発行サービス
提供企業名		内田洋行	内田洋行	内田洋行	内田洋行	内田洋行
製品・サー ビス区分	サービス	○	—	—	—	○
	製品	—	○	—	—	—
	その他	—	—	○	○	—
クラウド 区分	パブリック	○	—	○	○	○
	プライベート	○	○	—	—	—
	その他	—	—	—	—	—
パブリック クラウド 区分	IaaS	—	—	—	—	—
	PaaS	—	—	—	—	○
	SaaS	○	—	○	○	—
利用用途 分類	教育支援	—	—	—	—	—
	研究支援	—	—	—	—	—
	事務支援	—	—	—	—	○
	情報インフラ	—	—	—	—	—
	その他	○	○	○	○	○
契約実績	民間	約70社	非公開	—	—	—
	大学	約50校	九州大学等	約200校超	約200校超	非公開
契約	申込方法	営業問合せ	営業問合せ	営業問合せ	営業問合せ	利用申込書
	利用開始までの時間	5営業日(SaaS)	5営業日	10営業日	10営業日	4～6か月
	約款の有無	○	○	○	×	○
	契約修正の可能性	○	○	○	×	○
	データ保管場所	国内	プライベートクラウドサーバー	国内	国内	国内
	データ削除規程	○	ご相談	○	○	○
	準拠法	日本国法	プライベートクラウドサーバー	日本国法	日本国法	日本国法
	管轄裁判所	国内	国内	国内	国内	国内
信頼性	SLA	○(約款による)	導入環境に依存	○	24H/365D	24H/365D
	実績稼働率	○(99.99%)	導入環境に依存	○(99.99%以上)	○(99.99%以上)	非公開
	目標稼働率	○(99.9%)	導入環境に依存	○(99.9%)	○(99.9%)	非公開
	ストレージ多重化	○	導入環境に依存	○	○	○
	バックアップ	○	○	○	○	○
	データ暗号化	×	×	○	○	○
	暗号化通信	○	○	○	○	○
機能	SINET接続	ご相談	ご相談	×	×	○
	VPN接続	○	○	×	×	○
	学認対応	ご相談	ご相談	×	×	×
	LDAP連携	○	○	×	×	○
	管理ツール	○	○	×	×	○
	API公開	×	×	×	×	×
保守運用	障害対応時間帯	営業時間帯	営業時間帯	10:00～16:00	10:00～16:00	9:00～17:30
	Q&A対応時間帯	営業時間帯	営業時間帯	10:00～16:00	10:00～16:00	9:00～23:00
	コンタクト方法	電話・メール	電話・メール	電話・メール	電話・メール	電話・メール
	対応インシデント数	無制限	無制限	無制限	無制限	無制限
	計画停止の頻度	年2回程度	導入環境に依存	年2回程度	年1回程度	年数回程度
	サービス停止の通知	2週間前	運用規定に依存	2週間前	2週間前	2週間前
	ログの開示	○	○	×	×	×
	第三者認証取得状況	○	○	○	○	○

7. 大学におけるクラウド導入事例

クラウドソリューションの具体的な適応事例として、大学等におけるクラウド導入事例は様々な示唆に富んでいます。各ソリューションベンダから大学等におけるクラウド導入事例を提出いただき掲載します。

学校法人桜美林学園

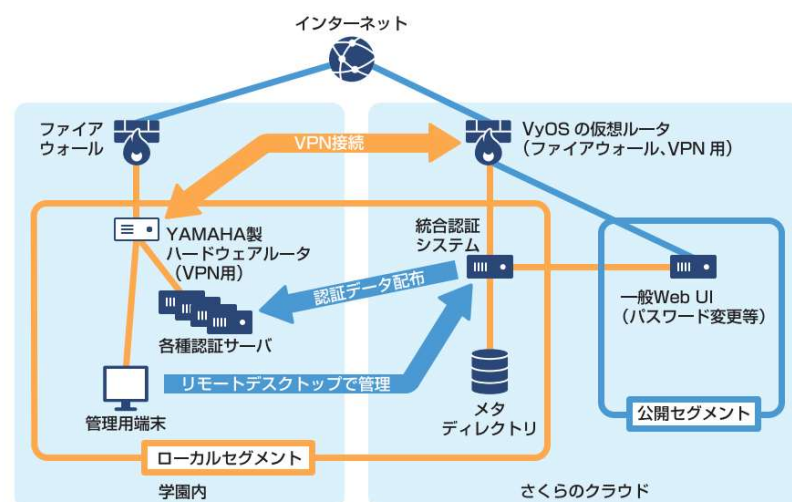
クラウド上の仮想ルータを活用して、 見通し良く確実に統合認証システムを運用開始

多数のユーザーを抱える学校現場では、認証システムをどのように運用していくかは難しい課題です。

限られたリソースの中で確実にサービスレベルを向上していくため、

学校法人桜美林学園では、クラウド上の仮想ルータでVPNを整備することで、

統合認証システムからシームレスな運用を実現できています。



根幹の統合認証システムからクラウドへ移行

メールをキーとして 統合認証システムを運用

学校法人桜美林学園では、学園内の各種サービスの認証のために統合認証システムを利用しています。メール、履修登録や課題提出、図書館システム、Eラー

ニング、無線LANサービス、就職情報サービス、PCへのログイン等、さまざまなサービスが複数の認証サーバによって運用され、統合認証システムが認証サーバ間の整合性を管理する構成です。「すべての認証サーバを集約すると可用性を格段にあげなければなりません、口で言

うほど簡単ではありません。考え方としては割り切っていて、同じような属性のアプリケーションに關係する認証サーバはある程度まとめるにしても、そうでないものは個別で良いとしています。」(桜美林学園 品川氏)。

統合認証システムは、以前は学園内に設置した仮想環境上で運用してきましたが、将来を見据えて「さくらのクラウド」へ移行し、運用を開始しました。「もちろん認証サーバも外に出したいのですが、アプリと密接していて迂闊なことはできません。まずは大元の統合認証システムがクラウド上で安定して動作し、信頼して利用できる状態だと確認できることから始めたいと考えました。」(品川氏)。

一度ではなかった計画停電による サービス中断と管理コストの増加

桜美林学園内のITインフラは東京の町田キャンパスに集中しており、平常時も法定停電やメンテナンスなどで年に2日ほどシステムが止まってしまう状態でした。

導入前の課題

- 根幹となるシステムの連続運用
- 災害に強いインフラ
- ベンダーロックを避けたい

導入後の効果

- 停電時などの管理コスト軽減
- 最新バージョンの統合認証システムが利用できるようになった
- 以前と変わらない運用

システム移行のきっかけは東日本大震災です。「当日は停電しましたし、その後も計画停電が4回もありました。その度に4、5時間システム停止が発生し、ユーザーに迷惑をかけましたし、管理側も混乱しました。」(桜美林学園 荒井氏)。「震災で不安になっているときに教員や学生の連絡手段の確保は大きな課題でした。しかし、学園内にメールの認証連携があったためにメールが使えないということも発生しました。」(桜美林学園 劉氏)。

桜美林学園ではメールシステムとして数年前からGmailを導入し、Gmail自体は停電の影響を受けませんでしたが、町田キャンパス内に認証連携システムがあったために、町田キャンパスがダウンしているとメールが利用できない状況が生まれました。震災直後はメールによる連絡手段を確保するために、一時的に認証連携システムをバイパスするなどの対処にも追われました。

専門のデータセンターのほうがセキュリティを強化できる

認証用データを物理的に学外に置くことを懸念する声はありますが、現実的にセキュリティを考えていくと、管理性の高いデータセンターに置くほうが現実解と判断できるケースは多いです。「認証系を外に出すことに違和感がなくなったように思います。」(桜美林学園 井坂氏)。「学内は安全ではありません。データセンターのほうがより安全であるといえます。セキュリティには3つ面がありまして、まず物理的な安全性です。自分たちで火災対策などが十分なデータセンターを用意するのは非常にコストがかかります。次に人的な不正アクセス対策です。学校というのはオープンであり知らない人がうろついています。そこを制御するのは非常に難しいです。3つ目がシステムの技術面です。これはどこにあってやることは同じです。」(品川氏)。

データセンターは石狩データセンターを選択しました。コスト面と関東で大規模災害が起きても影響を受けにくいこと

ご担当者の声>>>

桜美林学園

学校法人 桜美林学園
http://www.obirin.jp/

住所
東京都町田市常盤町3758
学生・生徒・園児数
10666人(2015年5月)
事業内容
大学、大学院、高等学校、中学校、幼稚園

写真左から
情報システム部 課長
劉 宇
情報システム部 テクノロジグループ 担当係長
井坂しのぶ
情報システム部
荒井 啓太
情報システム部 部長
品川 昭



本件はクラウド環境の構築や運用サポートなど、単なるインフラ提供に加えた作業が必要なものです。さくらインターネットはWebサイトでのセルフサービスで申し込むイメージが強く、法人対応がどの程度できるのか疑問を持っていました。しかし、いただいた提案はRFPを満たすコンパクトな内容で優れていると評価でき、人員体制を明示して運用サポートの提供が可能というのも想定外でした。また、不安や疑問を解消するための提案説明会で直接の担当技術者が来校したのも意外な対応でした。費用面でも競争力があつたため、本件はさくらインターネットにお願いした次第です。契約から構築完了まで非常に迅速だと感じました。

からです。

仮想ルータと汎用ハードによる見通しのよいVPN

統合認証システムをクラウド上で運用するにあたり、VPNを構築して学内のオンプレミスのシステムとデータセンターのネットワークを同一セグメントとしました。VPNは専用のハードウェアで構築するのではなく、クラウド上で仮想ルータ向けOS「VyOS」を導入したサーバを立ち上げ、このサーバと学園内に設置した汎用のハードウェアルータとを接続したシンプルな構成です。「本件ではVPN接続部での通信量が少ないことと、災害等に対して強いインフラを求めていたことから、本学用に新規回線を引き込まない提案を評価しました。」(荒井氏)

町田キャンパスと石狩データセンター間のVPN構成となり、ローカルネットワークと比較すると通信遅延は避けられませんが、統合認証システムの管理・運用はWindowsのリモートデスクトップで行えています。「遠隔地のため通信遅延が心配でしたが、許容範囲内でした。想定どおりの動きをしてくれています。悪化したところがないということが良かった点でしょうか。」(荒井氏)

今後は外部から参照される認証サーバの更新や、新たに認証サーバを構築するタイミングで、認証サーバを学園外に出すことを検討しています。

ご紹介したサービス

▶ さくらのクラウド

お問い合わせ、資料請求

本件に関する詳細など、お問い合わせ、資料請求は下記までご連絡ください。

さくらインターネット株式会社

【大阪本社】〒530-0011 大阪府大阪市北区大深町4-20 グランフロント大阪タワーA 35F
【東京支社】〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-20-1 住友不動産西新宿ビル33F
【福岡オフィス】〒810-0042 福岡県福岡市中央区赤坂1-12-15 読売福岡ビル 7F

▶ E-MAIL eigyo@sakura.ad.jp ▶ 0120-380397 [受付時間] 平日10:00~18:00 (土日・祝祭日を除く)

※本取材内容は2016年2月時点の情報です

流通経済大学

業務パッケージをSINET経由で、クラウド化。 接続に「さくらのクラウド」を採用

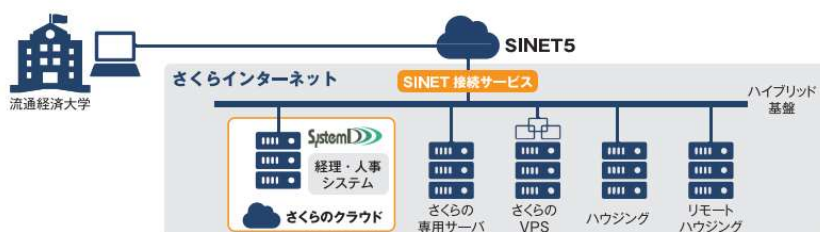
流通経済大学は、経理・人事システムが稼働しているサーバの更新に伴い、「さくらのクラウド」の月額定額サーバに移行しました。同大学ではICTを活用した効率的かつ継続的な業務遂行の観点から、早い段階で少しずつクラウド化を進めており、経理・人事システム移設を経て、キャンパス内に設置されたシステム用サーバがなくなり、クラウド化のロードマップが完了しました。同大学が「さくらのクラウド」を採用した大きな理由は、大学や研究機関のネットワークでありセキュアに接続できるSINETと接続できるからです。

「学生ファースト」な流通経済大学

流通経済大学は、戦後の日本経済発展と国際化に対応できる高度な物流の研究と人材育成を目的として1965年に設立されました。当初は経済学部経済学科のみの単科大学でしたが、現在では5学部9学科を擁する中規模の総合大学に発展しました。

「2006年にはスポーツ健康科学部を開設し、開学以来スポーツにも力を入れています。私も硬式野球部に所属していました」と同大学出身の若山昌弘氏（経理課）は部活の日々を思い返します。特にサッカー部とラグビー部が強く、江坂任さんや中島イシレリさんなどプロ選手を多数輩出していることで知られています。

同大学の特徴として、1年生は入学式の次の日からゼミに所属することが挙げられます。これは学生に有意義なキャンパスライフを過ごしてもらうための配慮で、教員からの手厚いサポートと学友との親密な関係を早期に構築することがねらいです。またキャンパスは茨城県龍ケ崎市と千葉県松戸市にあり、学部によっては、2つのキャンパスから好きな方を選んで通学できる「キャンパス選択制」を導入し



ています。この制度により、教員はキャンパスを行き来して、同じ内容の授業を行うこととなりますが、学生の成長と個々の事情を優先する「学生ファースト」な大学と言ってよいでしょう。

SINET経由でさくらのクラウドに接続し、経理・人事システムを利用

流通経済大学は、株式会社システムディが提供する学園向けの業務パッケージをさくらのクラウドに導入して利用しています。また、さくらインターネットへは、日本全国の大学や研究機関を結ぶSINET経由で接続しています。

「SaaSがあれば採用したのですが、残念ながら学園向けの経理・人事システムでは見当たりません。そこでさくらのクラウドをPaaSとして利用し、システムディ

のパッケージをそちらに導入しました」と同大学のシステム導入リーダーである青砥光一氏は説明します。

クラウド化で停電、災害などの不安から解放

学生の個人情報や研究内容の漏えいを不安視して、クラウド化に難色を示す大学も多い中、流通経済大学では5年あまりの年月をかけて、徐々にオンプレミスのサーバを撤去してきました。

「少ない人数でシステム運用を行っていますので、5年に1回のサーバ更新は大きな負担です。またキャンパスが2カ所あるので、龍ヶ崎キャンパス側で停電があったときには新松戸キャンパス側も影響を受けることになります。そこでサーバを更新するたびにクラウドまたはハウジングサービスにシ

導入前の課題

- サーバの更新の労力とコストが大きな負担
- システムの安定稼働について不安
- SINET 接続に対応している業者が少ない

導入後の効果

- サーバの更新の必要がなくなった
- システムの継続的な運用に関する安心感
- SINET 接続により安心して利用

システムを移行してきました」と情報部門事務部長の鈴木武氏は説明します。2011年の東日本大震災でサーバ室に影響があったり、別な年には雷による停電でシステムが停止したこともあって、BCP（事業継続計画）に真摯に取り組むことになりました。

クラウド化は世の中の流れであり、セキュリティに関しても必要とするレベルには既に達しているという判断でした。それよりも短いスパンでのシステム更新にかかる労力とコストが不要なこと、業務の継続という観点から安心感が強いこと、定額料金のサービスを選択すればコストの見通しが容易なことなど、クラウド化のメリットの方がはるかに大きいと同大学では評価しています。

なお、クラウド化はシステムディの経理・人事パッケージの導入を経て、その他システムも徐々に進めた結果、すべて外部に設置することにより完了し、現在はバックアップ用のサーバを残すだけになりました。

さくらのクラウドを選んだ理由

経理・人事パッケージの導入先としてさくらのクラウドを選んだ理由は、大きく3つありました。

1つめは、L2閉域網に対応していたことです。これはインターネットから直接アクセスを受けない安全な接続をするための方式で、SINET経由で外部サービスを利用する場合には必須条件ですが、対応しているサービスはそれほど多くありません。

2つめは、他社と比較して低価格なことでした。

3つめは、システムディの経理・人事パッケージが要求するスペックのサーバを用意できることでした。

「さくらのクラウドが3つの条件をクリアしていた上に、以前からさくらのレンタルサーバを利用していたこともあり、信頼感もありました」と青砥氏は採用理由を説明します。

日本の会社だからこそのきめ細かい対応で労力なく導入が完了

クラウドサーバおよびパッケージの導

ご担当者の声》》



学校法人日通学園
流通経済大学
<https://www.rku.ac.jp/>

住所 龍ヶ崎キャンパス
茨城県龍ヶ崎市120
新松戸キャンパス
千葉県松戸市新松戸3-2-1
設立 1965年
学部 経済学部/社会学部/流通情報学部/法学部/スポーツ健康科学部



流通経済大学
図書情報グループ事務部長
兼情報システム課長
鈴木武氏



流通経済大学
図書情報グループ
情報システム課係長
青砥光一氏



流通経済大学 経理部 経理課
若山昌弘氏

入はスムーズに完了し、何一つ問題は起こりませんでした。

「さくらのクラウドはボタン1つで完了するぐらい簡単に導入できますが、クラウド導入も含めてシステムディに全ての作業をお願いしました。その際にさくらインターネットがシステムディに対する直接の窓口を設けてくれ、両方でコミュニケーションをとりながら導入を進めてくれました。おかげで大学の負担はありませんでした」（青砥氏）。

AWSやAzureなど海外のクラウドベンダーの場合は、ユーザ責任で導入し、彼らは一切関与しません。「日本の会社だからこそのきめ細かい対応です」と流通経済大学では評価しています。

クラウド対応しないベンダーに対して積極的に働きかけて欲しい

経理・人事システムに加え2020年には、学生や教員が利用するプリント管理システムも「さくらのクラウド」に移設し、他

のシステムを含めてクラウド化がほぼ完了したため、今後も新システムの導入を企画する際は、プラットフォームとして、さくらのクラウドを候補の一つに入れて検討したいとのことです。

「それよりも、パッケージシステムベンダーの中には、クラウドへの導入を渋る会社はまだあります。どこまで動作保証するかという問題があるからです。そこでさくらインターネットにはパッケージシステムベンダーと協業して、パッケージのクラウド化を進めていただきたい。『Aというシステムなら、さくらのクラウド』ということになれば、さくらのクラウドを採用する人も増えるはずですよ」と、さくらインターネットへの期待を青砥氏は語ってくれました。

ご紹介したサービス

- ▶ さくらのクラウド
- ▶ SINET 接続サービス

お問い合わせ、資料請求

本件に関する詳細など、お問い合わせ、資料請求は下記までご連絡ください。

さくらインターネット株式会社

【大阪本社】 〒530-0011 大阪市北区大深町4-20 グランフロント大阪タワーA 35F

【東京支社】 〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-20-1 住友不動産西新宿ビル 33F

【福岡オフィス】 〒810-0042 福岡県福岡市中央区赤坂1-12-15 読売福岡ビル 7F

▶ E-MAIL eigy@sakura.ad.jp ▶ TEL 0120-380397【受付時間】平日10:00~18:00（土日・祝祭日を除く）

※本取材内容は2020年9月時点の情報です

国立大学法人九州大学

パブリッククラウドをベースにホスティングサービスを構築。さくらとビットスターが細かなニーズに応える

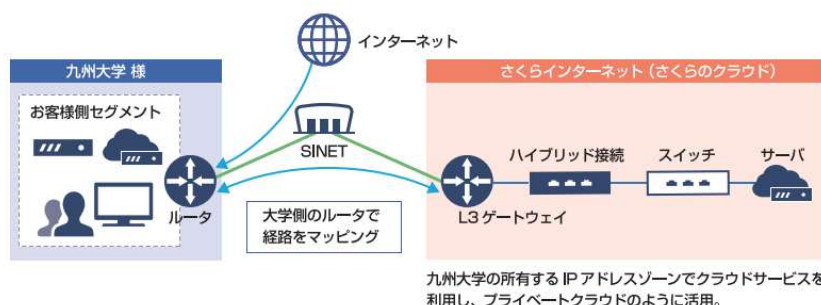
九州大学では、部局等にメール、Web および DNS についてサーバリソースを貸し出す学内ホスティングサービスを運営しています。従来のオンプレミス基盤の課題であった運用負荷や属人化を解消すべく、パブリッククラウド化を図りました。教育機関特有のニーズを満たすべく、インフラとサポートを一元的に提供するさくらインターネットとビットスターのサービスを採用。拡張性にも運用性にもすぐれ、運用負荷も小さな新しいホスティングサービスを開始しました。

九州大学のすべてのステークホルダーへ最良の情報環境を提供

九州大学は、1911年に創設された九州帝国大学を母体とし、1949年に旧制九州大学・福岡高等学校・久留米工業専門学校を包括して新制されました。学生約1万8,000人（2019年5月現在）に対し、2,000人超の教員を揃え、手厚い教育・研究環境を整えています。多くの海外留学生を迎えており、国立大学の中でもトップクラスです。大学院にも力を入れており、法学・理学・医学等の18学府が設置されています。

最近までキャンパスは福岡市の各地に点在していましたが、2018年に10年をかけて行われた伊都キャンパスへの統合・移転が完了し、産官学の連携で整備される学術研究都市として稼働を開始しています。単一キャンパスとして日本最大、校地面積も国内第3位を誇ります（2018年時）。

多数の学部・研究院を設置して幅広い教育と研究を提供する中、2018年には新しい学部として「共創学部」を設立して



います。グローバル化が急激に進展する現代において、環境・食料・人種・経済といった地球的・人類的な課題へ能動的に取り組むことのできる人材を育成していく多分野の学問とされています。徹底した語学教育や課題解決型のカリキュラム、実践的な協働学習および積極的な留学支援が特徴です。

「積極的なグローバル化の推進において、情報統括本部では世界的なICT拠点となるべく情報基盤・情報システムの整備・運用に取り組んでいます。特に注力しているのが情報セキュリティ対策です。サイバー攻撃等の脅威から機密性・完全性・可用性の観点で情報資産を守るため ISMS を導入し、2012年3月に認証を取

得しました。また、2014年からはサイバーセキュリティセンターと連携を図りながら、情報資産の適切な保護とセキュリティの向上に努めています」と、九州大学情報統括本部 情報システム部 情報基盤課の亀岡謙一氏は説明します。

学内ホスティングサービスのパブリッククラウド化

現代における大学・大学院の教育・研究には、IT基盤が欠かせません。高度なシステムを研究に活用する例もあれば、情報発信やコミュニケーションのために Web やファイルサーバを運営するケースもあります。古くは研究室ごとにサーバを構築して運営していた時代もありまし

導入前の課題

- ホスティングサービス基盤の更改
- オンプレミスからクラウドへの移行
- 運用の負荷増大と属人化の解消

導入後の効果

- パブリッククラウド上にサービスを構築
- クラウドでも従来と同様のサービスを提供
- 一元的なサポートで大幅な負荷軽減

たが、リソースのムダやセキュリティ対策の不備などから、九州大学では2009年から学内ホスティングサービスを運営してきました。

「各研究室は、独立した組織のように運営されていますので、ITニーズも千差万別です。そこで私たちは、学内のITベンダーのように活動し、サービスとしてITを提供する役割を担う必要があります。ホスティングサービスもその一環として、利便性と効率性を両立すべく運営しています」と、情報統括本部 情報システム部 情報基盤課の平野広幸氏は述べています。

サービス開始からまもなく10年、数世代を経たオンプレミスシステムは要となるサーバ管理ソフトウェアのサービス終了を控えて、他のシステムへの更改が求められました。従来のシステムは、基盤がブラックボックス化しており、運用の属人化も進んでいました。そうした運用負担を解消し、情報基盤課の人的リソースをより高度な戦略・企画等へ集中させたいという思いや、そして昨今のクラウド活用への取り組みもあって、パブリッククラウドをホスティングサービス基盤として利用する方法が検討されました。

「大学機関のインフラということもあって、ネットワーク構成や認証基盤の制限や契約形態など厳しい条件があったのは事実です。SINETを介したL2 VPN接続を受けつけられる環境であることも技術的な要件の1つでした。もちろん、既存のパブリッククラウドサービスをそのまま活用することは困難です。複数のサービスを検討しましたが、すべてのニーズを受け入れてくれるのは、さくらインターネットとビットスターの連合だけでした」（平野氏）

平野氏によれば、グループ会社であるビットスターと協力し、新しい管理ツールのカスタマイズやシボレス認証連携などの細かなニーズに応え、運用保守を含めて一元的なサービスとして提供されることで、最大の目標である属人化の解消やリソースの最適化を図れることが重要な選定ポイントになったとのこと。

ご担当者の声



九州大学
KYUSHU UNIVERSITY

国立大学法人九州大学
<http://www.kyushu-u.ac.jp/>

住所 福岡県福岡市西区元岡744
事業内容 1949年（昭和24年）に旧制九州大学を包括して設置された国立大学



情報統括本部
情報システム部 情報基盤課
平野広幸氏



情報統括本部
情報システム部 情報基盤課
亀岡謙一氏

さくらインターネットとビットスターは強固に連携し、私たちのニーズへ細やかに応えてくれました。さまざまな課題もすばやく的確に解決してくれたおかげで、新しいサービス基盤の運営を開始できました。今後も安定的なサービスを提供すると共に、より高度なIT戦略をサポートするパートナーとして活躍してほしいと願っています

インフラからサポートまで統合運用負担が大幅軽減

九州大学の新しいホスティングサービス基盤は、さくらのクラウド上に構成され、九州から離れた災害にも強い堅牢なデータセンターで運営されています。管理ツールはWebベースの「cPanel」を選び、ビットスターによって、使いやすくカスタマイズされています。

両社の提案がありサービス基盤をオンプレミスからクラウドへ移行したことにより、リソースの増減が容易になり、ソフトウェアアップデートなどのメンテナンスに時間を取られることもなくなりました。バックアップ環境も整備しやすく、数年ごとのシステム更改の負担もありません。亀岡氏は「管理負担の大幅な低減は大きな効果」と高く評価しています。

利用者である研究室では、従来と同じようにサーバリソースをレンタルできるように構成されています。cPanelは軽快に動作するため、旧システムと比べても使い勝手が向上しているとのこと。

九州大学では、2019年から2020年に

かけて急ピッチで移行を進めて、500ドメイン弱をさくらのクラウド上で運用する計画です。学内・学外組織と連携しながら、情報セキュリティ対策を進めていきたいとしています。

「学内ホスティングサービス、業務用のクラウドサービス、セキュリティインシデントなど、さまざまな要素の可視化を強化したいと考えています。運用負担の軽減によってIT戦略に取り組む時間が確保でき、より強固なセキュリティ施策を検討するためには情報が欠かせません」と亀岡氏は述べ、さくらインターネット／さくらのクラウドの活用で培ったノウハウ／ベストプラクティスが広がり、九州地域の教育機関や企業が大きく成長していくことを期待しています。

ご紹介したサービス

- ▶ さくらのクラウド
- ▶ SINET 接続サービス

お問い合わせ、資料請求

本件に関する詳細など、お問い合わせ、資料請求は下記までご連絡ください。

さくらインターネット株式会社

【大阪本社】 〒530-0011 大阪市北区大深町4-20 グランフロント大阪タワーA 35F

【東京支社】 〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-20-1 住友不動産西新宿ビル 33F

【福岡オフィス】 〒810-0042 福岡県福岡市中央区赤坂1-12-15 読売福岡ビル 7F

▶ E-MAIL eiigo@sakura.ad.jp ▶ TEL 0120-380-397【受付時間】 平日10:00～18:00（土日・祝祭日を除く）

※本取材内容は2019年11月時点の情報です

8. クラウドプロバイダ紹介

さくらインターネット株式会社のご紹介



余白を生み出す、 日本モデルのデジタルインフラへ

インターネットは、今や必要不可欠なインフラとして社会に定着しました。多くの人たちが文化的に豊かに暮らしていくための社会基盤そのものであるとも言えます。そして、その豊かさはさまざまな人・企業の主体的な活用によって多岐に広がり続けています。リモートワークの普及によって場所にとらわれず子育てや介護などと両立しながら働けるようになったり、ITを使った新しい産業も次々と生まれました。DXは効率化といった文脈で語られがちですが、その人の働き方や、ビジネスのあり方、ひいては社会のあり方を変えることに、本質があるのではないのでしょうか。

日本は少子高齢化という大きな課題を抱えています。そんな日本が少子高齢化のまま幸せになれる、新たな社会のあり方を切り開きたいと考えています。デジタル化によって、少子高齢化と豊かさを両立させ、人口が減っていることすらチャンスに変えていく。そうして日本が試金石となれば、日本だけが幸せになるのではなく、人口が減り続ける他国に、安心の材料を差し出すこともできるはずです。

わたしたちが目指すのは、社会に余白をもたらしデジタルインフラです。言い換えれば、資源や時間などの量的な「豊かさ」、価値観のぶつかり合いを解決するような「ゆとり」を意図的につくるといことです。目先の利益ではなく、自分の、自社の、社会の伸びしろを全員が考えられるようにする。そうすると、社会は全く変わります。

今後も社会のインフラとして役割をまっとうしながら、日本に最適なあり方を模索し、やりたいことが叶えられるような社会に向けて、さらなる向上に努めてまいります。みなさまのご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



会社概要

沿革

- 1996 ○ さくらインターネット創業**
1996年12月に現社長の田中邦裕が、舞鶴高専在学中に学内ベンチャーとして創業
- 1999 ○ 株式会社を設立 / 最初のデータセンター開設**
1999年8月に株式会社を設立。10月には、第1号となるデータセンターを大阪市中央区に開設
- 2005 ○ 東証マザーズ上場**
2005年10月に東京証券取引所マザーズ市場に上場
- 2011 ○ 石狩データセンター開設**
2011年11月、北海道石狩市に国内最大級の郊外型大規模データセンターを開設
- 2015 ○ 東証一部に市場変更**
2015年11月に東京証券取引所市場第一部に市場変更
- 2021 ○ 創業25周年**
2021年12月、創業25周年
- 2022 ○ 東証プライム市場へ移行**
東京証券取引所 新市場区分のプライム市場へ移行

会社概要

商 号	さくらインターネット株式会社
本社所在地	大阪府大阪市北区大深町6番38号
創業年月日	1996年12月23日 (会社設立は1999年8月17日)
上場年月日	2005年10月12日（マザーズ） 2015年11月27日 (東証一部（現プライム市場）へ市場変更)
資 本 金	112億8,316万円
従 業 員 数	927名（連結）

(※2024年9月末日現在)

さくらのサービス一覧(一部)

パブリックサービスとしてITインフラを様々な形態でご提供
サービスを内部ネットワークで接続させ、最適なインフラ環境をご用意



- ✓シンプルな料金体系と拡張性を兼ね備えたIaaS型のパブリッククラウドサービス
- ✓コストパフォーマンスに優れた「サーバ」と定額で利用可能な「可用性の高い「ネットワーク」」が強い



- ✓物理サーバを占有し、コントロールパネルから操作可能なホスティングサービス
- ✓高速なCPU、大規模メモリ、ストレージ占有など、物理サーバの利点を生かし、システム構成が可能



- ✓クラウド、専用サーバPHYに跨るGPUサービスブランド。ベアメタル、VM、コンテナでサービス展開
- ✓「NVIDIA H100」を主要ラインナップとし、機械学習環境、生成系AIモデル開発環境に最適



- ✓石狩と東京でサービス展開。機器をお持ち込みいただき、大容量バックボーンを利用可能
- ✓DR、BCP対策のため耐障害性に優れたシステムをコストを抑えて構築可能

ガバメントクラウドへの取り組み

ガバメントクラウド正式認定に向け順調に前進
国産クラウドとして中央省庁案件の受注等、新たな実績を積み上げる

2025年度末の正式認定に向け順調に前進

- 各官公庁や自治体出身の人材をチームに迎え、営業体制を強化
多くの公共機関が同時期に移行するため、ITリソースや自治体職員の逼迫が懸念されるが、勉強会やイベントでの情報発信を積極的に行い、国やデジタル庁の方針、周辺のガイドラインを踏まえた提案が行える体制を整備
- 「さくらのクラウド」の技術水準向上や、既存事業・業務プロセスの変革に資する高スキル人材を確保
外資系大手IT企業などから経験豊富なエンジニアが複数名入社。2025年度末までの「さくらのクラウド」のガバメントクラウド正式認定に向け、技術要件充足のための開発を推進

防衛装備庁と約7.5億円の役務請負契約締結

- 防衛装備庁と「サプライチェーン調査に必要な役務の提供等」についての役務請負契約を締結（7月）
 - ・ 防衛産業による装備品等の安定的な製造等を確保するため、防衛産業のサプライチェーンについて、安定的な製造等に係るリスクを把握し、必要な対応を図ることが目的
 - ・ 防衛省が実施するサプライチェーン調査に使用するクラウドインフラとして、IaaS型パブリッククラウド「さくらのクラウド」が採用

公告件名	サプライチェーン調査に必要な役務の提供等
発注者	防衛装備庁
落札金額(税込)	754,523,440円
入札方式	一般競争入札
サービス提供期間	2024年10月1日～2029年3月31日



ハイエンドから エントリーモデルまで、 GPU計算力のすべてを網羅

スパコンで使われるGPUから導入しやすいエントリーモデルまで、
多様なニーズに対応するGPUクラウドサービスを提供しています。

高性能な計算環境を必要とする研究機関や企業が、
用途に応じた最適なGPUを柔軟に選択可能。

計算時間の大幅な短縮により、

AIモデル開発等の加速や効率化を実現します。

圧倒的
低価格

高性能
GPU

最適な
仕様・設計で
提供

GPUクラウドサービス

高速コンピューティング

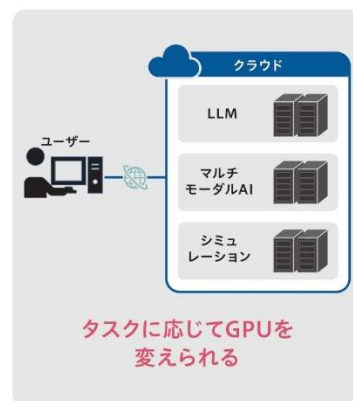
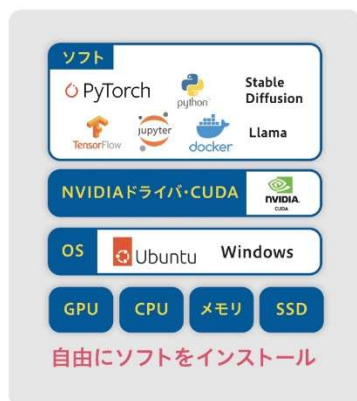
画像生成AIや機械学習に最適かつ高速なGPUクラウドサービス。機械学習用ソフトウェアをプリインストールしており、すぐに業務に取り掛かることが可能です。

AIスパコンクラウド

HGX H200以上を搭載したGPUインスタンスを、業界最安級の価格で提供するクラウドサービス。大容量GPUメモリを備え、大規模言語モデルやマルチモーダルAIの開発に最適です。

リモートワークステーション

リモート環境からGPUワークステーション(仮想マシン)が使えるクラウドサービス。ローカルPCにアプリをインストールすれば、クラウドのワークステーションをリモート操作可能です。



業界トップクラスの低価格・自社設計による最適管理

ハイレゾはDCを垂直統合モデルで建設することによって、AWS・GCP・Azureなどのメガクラウドと比較し、50%安い業界最安級の料金を実現しています。その上、データ転送料等の追加コストも不要です。高性能なGPU環境を、圧倒的なコスト

パフォーマンスで提供することで、多くの方が利用しやすいサービスを目指しています。月額固定料金など、お客様のニーズに応じたプランをご用意しています。



使いやすさを極めた独自のUI/UXを提供

シンプルかつ使いやすさにこだわり、誰もがストレスなく直感的に操作できるUI/UXを提供しています。複雑な設定や専門知識がなくても、ユーザーが操作に迷わず利用できるデザインを実現。視認性と操作性にも配慮し、高い生産性を兼ね備えた独自のUI/UXで、業務の効率化とユーザー体験の向上を力強くサポートします。



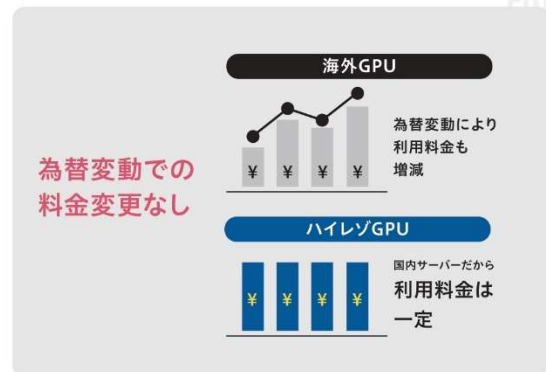
日本発の安心と、充実のフォロー体制

日本語での問い合わせ可能

日本発のクラウドのため、日本語での問い合わせに対応可能です。技術的な質問やトラブルにも迅速かつ確に対応し、スムーズな運用を支援します。

為替変動による価格変更なし

日本発のサービスだからこそ、為替変動の影響を受けず、安定した価格で提供することが可能です。コスト変動を気にすることなく、安心してご利用いただけます。



企業別索引（五十音順）

〈ウ〉

株式会社内田洋行

英語学習システム「ATR CALL BRIX」 19
TWX-21 MRO 集中購買サービス 33
RoomSense クラウドサービス 39
IT 資産管理／セキュリティ管理 ASSETBASE 78
ソフトウェア配布提供システム Download Station 80
ウチダの Office 学割 U365 82
ウチダのパソコン学割 U365 84
パピルスメイト証明書学外発行サービス 86

〈サ〉

さくらインターネット株式会社

[特集] 14
さくらの VPS 43
さくらのクラウド 45
さくらの専用サーバ PHY 47
高火力 PHY 49
高火力 DOK 51
高火力 VRT 53
SINET 接続サービス 55
[プロバイダ紹介] 106

〈ネ〉

ネットアップ合同会社

[特集] 6
Cloud Volumes ONTAP 25
Autonomous Ransomware Protection + Cloud Insights Storage
Workload Security による多層防御 27
FlexPod Datacenter AI 29
NetApp Keystone for Storage as a Service 31

〈ハ〉

株式会社ハイレゾ

[特集] 12
AI スパコンクラウド（GPUSOROBAN） 70
GPUSOROBAN 計算クラスター B200 72
高速コンピューティング（GPUSOROBAN） 74
[プロバイダ紹介] 108

〈ヒ〉

株式会社日立システムズ

生成 AI 対応サーバーアウトソーシングサービス 64
日立 データセンターサービス 66

株式会社日立製作所

TWX-21 MRO 集中購買サービス 37
Hitachi EverFlex 仮想化基盤 57
クライアントサービス 日立のデータセンター 59
フェデレーテッドクラウド管理サービスクラウド 62

株式会社 日立ソリューションズ・クリエイト

リモートアクセスシステム DoMobile 68

大学 ICT 推進協議会・クラウド部会 の歩み

理事 青木学聡（名古屋大学）
 主 査 渡邊英伸（広島大学）
 副 査 吉田浩（国立情報学研究所）
 副 査 亀井仁志（香川大学）
 副 査 脇昌弘（ネットアップ合同会社）
 副 査 須藤憲一（プラナスソリューションズ株式会社）

大学 ICT 推進協議会・クラウド部会は 2012 年 9 月 28 日に活動を開始いたしました。そして大学 ICT 推進協議会の中でも活発な活動を行っている部会の一つだと自負しております。

本部会では、大学 ICT 推進協議会年次大会における企画セッションの開催、定期的な部会会合を通じてアカデミッククラウドに関する情報発信及び情報共有を推進して参りました。また、関係機関と協力してアカデミッククラウドに関する研究とその普及にも取り組んで参りました。クラウド部会の活動履歴を以下に記します。

■ 大学 ICT 推進協議会年次大会における企画セッションの開催

年度	企画セッションの内容
2012年度年次大会	「大学向けクラウド利用のニーズとシーズ」 「安否確認システムの共同開発・共同利用における現状と課題」
2013年度年次大会	「学術インタークラウド基盤の実現に向けて」 「安否確認システムの共同開発・共同利用」
2014年度年次大会	「大学向けクラウドソリューションカタログ（１）」 「大学向けクラウドソリューションカタログ（２）」 「安否確認システムの共同開発・共同利用」 ※大学向けクラウドソリューションカタログ2014発行・配布
2015年度年次大会	「大学向けクラウドソリューションカタログ（１）」 「大学向けクラウドソリューションカタログ（２）」 「安否確認システムの共同開発・共同利用」 ※大学向けクラウドソリューションカタログ2015発行・配布
2016年度年次大会	「大学向けクラウドソリューションカタログ１」 「大学向けクラウドソリューションカタログ２」 ※大学向けクラウドソリューションカタログ2016発行・配布
2017年度年次大会	「クラウドソリューション＆ライセンスワークショップ（１）」 「クラウドソリューション＆ライセンスワークショップ（２）」 ※大学向けクラウドソリューションカタログ2017発行・配布
2018年度年次大会	「クラウド導入支援のあり方を考える」 ※大学向けクラウドソリューションカタログ2018発行・配布
2019年度年次大会	「組織のセキュリティポリシーに合致するクラウド環境の作り方」 ※大学向けクラウドソリューションカタログ2019発行・配布
2020年度年次大会	「大学における働き方・教え方改革とクラウド活用」 ※大学向けクラウドソリューションカタログ2020発行・配布
2021年度年次大会	「クラウド活用で加速する大学DXのベストプラクティスの検討と展望」 ※大学向けクラウドソリューションカタログ2021発行・配布
2022年度年次大会	「クラウドファースト戦略からクラウドネイティブ戦略を見据えた人材育成の展望」 「クラウドネイティブ戦略を見据えたクラウド最適化ソリューション」 ※大学向けクラウドソリューションカタログ2022発行・配布

2023年度年次大会	「大学アーキテクチャの参照モデルとDX」 「今後のAI開発・活用におけるハイブリッドクラウドのあり方について」 ※大学向けクラウドソリューションカタログ2023発行・配布
2024年度年次大会	「クラウドを活用したDXの最前線」 「大学DX勉強会」 ※大学向けクラウドソリューションカタログ2024発行・配布

■分科会会合の開催

回	開催日	会場	他機関との連携等
第1回会合	2012年9月28日	京都大学	
第2回会合	2012年10月31日	学士会館	
第3回会合	2012年12月19日	神戸国際会議場	AXIES2012年度年次大会
第4回会合	2013年2月21日	国立情報学研究所	
第5回会合	2013年5月30日	国立情報学研究所	学術情報基盤オープンフォーラム
第6回会合	2013年9月5日	北海道大学	CloudWeek2013
第7回会合	2013年12月20日	幕張メッセ	AXIES2013年度年次大会
第8回会合	2014年5月22日	東京ビックサイト	AXIES2014年度年総会
第9回会合	2014年9月1日	北海道大学	CloudWeek2014
第10回会合	2014年12月1日	AER（アエル）	AXIES2014年度年次大会
第11回会合	2015年5月21日	東京ビックサイト	AXIES2014年度年総会
第12回会合	2015年9月7日	北海道大学	CloudWeek2015
第13回会合	2015年12月4日	ウインクあいち	AXIES2015年度年次大会
第14回会合	2016年5月26日	国立情報学研究所	学術情報基盤オープンフォーラム
第15回会合	2016年8月29日	北海道大学	CloudWeek2016
第16回会合	2016年12月14日	京都国際会館	AXIES2016年度年次大会
第17回会合	2017年9月5日	北海道大学	CloudWeek2017
第18回会合	2017年12月14日	広島国際会議場	AXIES2017年度年次大会
第19回会合	2018年3月9日	広島大学	大学等におけるクラウドサービス利用シンポジウム2018
第20回会合	2018年6月20日	国立情報学研究所	学術情報基盤オープンフォーラム
第21回会合	2018年9月3日	北海道大学	CloudWeek2018
第22回会合	2018年11月19日	札幌コンベンションセンター	AXIES2018年度年次大会
第23回会合	2019年2月22日	広島大学	大学等におけるクラウドサービス利用シンポジウム2019
第24回会合	2019年5月29日	国立情報学研究所	学術情報基盤オープンフォーラム
第25回会合	2019年9月2日	北海道大学	CloudWeek2019
第26回会合	2019年12月12日	福岡国際会議場	AXIES2019年度年次大会
第27回会合	2020年6月9日	国立情報学研究所(オンライン開催)	学術情報基盤オープンフォーラム
第28回会合	2020年9月10日	北海道大学(オンライン開催)	CloudWeek2020
第29回会合	2020年12月7日	大阪大学(オンライン開催)	AXIES2020年度年次大会
第30回会合	2021年3月5日	広島大学(オンライン)	大学等におけるクラウドサービス利用シンポジウム2021
第31回会合	2021年7月7日	国立情報学研究所(オンライン開催)	学術情報基盤オープンフォーラム
第32回会合	2021年9月2日	北海道大学(オンライン開催)	CloudWeek2021
第33回会合	2021年12月15日	幕張メッセ(ハイブリッド開催)	AXIES2021年度年次大会
第34回会合	2022年3月25日	広島大学(ハイブリッド開催)	大学等におけるクラウドサービス利用シンポジウム2022
第35回会合	2022年6月1日	国立情報学研究所(オンライン開催)	学術情報基盤オープンフォーラム2022

第36回会合	2022年9月7日	北海道大学(ハイブリッド開催)	CloudWeek2022
第37回会合	2022年12月13日	仙台国際センター(ハイブリッド開催)	AXIES2022年度年次大会
第38回会合	2023年3月10日	広島大学(ハイブリッド開催)	大学等におけるクラウドサービス利用シンポジウム2023
第39回会合	2023年5月31日	国立情報学研究所(ハイブリッド開催)	学術情報基盤オープンフォーラム2023
第40回会合	2023年8月30日	北海道大学(ハイブリッド開催)	CloudWeek2023
第41回会合	2023年12月13日	名古屋国際会議場	AXIES2023年度年次大会
第42回会合	2024年3月1日	広島大学(ハイブリッド開催)	大学等におけるクラウドサービス利用シンポジウム2024
第43回会合	2024年6月11日	国立情報学研究所(ハイブリッド開催)	学術情報基盤オープンフォーラム2024
第44回会合	2024年9月12日	北海道大学(ハイブリッド開催)	CloudWeek2024
第45回会合	2024年12月10日	奈良県コンベンションセンター	AXIES2024年度年次大会
第46回会合	2025年3月14日	広島大学(ハイブリッド開催)	大学等におけるクラウドサービス利用シンポジウム2025
第47回会合	2025年6月18日	国立情報学研究所(ハイブリッド開催)	学術情報基盤オープンフォーラム2025
第48回会合	2025年8月28日	北海道大学(ハイブリッド開催)	CloudWeek2025
第49回会合	2025年12月3日	札幌コンベンションセンター	AXIES2025年度年次大会

大学 ICT 推進協議会・クラウド部会 ご入会のご案内

全国の大学でアカデミッククラウドの必要性に対する認知度が高まってきております。そのためアカデミッククラウドに関する様々な情報の共有が求められる状況にあります。

大学 ICT 推進協議会・クラウド部会ではこうした大学のニーズに応えるべく、活動を活性化することを考えております。そのため、ご入会いただける大学会員及び賛助会員（企業会員）の皆様を募集しております。

本部会にご参加いただくことにより、大学会員及び賛助会員の皆様には以下のようなメリットがあると考えられます。

■大学会員のメリット

- ・クラウドは民間主導で急速な進化の過程にあるテクノロジーです。クラウド提供企業から最新の技術動向や技術情報を入手することができます。
- ・先進的な大学におけるクラウド導入事例を入手することが可能です。大学でのクラウド導入の留意点や注意点などを学ぶことができます。
- ・クラウド研究に携わる大学教職員及び企業のクラウド担当者との人脈を構築できます。

■賛助会員のメリット

- ・自社のクラウドソリューションを、大学教職員に広報することができます。
- ・クラウドに対する大学側のニーズをヒアリングすることができます。
- ・共同研究、実証実験などを行うパートナーとなる大学を探すことができます。

つきましては、本部会へのご入会をご検討くださいますようお願い申し上げます。

入会のお申込み及びお問合せは、以下のメールアドレスまで願い申し上げます。

理事 青木学聡（名古屋大学）
主 査 渡邊英伸（広島大学）
副 査 吉田浩（国立情報学研究所）
副 査 亀井仁志（香川大学）
副 査 脇昌弘（ネットアップ合同会社）
副 査 須藤憲一（プラナスソリューションズ株式会社）
ご連絡先 sig-cloud-core2bd8kwj1 at axes.jp

クラウドカタログ2025

発行：クラウド部会

編集：プラナスソリューションズ株式会社 中田尚宏/中川絢香